平成19年度全国高等学校総合体育大会

高松宮記念杯
第58回全国高等学校バドミントン選手権大会

2007 青春・佐賀総体

この夏佐賀に君色の風が吹く

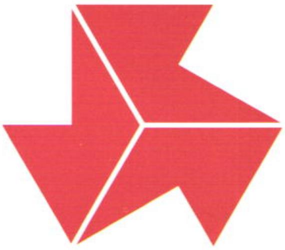
試合結果報告書

佐賀県立牛津高等学校　松尾　早記さん

（開会式）平成19年7月28日（土）　武雄市文化会館大ホール
（競　技）平成19年7月29日（日）～8月2日（木）
会場　男子：佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」　大町町立大町中学校
小城市牛津体育センター　小城市立牛津中学校
女子：武雄市白岩体育館　佐賀県立武雄青陵高等学校体育館
武雄市立山内中学校体育館　武雄市立北方中学校体育館

主催　（財）全国高等学校体育連盟・（財）日本バドミントン協会・佐賀県・佐賀県教育委員会・武雄市・武雄市教育委員会・江北町・江北町教育委員会・小城市・小城市教育委員会・大町町・大町町教育委員会　協賛　コカ・コーラ
後援　文部科学省・（財）日本体育協会・日本放送協会・（財）佐賀県体育協会・（財）武雄市体育協会・小城市体育協会・江北町体育協会・大町町体育協会　主管　（財）全国高等学校体育連盟バドミントン専門部・佐賀県高等学校体育連盟・佐賀県バドミントン協会
武雄市実行委員会（0954-26-8183）・江北町実行委員会（0952-86-5622）・小城市実行委員会（0952-73-8808）・大町町実行委員会（0952-82-2177）

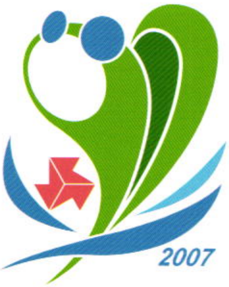
● 高体連マーク



このマークは、若人の力と技と明朗な精神を象徴するものである。マークを構成している３つの「K」は、次のドイツ語の頭文字をとったもので、若人の情熱を示す紅色によって浮き出され、高体連のシンボルマークとされている。

KRAFT	KUNST	KLARHEIT
「力」	「技」	「明朗な精神」

● シンボルマーク



作者　岩永　明美（佐賀県立有田工業高等学校）

ムツゴロウをモチーフとして緑豊かな自然のイメージを青と緑で表現しました。また、若人の躍動感あふれる様を、大きく飛び跳ねるムツゴロウと、その瞬間に上がった飛沫で表現しました。ムツゴロウのシルエットは、この大会が参加する高校生達にとって素晴らしい思い出として心に残るようにという願いを込めて、心＝ハートのイメージにしました。

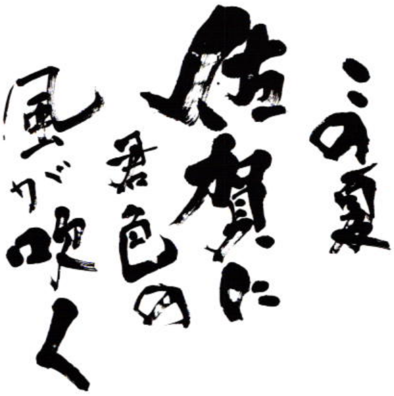
● 大会愛称

2007 青春・佐賀総体

作者　百﨑　文彦（佐賀県立佐賀北高等学校）

全国高校総体に出場することは、日々仲間と共に汗を流しがんばってきた集大成であり、全国高校総体には「青春」という言葉がふさわしいと思いました。また、一人でも多くの人が、人生で一度しかないこの時期を充実したものにできる大会にしてほしいとの気持ちも込めました。

● 大会スローガン



この夏
佐賀に
君色の
風が吹く

作者　片岡　里美（佐賀県立致遠館高等学校）

「君色の風」という言葉に、全ての選手達が全国高校総体の主役であることと、それぞれが自分の目標に向かって実力を十分発揮し輝く様子を表現しました。熱い夏、佐賀に高校生のさわやかな「風」が吹き、そしてたくさんの人に感動を与えてほしいです。

書体　鐘ヶ江　礼子（佐賀県立佐賀北高等学校）

佐賀県で行われる全国高校総体で、選手の方々を勇気づけたいという思いが強くありました。選手一人ひとりの個性が十分発揮できるようにという願いをこめて、「君色の風」の部分は、特に工夫して書きました。

（学校名は応募当時）

目　次

高体連マークの由来、大会シンボルマークの説明 …… 表2

あいさつ …… 2

優勝杯・優勝旗 …… 7

大会スナップ写真 …… 11

大会日程 …… 17

式典次第 …… 18

競技成績一覧表 …… 20

組合せ表 …… 21

学校対抗戦選手等変更一覧 …… 27

試合結果　男子学校対抗戦 …… 28

　女子学校対抗戦 …… 39

　男子個人戦ダブルス …… 50

　女子個人戦ダブルス …… 57

　男子個人戦シングルス …… 64

　女子個人戦シングルス …… 71

平成19年度全国高等学校総合体育大会を顧みて …… 78

あいさつ

平成19年度全国高等学校総合体育大会
武雄市実行委員会会長

樋渡　啓祐

平成１９年度全国高等学校総合体育大会は、「この夏佐賀に君色の風が吹く」のスローガンのもと、佐賀県で開催されました。

本市では、バドミントン、自転車（トラック・ロード）の２競技が開催され、全国各地から多くの選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、高校スポーツ最大の祭典にふさわしい数多くの成果を残し、成功裏に終えることができました。

バドミントン競技大会は、７月２８日の開会式から８月２日まで武雄市・小城市・大町町・江北町の８会場で開催され、各会場とも猛暑をものともしない、はつらつとした見応えのある熱戦が連日繰り広げられました。

７月２９日には武雄市白岩体育館にて、皇太子殿下に学校対抗戦をご覧頂きました。鍛え抜かれた全国高校生トップレベルのプレーは、観戦された殿下をはじめ、多くの方々を魅了し、ひたむきな姿は深い感銘と感動を与えてくれました。選手のみなさんの健闘を心から称えたいと思います。

また、会場の整備をはじめ運営の手伝いに積極的に取り組み、簡素な中にも感銘のある大会をつくりあげ、支えてくれた地元高校生補助員のみなさんにはお礼と賛辞を贈りたいと思います。

選手や補助員のみなさんにとって、本大会での貴重な体験は、青春の良き思い出としてしっかり心に刻み込まれ、今後の人生においてさらなる飛躍を遂げる糧となるものと信じます。

この大会で得た数々の知識・教訓を、広く地域スポーツや生涯スポーツの振興と発展にいかして参りたいと考えています。

終わりに、会場地の武雄市・小城市・大町町・江北町をはじめ、（財）全国高等学校体育連盟、（財）日本バドミントン協会など、本大会の関係者のみなさんの長期間・多方面にわたるご苦労に対して厚くお礼申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、発刊のごあいさつといたします。

あいさつ

平成１９年度全国高等学校総合体育大会

小城市実行委員会　会長　江里口秀次

平成１９年7月２９日から８月２日まで「この夏 佐賀に 君色の風が吹く」の大会スローガンのもと、平成１９年度全国高等学校総合体育大会　高松宮記念杯　第５８回全日本高等学校バドミントン選手権大会に、全国から多くの選手・監督・応援者の皆様をお迎えし、高校生最大のスポーツの祭典が無事に終了することが出来ました。

小城市では、７月２９日、３１日及び８月１日の３日間、２会場で競技を行い、連日の猛暑の中、多くの観客から熱い声援を受け、選手たちは全力で競い合い、都道府県の代表として、まさしく佐賀に君色の風を吹かせて熱戦を繰り広げられました。

この大会を無事終了させることが出来たのは、ひとえに全国高等学校体育連盟バドミントン専門部の皆様をはじめ、関係協力団体の皆様、県民の皆様及びボランティアの皆様のご支援、ご協力の賜物であり、心より感謝し御礼申し上げます。

また、地元の高校生の皆様方には、「一人一役活動」で成功させようを合言葉に、「花いっぱい運動」や「もてなしの心」をもっての接し方などで、大会補助員として活躍していただいたことは、全国から来られた選手・監督・応援者の方々に心地よく受け入れられたことと思い、今大会の成功につながったものと心より感謝いたします。

終わりに、本大会の開催にあたり多大なるご支援とご協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝いたしますとともに、ますますのご活躍を祈念いたしましてお礼のあいさつといたします。

あいさつ

平成 19 年度全国高等学校総合体育大会
大町町実行委員会会長　武村弘正

平成１９年度全国高等学校総合体育大会は、我々に大きな感動を運んでくれました。

今大会の特徴は、「高校生一人一役運動」を掲げた県内すべての高校生が、競技のみならず準備・運営においても主役となり、一丸となって大会を盛り上げ、成功に大きな役割を果たしたことでしょう。

最初の優勝となったなぎなたをはじめ、剣道、アーチェリー、そして新体操の男女アベック優勝という好成績、また競技に参加したすべての選手の真摯な態度と「がばいばあちゃん」に代表される粘り強さは、見ている者を感動させましたが、それは選手たちの長きに渡る日々の鍛錬の成果と、準備から運営まで文字通り奔走した一人一役の高校生の働きの結晶なのではないでしょうか。それは我々すべての胸を深く打つものでした。私はその一人として、すべての選手の皆さん、そして県下すべての高校生の皆さんに、心から感謝と、そして賞賛を表します。

また今大会のスローガンは「この夏、佐賀に君色の風が吹く」でしたが、全国の高校生と共に佐賀県下の高校生全員で起こしたこの風は、遠く甲子園の空まで吹き渡り、佐賀県代表校の背中を押したのではないでしょうか。そしてその風は吹き止むことなく、これからも本県のスポーツの振興、そして地域の活性化に力強い追い風となって吹き続けることと思います。

さて、最近は親子間ですら希薄になっている「世代間の心の交流」が社会問題として取りざたされていますが、事前準備からの長い期間中、本県の高校生は自分の親ほど年齢の離れた市町職員・県教職員・各協議協会などの大会関係者・地元のみなさん方と一緒に汗を流し、心を通わせることができました。それは今後社会人となる高校生にとって貴重な体験となったことと思いますが、同時に、我々大人世代にも貴重な学びの機会となりました。また出場したすべての選手の一途に打ち込む姿にも、大人が教えられることが多くありました。世代を超えたすべての県民に、有意義な夏だった思います。

最後に、選手として、また一人一役として、県下すべての高校生が全力で本大会に臨み、成功させることができたのは、保護者の皆様をはじめとする地域の皆様、そして大会関係各位のご理解と暖かいご協力の賜物であったと思います。今後ともスポーツの振興・発展にご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本大会にかかわったすべての高校生の皆さんが、この夏に吹かせた一人一人の「君色の風」を胸に、それぞれの歩みを力強く続けていかれることを祈念して、ごあいさつといたします。

あ い さ つ

平成19年度全国高等学校総合体育大会
江北町実行委員会会長　田中　源一

「この夏佐賀に君色の風が吹く」のスローガンのもと、武雄市・小城市・大町町・江北町の２市２町で開催された「２００７青春・佐賀総体」バドミントン競技大会は、多くの方々に支えられ、たくさんの出会いと熱い感動を残し、無事終了することができました。

高校生最大のスポーツの祭典である「インターハイ」を、江北町で開催できた喜びをあらためて実感しております。

本町では、男子のメイン会場として１回戦から決勝戦まで開催され、猛暑をものともしない、はつらつとした見応えのある熱戦が連日繰り広げられました。鍛え抜かれた全国高校生トップレベルのプレーは観戦された多くの方々を魅了し、ひたむきな姿は深い感銘と感動を与えてくれました。選手のみなさんの健闘を心からたたえたいと思います。

また、訪れる多くの人々に本町の良さに触れていただきたいとの思いから、高校生やボランティア団体が、様々な創意と工夫を凝らして「花いっぱい運動」、「環境美化活動」等、もてなしの心をもって取組んでまいりました。

会場の整備をはじめ運営の手伝いに積極的に取り組み、簡素な中にも感銘のある大会をつくりあげ、支えてくれた地元高校生補助員のみなさんにはお礼と賛辞を贈りたいと思います。

選手や補助員のみなさんにとって、本大会での貴重な体験は、青春の良き思い出としてしっかり心に刻み込まれ、今後の人生においてさらなる飛躍を遂げる糧となるものと信じます。

本町においては、この大会で得た数々の経験と教訓を、広く地域スポーツや生涯スポーツの振興と発展にいかして参りたいと考えています。

最後に、本大会の開催にあたり多大なるご支援とご協力をいただきました関係者のみなさまに心から感謝いたしますとともに、ますますのご活躍を祈念いたしましてお礼のあいさつといたします。

あいさつ

佐賀県高等学校体育連盟
会長　寺﨑邦朗

平成１９年度全国高等学校総合体育大会「2007 青春・佐賀総体」は、「この夏 佐賀に 君色の風が吹く」のスローガンのもと、佐賀県内１０市１０町および福岡県を舞台に２９競技が展開されました。

２４日間にわたった今大会に、都道府県予選、ブロック予選を勝ち抜いたトップアスリートが集い、各会場で熱戦が繰り広げられ、８月２０日の水泳競技、登山大会、ヨット競技の閉会式をもってすべての日程を無事終了することができました。財団法人全国高等学校体育連盟、佐賀県ならびに会場地実行委員会をはじめ今大会にご尽力・ご支援いただきました関係の皆様に心よりお礼申し上げます。

今大会開催にあたっては、高校生はもとより、広く「県民協働」により、豊かな佐賀の特色を活かした大会づくりに取り組みながら、「簡素な中にも感銘のある大会」の実現を目指しました。また、企画・運営には高校生の感性溢れるアイデアを活かし、高校生が主体となった大会づくりに取り組みました。

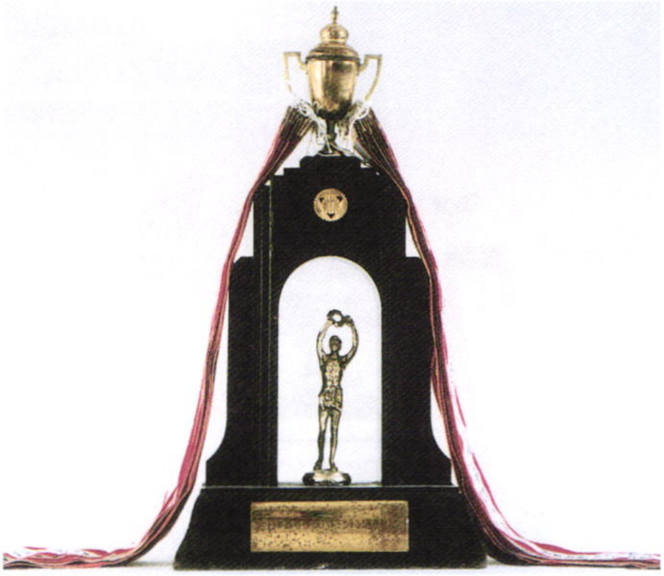
総合開会式には皇太子殿下をお迎えし、３年ぶりに屋外陸上競技場での開催となりました。式典進行、公開演技など佐賀の高校生の活発でひたむきな姿を全国の選手団や観客の皆さんに見ていただけたと思います。最後は全国の選手団を公開演技者が見送ることで心のふれあいができたものと喜んでおります。

競技におきましては、猛暑の影響が心配されましたが、参加した選手たちが持てる力を存分に発揮し、ここ佐賀の地で、それぞれ自分色の風を吹かせ、多くの感動を与えていただきました。地元選手も他県選手に勝るとも劣らず過去最高の成績を残してくれました。

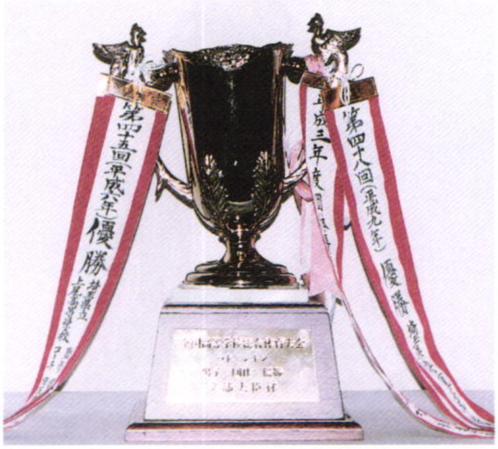
今大会では、総合開会式における「国歌（君が代）メインヴォーカリスト」やインターネットによる全種目の動画配信など新しい試みにも取り組み、まずまずの評価をいただいたことは喜ばしい限りであります。

終わりになりましたが、全国高等学校総合体育大会の今後さらなる発展を祈念しましてあいさつといたします。

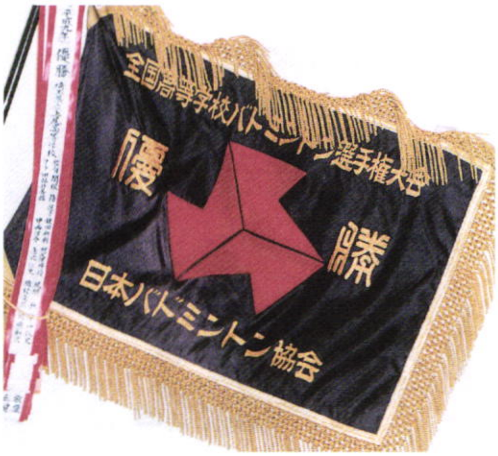
男子学校対抗　優勝・準優勝



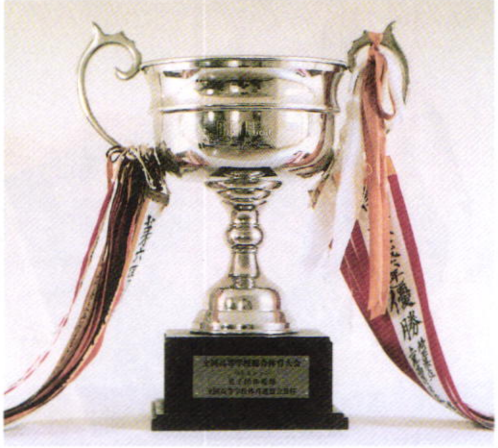
高松宮記念杯



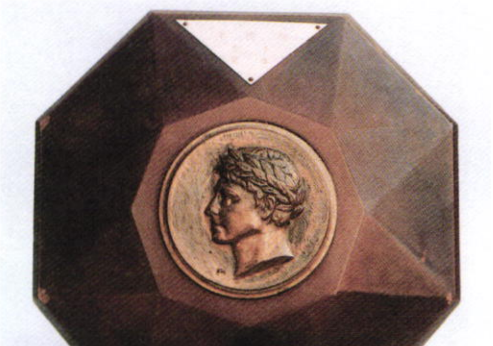
文部科学大臣杯


全国高等学校バドミントン選手権大会
優
勝
日本バドミントン協会

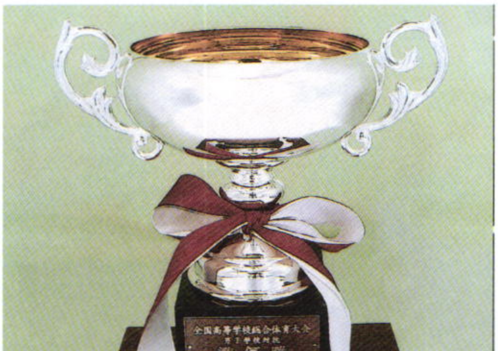
(財)日本バドミントン協会優勝旗



(財)全国高等学校体育連盟会長杯



(財)全国高等学校体育連盟準優勝楯



(財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部長優勝杯

女子学校対抗 優勝・準優勝

高松宮記念杯

平成八年度全国高校総

文部科学大臣杯

女子団体優勝
全国高等学校バドミントン選手権大会
優
勝
本バドミントン協会

(財)日本バドミントン協会優勝旗

(財)全国高等学校体育連盟会長杯

(財)全国高等学校体育連盟準優勝楯

全国高等学校総合体育大会
女子学校対抗
準優勝

(財)全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部長優勝杯

男子ダブルス シングルス優勝・準優勝

(財)日本バドミントン協会長トロフィー

第四十七回（平成八年度）優勝
熊本県立八代東
第四十九回（平成十年度）優勝
熊本県立八代東

(財)全国高等学校体育連盟トロフィー

第四十六回（平成
第四十九回（平成十年度）優勝
熊本県立八

(財)全国高等学校体育連盟トロフィー

平成十年度準優勝
平成四年度準優勝

(財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長杯

平成十年度準優勝
平成九年度準優勝
常総学院

女子ダブルス シングルス優勝・準優勝

(財)日本バドミントン協会長トロフィー

第四十九回香川大会昭和
石川県立金沢向陽高等学校
優勝
全国高等学校バドミントン選手権大会
個人の部 女子
日本バドミントン協会

(財)全国高等学校体育連盟トロフィー

第三十八回優勝
全国高校バドミントン
女子
全国高等学校

(財)全国高等学校体育連盟トロフィー

第三十二回準優勝
新潟県
新潟青陵高等学校
石崎咲和子
山内美子
平成十年度
第四十九回
全國高校総体準優勝
黒川真結
佐藤

(財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長杯

第四十九回香川大会昭和
準優勝
第四十回準優勝
準優勝
新潟

2007開会式

in 武雄市文化会館

開会宣言

佐賀県高等学校体育連盟
バドミントン専門部長　水田　和彦

大会委員長あいさつ

全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部長　木戸　純一

歓迎のことば

武雄市長　樋渡　啓祐

実行委員会代表あいさつ

小城市長　江里口　秀次

激励のことば

日本バドミントン協会
専務理事　関根　義雄

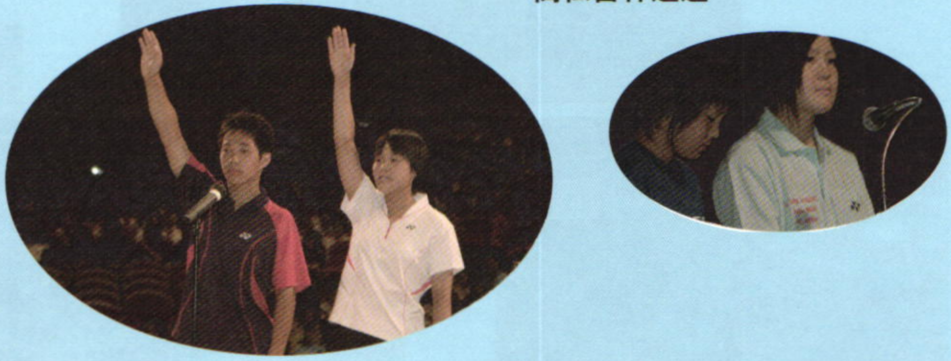
激励のことば

佐賀県バドミントン協会
会長　野口　良治

高松宮杯返還

生徒代表歓迎のことば

武雄高等学校　樋渡　将太



選手宣誓

唐津南
（佐賀）
佐賀女子
（佐賀）

競技開始

青森山田高
青森

岡山県立倉敷中央高等学校

We ❤ "Water Planet"
Coca-Cola
挑戦者の躍動

唐津南
佐賀

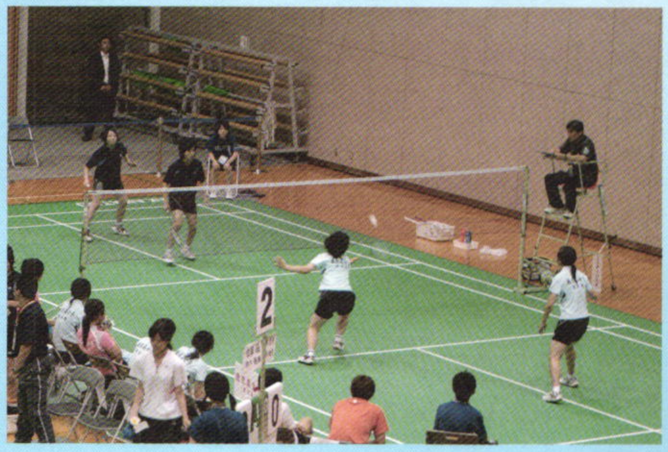
大会役員のみなさん

やれば
自ら
求めて
一歩でも
前
生徒信条

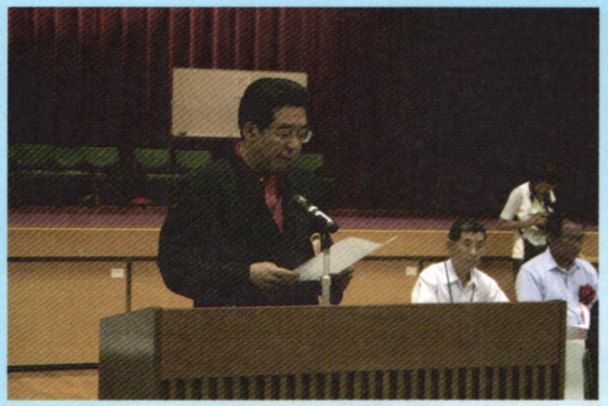
オーダー交換所
放送係
進行係

We "Water Planet" Coca-Cola

どの会場も白熱の試合　みんながんばれ！



表彰式



成績発表

高松宮記念杯授与

高松宮記念杯授与

文部科学大臣表彰

（財）日本バドミントン協会優勝旗授与

優勝おめでとう！

男子学校対抗

埼玉栄高等学校（埼玉県）

平成19年度 全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技大会
高松宮記念杯 第58回 全国高等学校バドミントン選手権大会

女子学校対抗

青森山田高等学校（青森県）

男子個人対抗ダブルス

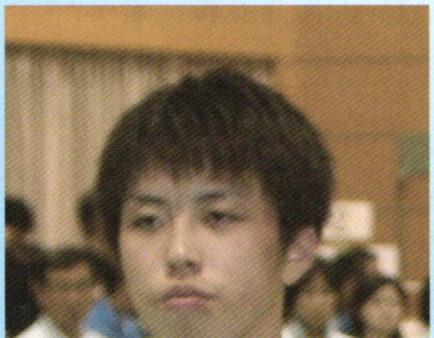
田児　賢一　・　松丸　一輝

（埼玉栄）

女子個人対抗ダブルス

桜井　みどり　・　村上　彩

（金沢向陽）



男子個人対抗シングルス

田児　賢一（埼玉栄）

女子個人対抗シングルス

野尻野　匡代（尚志）

大会日程

種別	月日	内容	場所	開始時刻
準備	７月24日（火） ～ ７月28日（土）	競技・練習会場準備 競技・運営リハーサル 式典・表彰リハーサル	各競技会場 各練習会場 武雄市文化会館	９：００
会議	７月26日（木）	常任委員会	武雄市文化会館	１３：００
	７月27日（金）	専門部委員長会議	武雄市文化会館	１３：００
		監督会議		１５：００
	７月28日（土）	審判会議		１７：００
開会式	７月28日（土）	総合開会式	佐賀県総合運動場陸上競技場	８：００
		種目別開会式	武雄市文化会館	１４：００
競技	７月29日（日）	学校対抗　１回戦～３回戦	《男子》 佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」 大町町立大町中学校体育館 小城市牛津体育センター 小城市立牛津中学校体育館 《女子》 武雄市白岩体育館 県立武雄青陵高等学校体育館 武雄市立山内中学校体育館 武雄市立北方中学校体育館	９：３０
競技 表彰	７月30日（月）	学校対抗　準々決勝～決勝 学校対抗表彰式	《男子》 佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」 《女子》 武雄市白岩体育館	９：３０
競技	７月31日（火）	個人対抗　ダブルス １回戦～準々決勝	《男子》 佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」 大町町立大町中学校体育館 小城市牛津体育センター 小城市立牛津中学校体育館 《女子》 武雄市白岩体育館 県立武雄青陵高等学校体育館 武雄市立山内中学校体育館 武雄市立北方中学校体育館	９：３０
	８月１日（水）	個人対抗　シングルス １回戦～準々決勝		
競技 表彰式 閉会式	８月２日（木）	個人対抗　ダブルス シングルス 準決勝・決勝 個人対抗表彰式 競技種目別閉会式	《男子》 佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」 《女子》 武雄市白岩体育館	９：３０

開会式実施要項

1. 期　日　　平成19年 7月28日(土) 14:00～

2. 会　場　　武雄市文化会館

3. 式次第

No	時刻(所要時間:分)	次第	登壇者	備考
1	13:45	選手集合完了		
2	13:55	来賓・大会役員着席		準備完了確認
3	14:00 (1)	開式通告		ファンファーレ
4	14:01 (35)	選手紹介	各チーム起立	チーム紹介
5	14:36 (1)	開会宣言	大会副委員長	ファンファーレ
6	14:37 (2)	国旗儀礼		君が代
7	14:39 (3)	高体連の歌		
8	14:42 (10)	優勝杯・優勝旗返還	(財)全国高体連バドミントン専門部長	得賞歌
9	14:52 (2)	大会委員長あいさつ	(財)全国高体連バドミントン専門部長	
10	14:54 (2)	大会会長	(財)日本バドミントン協会　副会長	
11	14:56 (2)	実行委員会代表あいさ	小城市長	
12	14:58 (2)	歓迎のことば	武雄市長	
13	15:00 (2)	激励のことば	佐賀県バドミントン協会会長	
14	15:02 (2)	歓迎のことば	生徒代表	
15	15:04 (2)	選手宣誓	大会委員長・選手代表	ファンファーレ
16	15:06 (5)	連続出場校表彰	大会委員長	得賞歌
17	15:11 (3)	感謝状贈呈	(財)日本バドミントン協会	得賞歌
18	15:14 (1)	閉式通告		ファンファーレ
19	15:15 (10)	代表校インタビュー	佐賀県・埼玉県	
20	15:25 (15)	アトラクション	佐賀女子高等学校新体操部	
21	15:40	監督・選手退場		BGM

4. 注意事項

(1)　各チームの代表者1名は、ホール右側の代表者集合所に13:45に集合して下さい。

(2)　優勝・準優勝杯・優勝旗を返還する生徒および連続出場表彰を受ける学校の代表生徒は、13:20までにステージ前に集合して下さい。

5.役員・補助員

(1)　式典役員および生徒補助員は式場の所定の場所に9:00までに集合する。

(2)　開会式後のプラカードは、各会場ごとに競技主任が分類し、各会場へ運ぶ。

学校対抗表彰式実施要項

1. 期日　平成19年7月30日(月)　競技終了後(16:00～予定)

2. 会場　佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」(男子)　武雄市白岩体育館(女子)

3. 式次第

No	時刻(所要時間:分)	次第	登壇者	備考
1	15:50	選手集合完了		
2	15:50	来賓・大会役員着席		準備完了確認
3	16:00 (1)	開式通告		ファンファーレ
4	16:01 (3)	選手・監督入場		行進曲
5	16:03 (2)	成績発表	競技役員長	
6	16:05 (15)	表彰	大会役員	得賞歌
7	16:21 (1)	閉式通告		ファンファーレ
8	16:22 (2)	監督・選手退場		行進曲

4. 注意事項

(1)　被表彰者は15:50までに選手集合所に集合してください。

(2)　3位校の表彰は2校同時に行う。

個人対抗表彰式・閉会式実施要項

1. 期日　平成19年8月2日(木)　競技終了後(13:30～予定)

2. 会場　佐賀のへそ・ふれあい交流センター「ネイブル」(男子)　武雄市白岩体育館(女子)

3. 式次第

No	時刻(所要時間:分)	次第	登壇者	備考
1	13:20	選手集合完了		
2	13:20	来賓・大会役員着席		準備完了確認
3	13:30 (1)	開式通告		ファンファーレ
4	13:31 (2)	選手・監督入場		行進曲
5	13:33 (2)	成績発表	競技役員長	
6	13:35 (15)	表彰		得賞歌
7	13:50 (2)	大会委員長挨拶	大会委員長	
8	13:52 (2)	開催地挨拶	各市町首長	
9	13:54 (2)	国旗儀礼		
10	13:56 (1)	閉会宣言	大会副委員長	ファンファーレ
11	13:58 (1)	閉式通告		
12	13:59 (2)	監督・選手退場		行進曲

4. 注意事項

(1)　被表彰者は13:20までに選手集合所に集合する。

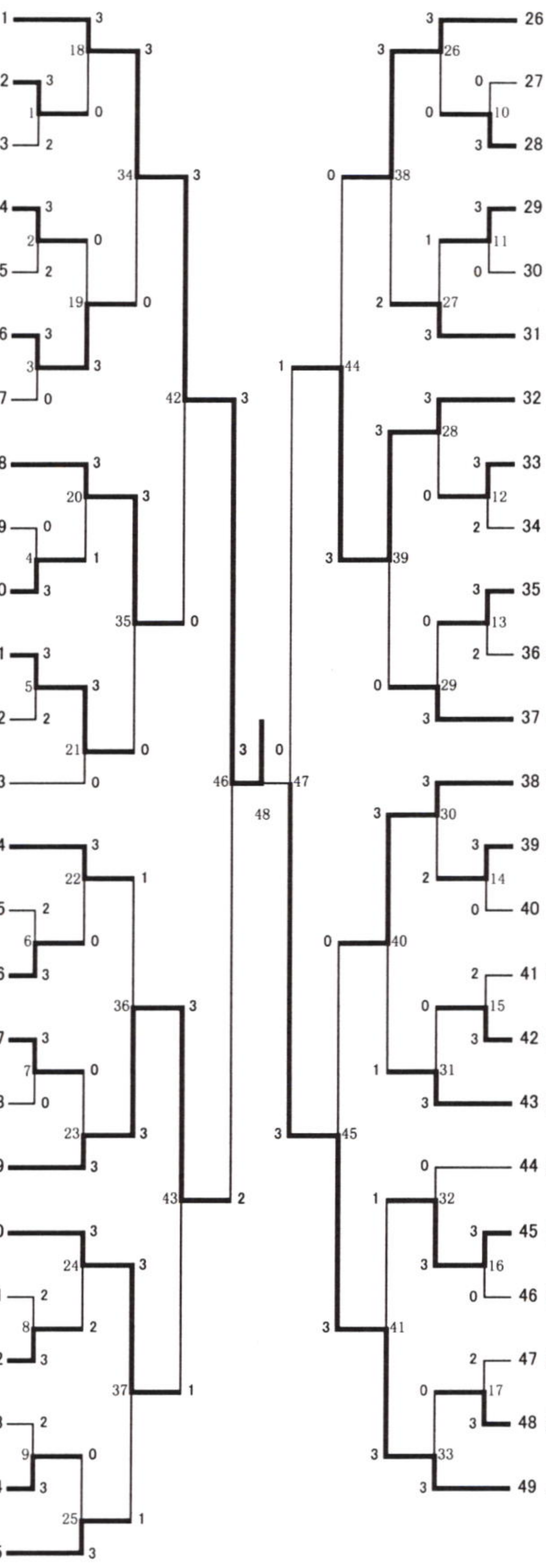
(2)　男子シングルス→男子ダブルス(女子シングルス→女子ダブルス)の順で、優勝者、準優勝者、第3位の各4名(組)を順に表彰します。

競技成績一覧

競技種目	順位	被表彰者（校）名	都道府県名
学校対抗 男子	1	埼玉栄高等学校	埼玉県
	2	熊本県立八代東高等学校	熊本県
	3	関東第一高等学校	東京都
		延暦寺学園比叡山高等学校	滋賀県
学校対抗 女子	1	青森山田高等学校	青森県
	2	石川県立金沢向陽高等学校	石川県
	3	富山県立高岡西高等学校	富山県
		聖ウルスラ学院英智高等学校	宮城県
個人対抗 男子ダブルス	1	田児 賢一 ・ 松丸 一輝 （埼玉栄高等学校）	埼玉県
	2	野口 勝利 ・ 山崎 裕太 （埼玉栄高等学校）	埼玉県
	3	三好 耕二 ・ 藤井 亮 （英明高等学校）	香川県
		園田 啓悟 ・ 嘉村 健士 （熊本県立八代東高等学校）	熊本県
個人対抗 女子ダブルス	1	村上 彩 ・ 桜井みどり （石川県立金沢向陽高等学校）	石川県
	2	打田しづか ・ 藤田（岡崎城西高等学校）	愛知県
	3	西山夕美子 ・ 米元小春 （青森山田高等学校）	青森県
		宮内 唯 ・ 加藤 祥子 （大分県立別府鶴見が丘高等学校）	大分県
個人対抗 男子シングルス	1	田児 賢一 （埼玉栄高等学校）	埼玉県
	2	和田 周 （埼玉栄高等学校）	埼玉県
	3	嘉村 健士 （熊本県立八代東高等学校）	熊本県
		園田 啓悟 （熊本県立八代東高等学校）	熊本県
個人対抗 女子シングルス	1	野尻野 匡世 （尚志高等学校）	福島県
	2	打田 しづか （岡崎城西高等学校）	愛知県
	3	三木 佑里子 （埼玉県立越谷南高等学校）	埼玉県
		土井 杏奈 （滋賀女子高等学校）	滋賀県

男子学校対抗　組合せ表(BT-49)

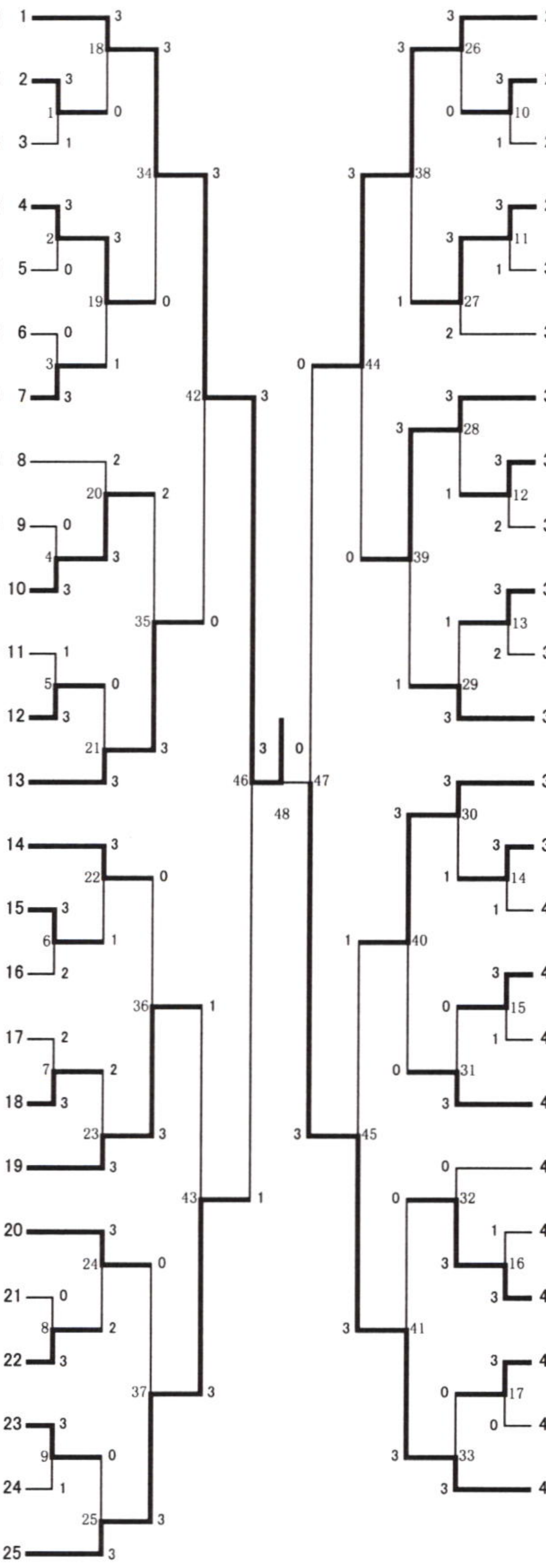
埼玉栄	(埼玉)	1
前沢	(岩手)	2
桂	(京都)	3
新田	(愛媛)	4
北越	(新潟)	5
福岡大学附属大濠	(福岡)	6
柳井工業	(山口)	7
名経大市邨	(愛知)	8
沖縄水産	(沖縄)	9
仙台商業	(宮城)	10
太田市立商業	(群馬)	11
一条	(奈良)	12
龍谷	(佐賀)	13
札幌第一	(南北海道)	14
大町北	(長野)	15
日章学園	(宮崎)	16
富岡	(福島)	17
県立岐阜商業	(岐阜)	18
関東第一	(東京)	19
西陵	(長崎)	20
西武台千葉	(千葉)	21
神戸村野工業	(兵庫)	22
土佐	(高知)	23
倉吉総産	(鳥取)	24
勝山	(福井)	25


3
18 3
3 26
3
1 0
2 3 0 10
3
0 34 3 38
3 29
2 0
0 2 1 11
19 0
2 27
3
3 3 3
0
1 44
42 3
3 28
3 3
0 12
3 20 3 2
0 3 39
1
4 3
3 13
3
35 0 0
3 2
5 3 0 29
3
2
21 0 3 0
46 48 47
0
3 3 30
22 1
3 14
0 2
6 0 0
40 0
3
2
36 3 0 15
3 3
0 1 31
7
3
0 23 3 3 45
3
0
43 2 1 32
3 3
24 3 3 16
0
2
8 2 3 41
3
2
37 1 0 17
3
2
3
9 0 3 33 3
3
25 1
3

26	東大阪大学柏原	(大阪)
27	甲府商業	(山梨)
28	鶴岡工業	(山形)
29	旭川実業	(北北海道)
30	徳島商業	(徳島)
31	金沢市立工業	(石川)
32	比叡山	(滋賀)
33	常総学院	(茨城)
34	鹿児島商業	(鹿児島)
35	暁	(三重)
36	秋田工業	(秋田)
37	水島工業	(岡山)
38	青森山田	(青森)
39	高岡第一	(富山)
40	日田林工	(大分)
41	松江北	(島根)
42	川崎総合科学	(神奈川)
43	英明	(香川)
44	唐津南	(佐賀)
45	作新学院	(栃木)
46	星陵	(静岡)
47	広島城北	(広島)
48	新宮	(和歌山)
49	八代東	(熊本)

女子学校対抗　組合せ表(GT-49)

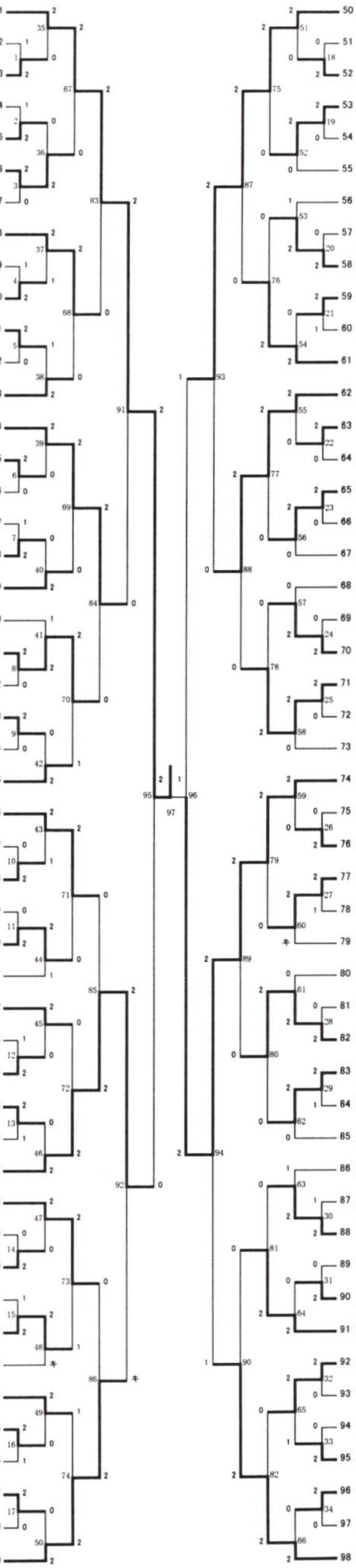
1	青森山田	(青森)
2	宮崎商業	(宮崎)
3	清和女子	(高知)
4	とわの森三愛	(南北海道)
5	伊奈	(茨城)
6	一条	(奈良)
7	県立岐阜商業	(岐阜)
8	倉敷中央	(岡山)
9	甲府商業	(山梨)
10	昭和学園	(大分)
11	前沢	(岩手)
12	新発田商業	(新潟)
13	滋賀女子	(滋賀)
14	佐賀女子	(佐賀)
15	京都西山	(京都)
16	松徳学院	(島根)
17	尚志	(福島)
18	関東第一	(東京)
19	九州国際大学付属	(福岡)
20	城東	(徳島)
21	長崎女子	(長崎)
22	伊勢崎清明	(群馬)
23	米子北	(鳥取)
24	星陵	(静岡)
25	高岡西	(富山)
26	聖ウルスラ英智	(宮城)
27	高松商業	(香川)
28	蘇南	(長野)
29	四天王寺	(大阪)
30	西武台千葉	(千葉)
31	八代白百合学園	(熊本)
32	岡崎城西	(愛知)
33	糸満	(沖縄)
34	清水ヶ丘	(広島)
35	勝山	(福井)
36	耐久	(和歌山)
37	作新学院	(栃木)
38	越谷南	(埼玉)
39	夙川学院	(兵庫)
40	鹿児島女子	(鹿児島)
41	秋田和洋女子	(秋田)
42	暁	(三重)
43	旭川実業	(北北海道)
44	唐津南	(佐賀)
45	鵠沼	(神奈川)
46	新田	(愛媛)
47	熊毛北	(山口)
48	山形市立商業	(山形)
49	金沢向陽	(石川)



1 3
18 3
2 3
1 0
3 1
34 3
4 3
2 3
5 0
19 0
6 0
3 1
7 3
42 3
8 2
20 2
9 0
4 3
10 3
35 0
11 1
5 0
12 3
21 3
13 3
46 3
48
0 47
14 3
22 0
15 3
6 1
16 2
36 1
17 2
7 2
18 3
23 3
19 3
43 1
20 3
24 0
21 0
8 2
22 3
37 3
23 3
9 0
24 1
25 3
25 3
3 26
3 26
3 27
0 10
1 28
3 38
3 29
3 11
1 30
1 27
2 31
0 44
3 32
3 28
3 33
1 12
2 34
0 39
3 35
1 13
2 36
1 29
3 37
3 38
3 30
3 39
1 14
1 40
1 40
3 41
0 15
1 42
0 31
3 43
3 45
0 44
0 32
1 45
3 16
3 46
3 41
3 47
0 17
0 48
3 33
3 49

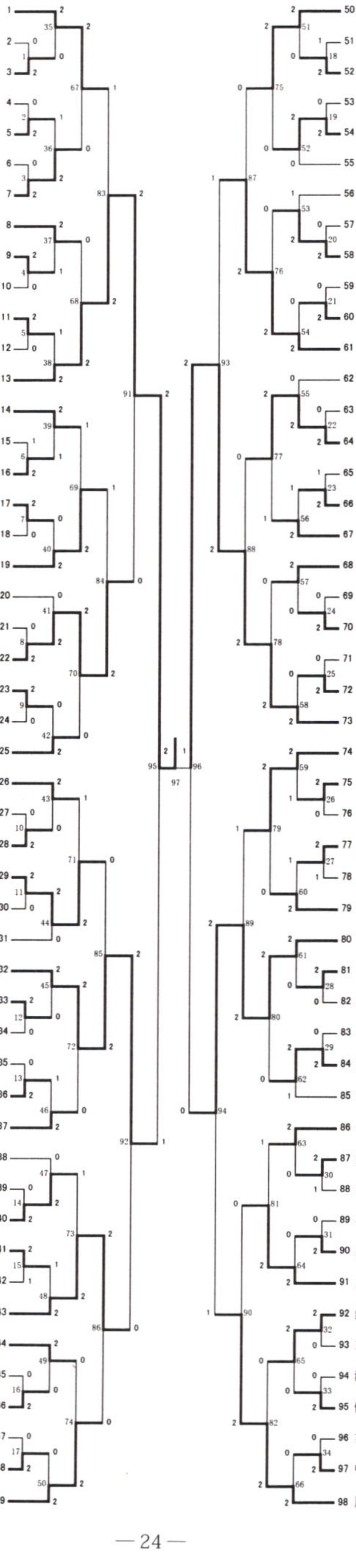
男子個人対抗ダブルス　組合せ表(BD-98)

No.	選手	都道府県・学校
1	田児賢一・松丸一輝	埼玉・埼玉栄
2	奥本克真・首里良太	沖縄・沖縄水産
3	尾崎智洸・千木良司	奈良・奈良大学附属
4	田中麻左人・諸熊剛明	佐賀・唐津南
5	齋藤誠・菅原祐作	山形・鶴岡工業
6	永野翔太・川崎敬済	高知・土佐
7	杉本陽祐・藤巻嵩寛	長野・大町北
8	岩見隆広・宮野一樹	青森・青森山田
9	打田雄紀・高橋武大	三重・暁
10	増渕典明・毒島司	栃木・作新学院
11	渡邊達哉・田中光	宮崎・日章学園
12	水川文人・高地修史	岡山・水島工業
13	和田力也・岩江恵資	大阪・東大阪大学柏原
14	荒木佑也・永田晋作	長崎・西陵
15	村上真次郎・山崎祐介	愛媛・新田
16	藤井恵太・木村裕樹	茨城・常総学院
17	嵯峨根和正・竹ノ下将圭	京都・桂
18	小山恭平・田中健太郎	島根・大東
19	牧野公亮・鈴木啓太	北北海道・旭川実業
20	吉本直樹・上原将馬	山口・柳井工業
21	政谷泰俊・森吉佑介	石川・金沢市立工業
22	青田光太郎・佐藤良	宮城・仙台商業
23	三橋将希・高橋惇	神奈川・藤沢翔陵
24	堀江智康・角田尚太朗	熊本・八代東
25	駒田直也・深尾淳	愛知・名経大市邨
26	安部惇士・加藤晃平	福島・帝京安積
27	大安一輝・香田純希	広島・広島城北
28	五十嵐浩希・高山郁弥	新潟・北越
29	武井宣紀・飯島史也	山梨・甲府商業
30	村松将豪・河野恵太	静岡・星陵
31	石川岳明・鈴木陵麻	南北海道・札幌第一
32	植田真伍・河田尚也	兵庫・神戸村野工業
33	阿部慎也・黒木翔太	大分・別府鶴見丘
34	甲谷光・工藤和貴	秋田・秋田工業
35	山村駿介・本川剛	富山・高岡第一
36	堀内拓人・青木雅彦	千葉・西武台千葉
37	三好耕二・藤井亮	香川・英明
38	山口夏樹・松浦正輝	福井・勝山
39	田中良亮・林谷悠貴	鳥取・米子北
40	満園雄摩・満園拓摩	鹿児島・鹿児島商業
41	丸尾健太郎・番条友摩	群馬・伊勢崎清明
42	黒田匠馬・宇野賢人	滋賀・比叡山
43	古川哲也・佐伯翔太	佐賀・唐津工業
44	牧泰史・末松純	福岡・福岡大学附属大濠
45	井村圭甫・鏡裕樹	徳島・徳島商業
46	外川真樹・玉山駿	岩手・前沢
47	生駒賢・松村智仁	和歌山・新宮
48	小島拓也・井上拓哉	岐阜・岐阜工業
49	武下利一・藤原達矢	東京・関東第一
50	嘉村健士・園田啓悟	熊本・八代東
51	山脇一生・小島祐真	高知・高知南
52	茂木伸男・荒井皓嗣	群馬・桐生市立商業
53	角田碧・仁島大毅	島根・松江北
54	田代有麻・甲石淳哉	静岡・星陵
55	鶴田伸太郎・松本大	佐賀・唐津南
56	小野寺勝也・田渕雄喜	南北海道・札幌第一
57	信太惣晟・佐々木俊仁	秋田・秋田工業
58	砂井良介・米田健司	新潟・北越
59	奥智洋・寺師駿	鹿児島・鹿児島商業
60	大釜恵介・辻野智之	京都・京都両洋
61	宮本大地・小池直樹	東京・関東第一
62	渡邉一磨・末吉佑任	岡山・水島工業
63	石岡篤志・松田正路	大阪・東大阪大学柏原
64	篠原裕季・吉田安具利	岩手・前沢
65	溝口元気・松村侑紀	長崎・創成館
66	金谷聡士・阿蘇拓也	千葉・千葉敬愛
67	浅野新也・島岡亮治	岐阜・県立岐阜商業
68	渡辺渉・佐藤和哉	宮城・宮城県工業
69	安藤亮太・望月彰人	山梨・都留
70	上内進介・辰巳敬亮	奈良・一条
71	千京尚将・川西俊也	福井・勝山
72	金城俊・高江洲優	沖縄・コザ
73	池内浩太朗・岩崎正洋	香川・高松商業
74	野口勝利・山崎裕太	埼玉・埼玉栄
75	鈴山貴史・明見拓哉	広島・祇園北
76	佐藤博幸・佐藤祐樹	山形・鶴岡工業
77	田中省吾・本間典是	愛知・岡崎城西
78	森上健太・原田和憲	福岡・自由ケ丘
79	曽我部翔・真鍋聡志	愛媛・新居浜東
80	寺田惇平・寺島裕二	福島・帝京安積
81	田村光・内富海市	山口・徳山工業
82	福岡輝・星野敬嗣	茨城・藤代
83	大江正人・谷村龍信	富山・高岡第一
84	坂本輝・坂本翼	兵庫・神戸村野工業
85	円城寺尚人・島崎拓也	佐賀・唐津東
86	仲井佑太・森本貴則	鳥取・倉吉総産
87	前原俊宏・鈴木孝祐	栃木・宇都宮南
88	入江優喜・加納大貴	北北海道・帯広大谷
89	奥原大生・戸谷直樹	長野・大町
90	高松剛・伊藤千樹	大分・日田林工
91	村上俊・矢部拓也	滋賀・比叡山
92	西川夏樹・佐橋芳彦	三重・久居
93	定宗隆一郎・柳田涼祐	宮崎・日章学園
94	各務成俊・塩野敏生	和歌山・新宮
95	古川龍之介・小笠原純也	青森・東奥学園
96	齋藤嘉貴・山田知幸	神奈川・川崎総合科学
97	吉成倫大・弘田昂	徳島・徳島商業
98	坂井一将・新田晃浩	石川・金沢市立工業



女子個人対抗ダブルス 組合せ表（GD-98）

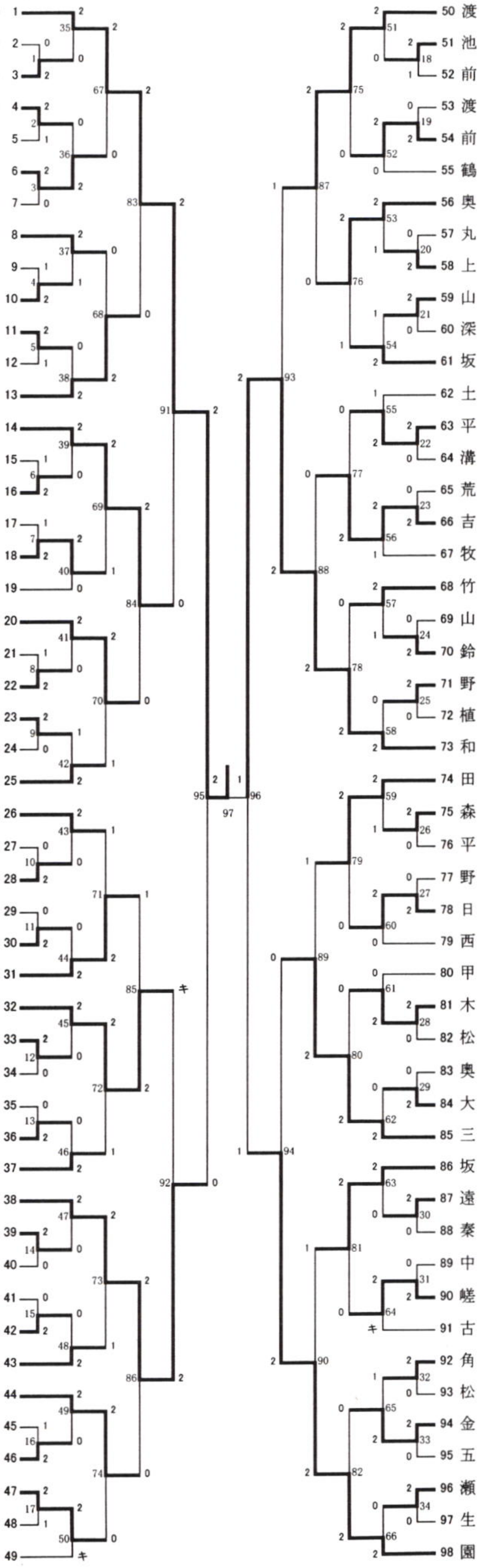
三木佑里子·大森舞（埼玉・越谷南）1
布宮ゆり恵·富永美穂（北北海道・旭川東）2
松尾知佳·角田麻紀（岡山・西大寺）3
遠藤真美·鈴木智子（兵庫・夙川学院）4
細田知里·田中悠菜（長崎・長崎東）5
大槻千尋·茂木美帆（福島・帝京安積）6
松友仁美·久次米佐和子（徳島・城東）7
上田恵里加·岡留沙樹（大分・昭和学園）8
浦井美和·小山文萌（千葉・西武台千葉）9
宮下渚紗·山本有里沙（和歌山・耐久）10
真弓恵理子·清水亜矢（三重・久居）11
宇津木由佳·中原由貴（鳥取・倉吉東）12
村上彩·桜井みどり（石川・金沢向陽）13
藤井詩穂·吉田琴美（佐賀・佐賀女子）14
大川美幸·永田知里（岐阜・県立岐阜商業）15
森知宏·佐藤有純（山形・新庄南）16
古屋杏奈·滝川翔子（山梨・甲府商業）17
徳村梨奈·三苫恵美子（宮崎・宮崎南）18
久後あすみ·西友理（大阪・四天王寺）19
土江奈津子·山本ゆかり（島根・松徳学院）20
竹尾優希·白野悠里（神奈川・元石川）21
小林史佳·横山めぐみ（熊本・八代白百合学園）22
藤原由佳·中村あかね（香川・高松商業）23
竹内沙希·伊藤友希子（福井・勝山）24
菅野友·岡田彩菜（宮城・聖ウルスラ英智）25
栗原文音·植田悠（福岡・九州国際大学付属）26
西川真奈美·稲寺咲（奈良・添上）27
市山瑶子·二ッ柳紗耶（富山・高岡西）28
土田茉実·神田織恵（東京・関東第一）29
花本陽菜·河村冴衣子（山口・熊毛北）30
久枝ゆい·野口幸代（愛媛・新田）31
西山夕美子·米元小春（青森・青森山田）32
岩渕幸穂·佐野萌子（静岡・星陵）33
宮平ゆかり·国吉仁子（沖縄・糸満）34
上山円香·渋川明里（京都・京都西山）35
青柳芽衣·椎貝友紀（栃木・作新学院）36
太田真由美·音田亜子（新潟・新発田商業）37
三上千明·柳亭郁実（広島・清水ヶ丘）38
佐野友香·井上彩香（佐賀・佐賀女子）39
天野成美·伊藤朝美（秋田・秋田和洋女子）40
内藤遥·越沢まりこ（群馬・伊勢崎清明）41
岩永舞子·森山晴捺（鹿児島・鹿児島女子）42
樋渡仁見·新玉美郷（愛知・名経大市邨）43
小久保陽香·小野地友希（南北海道・札幌静修）44
羽方美咲·近藤ありさ（高知・土佐女子）45
鈴木歩望·永田美帆（長野・蘇南）46
玉山希·齊藤奈穂（岩手・前沢）47
上野晶子·大河内皐月（茨城・伊奈）48
土井杏奈·仲川志都香（滋賀・滋賀女子）49



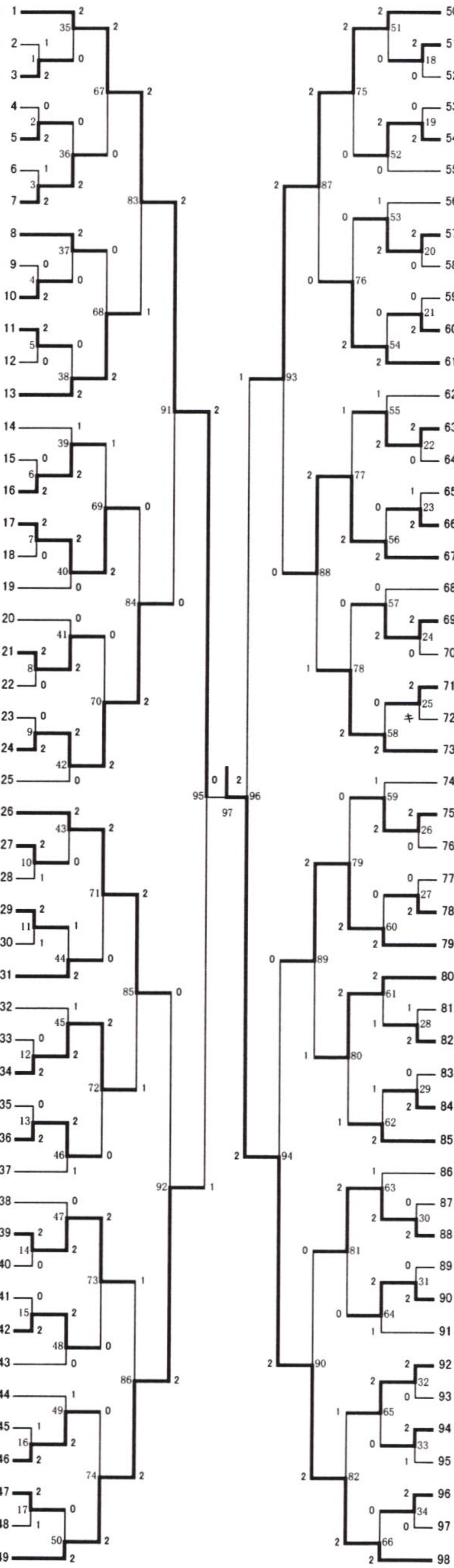
50 石井那実·矢野智恵美（栃木・作新学院）
51 井川奈保·小林桃子（山形・山形西）
52 飯田彩花·江口夏妃（静岡・伊東）
53 岩本柚美·壽本実里（宮崎・宮崎商業）
54 村上陽子·佐々木唯（滋賀・大津商業）
55 鈴木美穂·河村彩香（山口・熊毛北）
56 國安香好·水口愛梨（徳島・城東）
57 阿部梨奈·三森夏実（山梨・甲府湯田）
58 稲葉菜保美·上所愛（兵庫・夙川学院）
59 平敷祥子·玉城真央（沖縄・糸満）
60 室達茜·中尾彩乃（石川・金沢向陽）
61 垣岩令佳·内井快枝（青森・青森山田）
62 佐藤しおり·高橋杏奈（北北海道・旭川実業）
63 藤澤祥子·加藤宏佳（岩手・盛岡第四）
64 森亜希子·芳野春花（長崎・長崎女子）
65 上林惠理子·黒沢奈菜（茨城・茗渓学園）
66 大谷倫代·山本由希絵（京都・京都西山）
67 大家久美子·納塚夏実（佐賀・佐賀女子）
68 住田有希恵·上村佳代（熊本・八代白百合学園）
69 宮美紗貴·西村結衣（群馬・伊勢崎清明）
70 豊田咲奈·樫栄祥子（愛媛・新田）
71 足立由衣·二ツ柳彩耶（長野・文化女子大学附属長野）
72 豊田希美·吉廣咲姫（広島・清水ヶ丘）
73 打田しづか·藤田理恵子（愛知・岡崎城西）
74 実光鮎佳·岡本麻菜美（岡山・倉敷中央）
75 坂中夢·牧之瀬みほ（福岡・九州国際大学付属）
76 大湊望·関川容子（新潟・新潟青陵）
77 中川まどか·本間美穂（南北海道・とわの森三愛）
78 小野悠奈·山口佳恵（埼玉・埼玉栄）
79 野尻野匡世·濱島未花（福島・尚志）
80 宮内唯·加藤祥子（大分・別府鶴見丘）
81 石田麻衣·斎藤綾乃（福井・勝山）
82 森山このみ·沖美波（高知・清和女子）
83 小林麻紀·大西結衣（和歌山・耐久）
84 遠藤紗葉·小窪千香子（岐阜・県立岐阜商業）
85 宮田晶代·白樫春菜（神奈川・鵠沼）
86 小口晃佳·東野良美（大阪・四天王寺）
87 辻井麻衣香·金児真衣（三重・暁）
88 山本敬子·山下里奈（鹿児島・鹿児島女子）
89 石津美紀子·青山未佳（島根・松徳学院）
90 髙橋礼華·玉木絵里子（宮城・聖ウルスラ英智）
91 大日方美弥子·飯泉綾乃（千葉・西武台千葉）
92 鈴木梢·木村有花（東京・日本橋女学館）
93 末吉志織·早川未沙（鳥取・米子北）
94 溝添美紗希·中山美咲（佐賀・唐津南）
95 佐藤遥·鈴木優華（秋田・秋田和洋女子）
96 吉田晴香·伊藤萌（奈良・奈良商業）
97 中田真由美·鍋井彩果（香川・高松商業）
98 片山佳菜·奥井智菜美（富山・高岡西）

男子個人対抗シングルス 組合せ表(BS98)

No.	氏名	所属
1	田児賢一	埼玉・埼玉栄
2	土井悠也	広島・広島城北
3	入江優喜	北北海道・帯広大谷
4	徳田文太	京都・桂
5	阿部慎也	大分・別府鶴見丘
6	信太惣晟	秋田・秋田工業
7	浅野新也	岐阜・県立岐阜商業
8	内藤浩司	福島・富岡
9	脇野陽	鹿児島・鹿児島
10	藤巻嵩寛	長野・大町北
11	丸尾亮太郎	群馬・伊勢崎清明
12	右城耕平	高知・嶺北
13	和田力也	大阪・東大阪大学柏原
14	中村祐文	長崎・西陵
15	新田晃浩	石川・金沢市立工業
16	村松将豪	静岡・星陵
17	多田祐太	岩手・花巻北
18	三橋将希	神奈川・藤沢翔陵
19	逢澤良亮	岡山・水島工業
20	村上真次郎	愛媛・新田
21	北原惇史	和歌山・星林
22	仲井佑太	鳥取・倉吉総産
23	太田誠	富山・高岡第一
24	福岡輝	茨城・藤代
25	円城寺尚人	佐賀・唐津東
26	駒田直也	愛知・名経大市邨
27	渡邉達哉	宮崎・日章学園
28	齋藤洋毅	青森・東奥学園
29	仁島大毅	島根・松江北
30	増渕典明	栃木・作新学院
31	河田尚也	兵庫・神戸村野工業
32	千京尚将	福井・勝山
33	原田和憲	福岡・自由ケ丘
34	定清大祐	滋賀・比叡山
35	鏡裕樹	徳島・徳島商業
36	堀内拓人	千葉・西武台千葉
37	鈴木陵麻	南北海道・札幌第一
38	嘉村健士	熊本・八代東
39	佐藤尚己	宮城・仙台商業
40	丸山修	山梨・甲府湯田
41	田中賢一	佐賀・小城
42	高山郁弥	新潟・北越
43	木場勇介	香川・英明
44	佐藤大樹	山形・長井
45	奥本克真	沖縄・沖縄水産
46	伊藤史人	三重・暁
47	江藤真二	山口・山口県鴻城
48	千木良司	奈良・奈良大学附属
49	武下利一	東京・関東第一
50	渡邉一磨	岡山・水島工業
51	池大樹	新潟・佐渡総合
52	前田祐穂	宮崎・宮崎工業
53	渡辺渉	宮城・宮城県工業
54	前原俊宏	栃木・宇都宮南
55	鶴田伸太郎	佐賀・唐津南
56	奥智洋	鹿児島・鹿児島商業
57	丸山祐司	山梨・甲府昭和
58	上内進介	奈良・一条
59	山﨑祐介	愛媛・新田
60	深尾淳	愛知・名経大市邨
61	坂本賢宏	青森・青森山田
62	土居寛人	滋賀・比叡山
63	平川大貴	神奈川・川崎総合科学
64	溝口元気	長崎・創成館
65	荒川一真	岐阜・岐阜工業
66	吉本直樹	山口・柳井工業
67	牧野公亮	北北海道・旭川実業
68	竹内慶太郎	富山・高岡第一
69	山脇一生	高知・高知南
70	鈴木雄大	福島・帝京安積
71	野原大輔	沖縄・沖縄水産
72	植田真伍	兵庫・神戸村野工業
73	和田周	埼玉・埼玉栄
74	田渕雄喜	南北海道・札幌第一
75	森本貴則	鳥取・倉吉総産
76	平賀勇貴	岩手・花北青雲
77	野口秀之	茨城・常総学院
78	日高篤俊	福岡・福岡
79	西川夏樹	三重・久居
80	甲谷光	秋田・秋田工業
81	木戸道治	東京・関東第一
82	松田正路	大阪・東大阪大学柏原
83	奥原大生	長野・大町
84	大和一輝	広島・広島桜が丘
85	三好耕二	香川・英明
86	坂井一将	石川・金沢市立工業
87	遠藤宗之介	群馬・前橋東
88	秦隆之	大分・別府鶴見丘
89	中山慧	徳島・城東
90	嵯峨根和正	京都・桂
91	古川哲也	佐賀・唐津工業
92	角田碧	島根・松江北
93	松浦正輝	福井・勝山
94	金谷聡士	千葉・千葉敬愛
95	五十嵐健	山形・鶴岡南
96	瀬戸麻人	静岡・伊東商業
97	生駒賢	和歌山・新宮
98	園田啓悟	熊本・八代東



女子個人対抗シングルス 組合せ表（GS-98）



No.	氏名	所属
1	打田しづか	（愛知・岡崎城西）
2	渋川明里	（京都・京都西山）
3	児玉綾子	（鹿児島・鹿児島女子）
4	飯泉綾乃	（千葉・西武台千葉）
5	山本ゆかり	（島根・松徳学院）
6	舘脇祐未	（岩手・前沢）
7	木下侑梨恵	（北北海道・旭川実業）
8	戸田みよ子	（広島・鈴峯女子）
9	森山このみ	（高知・清和女子）
10	森亜希子	（長崎・長崎女子）
11	宮美紗貴	（群馬・伊勢崎清明）
12	佐野友香	（佐賀・佐賀女子）
13	奥井智菜美	（富山・高岡西）
14	西川真奈美	（奈良・添上）
15	真弓恵理子	（三重・久居）
16	鈴木温子	（東京・関東第一）
17	土谷美帆	（石川・金沢向陽）
18	大山千春	（山形・山形城北）
19	宮内唯	（大分・別府鶴見丘）
20	山口佳恵	（埼玉・埼玉栄）
21	古賀さやみ	（福岡・福岡常葉）
22	松本千穂	（鳥取・境）
23	野口幸代	（愛媛・新田）
24	山本しずか	（兵庫・加古川東）
25	垣岩令佳	（青森・青森山田）
26	住田有希恵	（熊本・八代白百合学園）
27	宮下渚紗	（和歌山・耐久）
28	鈴木歩望	（長野・蘇南）
29	宮田晶代	（神奈川・鵠沼）
30	前田莉沙	（岐阜・県立岐阜商業）
31	水口愛梨	（徳島・城東）
32	小久保陽香	（南北海道・札幌静修）
33	黒沢奈菜	（茨城・茗溪学園）
34	音田亜子	（新潟・新発田商業）
35	川﨑美紅	（宮崎・宮崎工業）
36	岡本麻菜美	（岡山・倉敷中央）
37	伊藤朝美	（秋田・秋田和洋女子）
38	古屋杏奈	（山梨・甲府商業）
39	松友美佐紀	（宮城・聖ウルスラ英智）
40	三好加奈瑛	（香川・坂出商業）
41	石田麻衣	（福井・勝山）
42	福万尚子	（大阪・樟蔭東）
43	藤井詩穂	（佐賀・佐賀女子）
44	青柳芽衣	（栃木・作新学院）
45	河村彩香	（山口・熊毛北）
46	平敷祥子	（沖縄・糸満）
47	濵島未花	（福島・尚志）
48	岩渕幸穂	（静岡・星陵）
49	土井杏奈	（滋賀・滋賀女子）

No.	氏名	所属
50	三木佑里子	（埼玉・越谷南）
51	天野成美	（秋田・秋田和洋女子）
52	児島亜紀	（奈良・一条）
53	金澤結香莉	（高知・土佐女子）
54	上村麻衣	（沖縄・糸満）
55	井上彩香	（佐賀・佐賀女子）
56	実光鮎佳	（岡山・倉敷中央）
57	土田茉実	（東京・関東第一）
58	永田知里	（岐阜・県立岐阜商業）
59	岩永舞子	（鹿児島・鹿児島女子）
60	太田真由美	（新潟・新発田商業）
61	玉木絵里子	（宮城・聖ウルスラ英智）
62	久枝ゆい	（愛媛・新田）
63	矢野智恵美	（栃木・作新学院）
64	益田茉季	（大分・昭和学園）
65	髙野有香	（南北海道・札幌静修）
66	花本陽菜	（山口・熊毛北）
67	小口晃佳	（大阪・四天王寺）
68	金児真衣	（三重・暁）
69	村上彩	（石川・金沢向陽）
70	内藤舞	（岩手・盛岡市立）
71	稲葉菜保美	（兵庫・夙川学院）
72	白樫春菜	（神奈川・鵠沼）
73	栗原文音	（福岡・九州国際大学付属）
74	吉田琴美	（佐賀・佐賀女子）
75	土江奈津子	（島根・松徳学院）
76	内藤遥	（群馬・伊勢崎清明）
77	中山明日香	（福井・勝山）
78	髙橋真理	（京都・京都西山）
79	本山祥子	（青森・青森山田）
80	藤田理恵子	（愛知・岡崎城西）
81	芳野春花	（長崎・長崎女子）
82	平井亜紀	（香川・高松商業）
83	佐藤茜	（山形・山形城北）
84	佐藤詩織	（茨城・常総学院）
85	柳亭郁実	（広島・清水ヶ丘）
86	佐藤しおり	（北北海道・旭川実業）
87	青柳佐紀	（熊本・八代白百合学園）
88	大日方美弥子	（千葉・西武台千葉）
89	山本有里沙	（和歌山・耐久）
90	國安香好	（徳島・城東）
91	二ツ柳彩耶	（長野・文化女子大学附属長野）
92	野田郁恵	（滋賀・滋賀女子）
93	松岡千香子	（静岡・星陵）
94	市山瑶子	（富山・高岡西）
95	末吉志織	（鳥取・米子北）
96	阿部梨奈	（山梨・甲府湯田）
97	岩本由季奈	（宮崎・宮崎商業）
98	野尻野匡世	（福島・尚志）

学校対抗戦選手等変更一覧

	都道府県	学校名	区分	変更前		変更後
男子	南北海道	札幌第一高校	選手	尾野 拓郎	→	小場 裕大
			マネージャー	佐久間 浩平	→	尾野 拓郎
	岩手	前沢高校	選手	宮川 聡	→	菊池 長
			マネージャー	菊池 長	→	宮川 聡
	東京	関東第一高校	選手	佐伯 優人	→	間瀬 俊介
			マネージャー	間瀬 俊介	→	佐伯 優人
	山梨	甲府商業高校	コーチ	渡辺 美保	→	三輪 誠一
	新潟	北越高校	マネージャー	田中 謙次	→	十ノ目 豊
	石川	金沢市立工業高校	コーチ	中納 健	→	崎田 健一
			マネージャー	世戸 和洋	→	中納 健
	滋賀	比叡山高校	選手	宇野 賢人	→	今宮 雄
			マネージャー	今宮 雄	→	宇野 賢人
	和歌山	新宮高校	選手	荒木 友太	→	居軒 宏一
			マネージャー	居軒 宏一	→	荒木 友太
	鳥取	倉吉総合産業高校	マネージャー	中本 達也	→	斉尾 輝紀
	広島	広島城北高校	マネージャー	櫻井 宣貴	→	竹内 克洋
	熊本	八代東高校	マネージャー	城野 雄太	→	田中 佑輔
	沖縄	沖縄水産高校	選手	玉城 陽久	→	新垣 辰男
			マネージャー	新垣 辰男	→	玉城 陽久
女子	岐阜	県立岐阜商業高校	コーチ	国枝 哲夫	→	尾藤 伸治
	三重	暁高校	マネージャー	廣田 有紀	→	川瀬 美月
	福井	勝山高校	選手	石井 愛奈	→	竹内 千晶
			マネージャー	竹内 千晶	→	石井 愛奈
	大分	昭和学園高校	マネージャー	東 夏美	→	吉田 太郎
	佐賀	佐賀女子高校	監督	築地 孝彦	→	多田 美紀
			コーチ	多田 美紀	→	削除

男子　学校対抗(BT)1回戦

BT 1	前沢 (岩手)	(3)	－	(2)	桂 (京都)
D1	吉田 安具利 篠原 裕季	(2)	21 － 17 21 － 19 －	(0)	嵯峨根 和正 宇佐美 脩祐
D2	外川 真樹 玉山 駿	(1)	21 － 14 16 － 21 12 － 21	(2)	徳田 文太 竹ノ下 将圭
S1	田口 千晃	(2)	18 － 21 21 － 13 21 － 18	(1)	岩﨑 将郎
S2	菊池 祥	(0)	16 － 21 17 － 21 －	(2)	嵯峨根 和正
S3	外川 真樹	(2)	21 － 16 11 － 21 23 － 21	(1)	徳田 文太

BT 2	新田 (愛媛)	(3)	－	(2)	北越 (新潟)
D1	渡部 大吾 大西 航太郎	(0)	10 － 21 17 － 21 －	(2)	斎藤 洋平 伊藤 朋大
D2	村上 真次郎 山﨑 祐介	(1)	21 － 13 16 － 21 17 － 21	(2)	砂井 良介 米田 健司
S1	金森 優太	(2)	21 － 19 21 － 19 －	(0)	板垣 翔大
S2	村上 真次郎	(2)	14 － 21 21 － 18 21 － 10	(1)	高山 郁弥
S3	山﨑 祐介	(2)	21 － 10 13 － 21 21 － 19	(1)	伊藤 朋大

BT 3	福岡大学附属大濠 (福岡)	(3)	－	(0)	柳井工業 (山口)
D1	牧 泰史 末松 純	(2)	21 － 12 21 － 12 －	(0)	吉本 直樹 上原 将馬
D2	北野 大地 北野 拓二	(2)	21 － 7 21 － 11 －	(0)	青見 将吾 田村 翼
S1	大野 潤也	(2)	17 － 21 21 － 15 21 － 16	(1)	鈴木 瑛裕
S2	牧 泰史	( )	－ － －	( )	吉本 直樹
S3	末松 純	( )	－ － －	( )	上原 将馬

BT 4	仙台商業 (宮城)	(3)	－	(0)	沖縄水産 (沖縄)
D1	佐藤 尚己 今野 裕基	(2)	21 － 7 21 － 6 －	(0)	中村 恵太 首里 良太
D2	青田 光太郎 佐藤 良	(2)	21 － 5 21 － 14 －	(0)	野原 大輔 赤嶺 大樹
S1	沓澤 康平	(2)	21 － 17 21 － 18 －	(0)	奥本 克真
S2	佐藤 尚己	( )	－ － －	( )	赤嶺 大樹
S3	今野 裕基	( )	－ － －	( )	野原 大輔

BT 5	太田市立商業 (群馬)	(3)	－	(2)	一条 (奈良)
D1	松島 圭祐 佐藤 優彦	(1)	19 － 21 21 － 18 14 － 21	(2)	上内 進介 中川 司
D2	大杉 元気 松澤 直哉	(2)	21 － 17 21 － 17 －	(0)	西村 晃一 土坂 寛志
S1	駒場 雅剛	(1)	16 － 21 21 － 18 18 － 21	(2)	辰巳 敬亮
S2	松島 圭祐	(2)	21 － 15 19 － 21 21 － 17	(1)	上内 進介
S3	大杉 元気	(2)	21 － 17 21 － 11 －	(0)	中川 司

BT 6	日章学園 (宮崎)	(3)	－	(2)	大町北 (長野)
D1	渡邊 達哉 定宗 隆一郎	(2)	21 － 9 21 － 6 －	(0)	春日 仁 西巻 亮馬
D2	柳田 涼祐 西田 昂史	(1)	21 － 14 10 － 21 11 － 21	(2)	藤巻 嵩寛 荻原 主
S1	田中 亘	(0)	18 － 21 13 － 21 －	(2)	杉本 陽祐
S2	定宗 隆一郎	(2)	21 － 14 21 － 13 －	(0)	荻原 主
S3	渡邊 達哉	(2)	21 － 17 21 － 10 －	(0)	藤巻 嵩寛

男子　学校対抗(BT)1回戦

BT 7	富岡 (福島)	(3)	—	(0)	県立岐阜商業 (岐阜)
D1	内藤 浩司 大島 智彦	(2)	21 — 16 15 — 21 22 — 20	(1)	浅野 新也 島岡 亮治
D2	三島 史暁 吉田 佑平	(2)	21 — 17 21 — 16 —	(0)	永田 智也 戸﨑 徹
S1	大森 康平	(2)	21 — 8 21 — 18 —	(0)	浅野 真生
S2	内藤 浩司	( )	— — —	( )	浅野 新也
S3	大島 智彦	( )	— — —	( )	戸﨑 徹

BT 8	神戸村野工業 (兵庫)	(3)	—	(2)	西武台千葉 (千葉)
D1	植田 真伍 河田 尚也	(2)	21 — 16 21 — 9 —	(0)	米山 健人 高井田 亘
D2	坂本 輝 坂本 翼	(2)	21 — 17 21 — 13 —	(0)	堀内 拓人 青木 雅彦
S1	鈴木 雄一朗	(1)	21 — 18 25 — 27 26 — 28	(2)	浦井 唯行
S2	植田 真伍	(1)	13 — 21 23 — 21 18 — 21	(2)	堀内 拓人
S3	河田 尚也	(2)	21 — 17 21 — 12 —	(0)	青木 雅彦

BT 9	倉吉総産 (鳥取)	(3)	—	(2)	土佐 (高知)
D1	仲井 佑太 森本 貴則	(2)	21 — 6 21 — 12 —	(0)	中山 直樹 小松 柾路
D2	米広 幸平 森本 貴裕	(0)	19 — 21 7 — 21 —	(2)	永野 翔太 松田 将也
S1	引田 有治	(0)	23 — 25 13 — 21 —	(2)	川﨑 敬済
S2	仲井 佑太	(2)	21 — 9 21 — 8 —	(0)	田所 司
S3	森本 貴則	(2)	22 — 20 21 — 13 —	(0)	永野 翔太

BT 10	鶴岡工業 (山形)	(3)	—	(0)	甲府商業 (山梨)
D1	佐藤 博幸 佐藤 祐樹	(2)	21 — 6 21 — 12 —	(0)	熊谷 祐太 若林 誠
D2	齋藤 誠 菅原 祐作	(2)	21 — 14 21 — 13 —	(0)	武井 宣紀 飯島 史也
S1	三浦 貴大	(2)	21 — 19 18 — 21 21 — 7	(1)	武井 研人
S2	大川 明久	( )	— — —	( )	武井 宣紀
S3	佐藤 祐樹	( )	— — —	( )	飯島 史也

BT 11	旭川実業 (北北海道)	(3)	—	(0)	徳島商業 (徳島)
D1	牧野 公亮 鈴木 啓太	(2)	21 — 11 21 — 6 —	(0)	鈴江 理 西手 祐太
D2	島谷 航平 亀岡 太郎	(2)	24 — 22 21 — 18 —	(0)	井村 圭甫 鏡 裕樹
S1	中木 広大	(2)	21 — 9 21 — 19 —	(0)	吉成 倫大
S2	牧野 公亮	( )	— — —	( )	井村 圭甫
S3	鈴木 啓太	( )	— — —	( )	鏡 裕樹

BT 12	常総学院 (茨城)	(3)	—	(2)	鹿児島商業 (鹿児島)
D1	篠﨑 邦彦 野口 秀之	(0)	8 — 21 17 — 21 —	(2)	満園 拓摩 満園 雄摩
D2	藤井 恵太 木村 祐樹	(2)	21 — 18 18 — 21 21 — 13	(1)	奥 智洋 加賀山 寛徳
S1	小林 匡由	(0)	15 — 21 12 — 21 —	(2)	寺師 駿
S2	野口 秀之	(2)	18 — 21 21 — 19 21 — 17	(1)	奥 智洋
S3	木村 祐樹	(2)	21 — 5 10 — 21 21 — 12	(1)	満園 雄摩

男子　学校対抗(BT)1回戦

BT 13	暁 (三重)	(3)	—	(2)	秋田工業 (秋田)
D1	打田 雄紀 高橋 武大	(0)	12 — 21 15 — 21 —	(2)	甲谷 光 工藤 和貴
D2	福岡 伸哉 佐久間 理夫	(2)	21 — 19 19 — 21 22 — 20	(1)	佐々木 俊仁 田村 優
S1	伊藤 史人	(2)	25 — 27 21 — 19 21 — 19	(1)	信太 惣晟
S2	高橋 武大	(0)	10 — 21 9 — 21 —	(2)	甲谷 光
S3	打田 雄紀	(2)	21 — 12 16 — 21 21 — 14	(1)	工藤 和貴

BT 14	高岡第一 (富山)	(3)	—	(0)	日田林工 (大分)
D1	山村 駿介 本川 剛	(2)	21 — 13 22 — 20 —	(0)	髙松 剛 伊藤 干樹
D2	大江 正人 谷村 龍信	(2)	21 — 10 21 — 11 —	(0)	伊藤 亮平 佐々木 瞬
S1	竹内 慶太郎	(2)	21 — 8 21 — 13 —	(0)	長尾 洸一
S2	太田 誠	( )	— — —	( )	伊藤 干樹
S3	山村 駿介	( )	— — —	( )	髙松 剛

BT 15	川崎総合科学 (神奈川)	(3)	—	(2)	松江北 (島根)
D1	平川 大貴 加藤 祐一	(2)	21 — 12 21 — 11 —	(0)	井上 一成 松尾 亮佑
D2	齋藤 嘉貴 山田 知幸	(0)	11 — 21 16 — 21 —	(2)	角田 碧 玄行 啓司
S1	鈴木 章義	(1)	14 — 21 21 — 18 18 — 21	(2)	仁島 大毅
S2	平川 大貴	(2)	21 — 12 21 — 11 —	(0)	角田 碧
S3	加藤 祐一	(2)	21 — 15 21 — 19 —	(0)	玄行 啓司

BT 16	作新学院 (栃木)	(3)	—	(0)	星陵 (静岡)
D1	熊谷 昂洋 堀江 康一郎	(2)	21 — 13 24 — 22 —	(0)	村松 将豪 河野 恵太
D2	増渕 典明 毒島 司	(2)	21 — 8 21 — 15 —	(0)	田代 有麻 甲石 淳哉
S1	安納 俊	(2)	21 — 9 21 — 16 —	(0)	寺田 駿太
S2	熊谷 昂洋	( )	— — —	( )	村松 将豪
S3	増渕 典明	( )	— — —	( )	河野 恵太

BT 17	新宮 (和歌山)	(3)	—	(2)	広島城北 (広島)
D1	生駒 賢 松村 智仁	(2)	21 — 11 21 — 19 —	(0)	大安 一輝 貫目 涼介
D2	各務 成俊 塩野 敏生	(2)	21 — 17 21 — 18 —	(0)	土井 悠也 中村 祐一
S1	中西 勇太	(0)	9 — 21 19 — 21 —	(2)	川本 淳慈
S2	生駒 賢	(0)	19 — 21 16 — 21 —	(2)	土井 悠也
S3	松村 智仁	(2)	21 — 8 23 — 21 —	(0)	貫目 涼介

男子　学校対抗(BT)2～3回戦

BT 18	埼玉栄 (埼玉)	(3)	－	(0)	前沢 (岩手)
D1	松丸 一輝 松本 岳	(2)	21 － 9 21 － 5 －	(0)	吉田 安具利 篠原 裕季
D2	山崎 裕太 和田 周	(2)	21 － 9 21 － 10 －	(0)	田口 千晃 菊池 祥
S1	小泉 秀登	(2)	21 － 7 21 － 6 －	(0)	菊池 長
S2	野口 勝利	( )	－ － －	( )	田口 千晃
S3	田児 賢一	( )	－ － －	( )	篠原 裕季

BT 19	福岡大学附属大濠 (福岡)	(3)	－	(0)	新田 (愛媛)
D1	牧 泰史 末松 純	(2)	21 － 12 21 － 10 －	(0)	大西 航太郎 金森 優太
D2	北野 大地 北野 拓二	(2)	21 － 14 21 － 17 －	(0)	村上 真次郎 渡部 大吾
S1	大野 潤也	(2)	21 － 14 21 － 15 －	(0)	山﨑 祐介
S2	牧 泰史	( )	－ － －	( )	村上 真次郎
S3	末松 純	( )	－ － －	( )	金森 優太

BT 20	名経大市邨 (愛知)	(3)	－	(1)	仙台商業 (宮城)
D1	駒田 直也 深尾 淳	(1)	21 － 19 19 － 21 16 － 21	(2)	佐藤 尚己 今野 裕基
D2	比企 啓介 伊藤 伸悟	(2)	21 － 15 15 － 21 21 － 18	(1)	青田 光太郎 佐藤 良
S1	内海 秀和	(2)	21 － 18 21 － 19 －	(0)	沓澤 康平
S2	駒田 直也	(2)	19 － 21 21 － 12 21 － 14	(1)	佐藤 尚己
S3	深尾 淳	( )	21 － 19 20 － 19 打ち切り	( )	今野 裕基

BT 21	太田市立商業 (群馬)	(3)	－	(0)	龍谷 (佐賀)
D1	松島 圭祐 佐藤 優彦	(2)	21 － 9 21 － 8 －	(0)	森木 淳史 古川 侑佑
D2	大杉 元気 松澤 直哉	(2)	21 － 14 22 － 20 －	(0)	筒井 龍一郎 黒川 雄司
S1	駒場 雅剛	(2)	21 － 11 21 － 13 －	(0)	西山 徹
S2	松島 圭祐	( )	－ － －	( )	筒井 龍一郎
S3	大杉 元気	( )	－ － －	( )	黒川 雄司

BT 22	札幌第一 (南北海道)	(3)	－	(0)	日章学園 (宮崎)
D1	小野寺 勝也 田渕 雄喜	(2)	21 － 12 21 － 11 －	(0)	渡邊 達哉 定宗 隆一郎
D2	石川 岳明 鈴木 陵麻	(2)	21 － 14 21 － 8 －	(0)	柳田 涼祐 西田 昂史
S1	平池 淳希	(2)	21 － 5 21 － 7 －	(0)	川崎 誠
S2	田渕 雄喜	( )	－ － －	( )	定宗 隆一郎
S3	鈴木 陵麻	( )	－ － －	( )	渡邊 達哉

BT 23	関東第一 (東京)	(3)	－	(0)	富岡 (福島)
D1	武下 利一 藤原 達矢	(2)	21 － 9 21 － 10 －	(0)	三島 史暁 吉田 佑平
D2	宮本 大地 小池 直樹	(2)	21 － 19 21 － 15 －	(0)	内藤 浩司 大島 智彦
S1	木戸 道治	(2)	21 － 7 21 － 11 －	(0)	大森 康平
S2	角田 圭輔	( )	－ － －	( )	内藤 浩司
S3	藤原 達矢	( )	－ － －	( )	大島 智彦

男子　学校対抗(BT)2～3回戦

BT 24	西陵 (長崎)	(3)	—	(2)	神戸村野工業 (兵庫)
D1	荒木 佑也 永田 晋作	(2)	21 — 9 21 — 14 —	(0)	坂本 輝 溝口 将生
D2	中村 祐文 濵崎 祥太	(0)	14 — 21 18 — 21 —	(2)	河田 尚也 坂本 翼
S1	吉村 諒	(2)	19 — 21 21 — 19 21 — 15	(1)	植田 真伍
S2	中村 祐文	(0)	19 — 21 13 — 21 —	(2)	河田 尚也
S3	荒木 佑也	(2)	21 — 10 15 — 21 21 — 18	(1)	坂本 輝

BT 25	勝山 (福井)	(3)	—	(0)	倉吉総産 (鳥取)
D1	千京 尚将 松村 平	(2)	21 — 5 21 — 6 —	(0)	米広 幸平 森本 貴裕
D2	松浦 正輝 山口 夏樹	(2)	21 — 19 21 — 11 —	(0)	仲井 佑太 森本 貴則
S1	坂井 哲也	(2)	21 — 10 14 — 21 21 — 15	(1)	引田 有治
S2	千京 尚将	( )	— — —	( )	仲井 佑太
S3	松浦 正輝	( )	— — —	( )	森本 貴則

BT 26	東大阪大学柏原 (大阪)	(3)	—	(0)	鶴岡工業 (山形)
D1	和田 力也 岩江 恵資	(2)	21 — 12 21 — 19 —	(0)	佐藤 博幸 佐藤 祐樹
D2	石岡 篤志 柳澤 尚	(2)	21 — 7 21 — 9 —	(0)	齋藤 誠 菅原 祐作
S1	松田 正路	(2)	21 — 15 21 — 13 —	(0)	大川 明久
S2	東野 圭悟	( )	— — —	( )	佐藤 祐樹
S3	和田 力也	( )	— — —	( )	三浦 貴大

BT 27	金沢市立工業 (石川)	(3)	—	(1)	旭川実業 (北北海道)
D1	坂井 一将 新田 晃浩	(2)	21 — 9 21 — 13 —	(0)	亀岡 太郎 鈴木 啓太
D2	政谷 泰俊 森吉 佑介	(1)	18 — 21 21 — 15 16 — 21	(2)	牧野 公亮 島谷 航平
S1	徳田 允	(2)	21 — 15 21 — 12 —	(0)	中木 広大
S2	坂井 一将	(2)	21 — 12 21 — 7 —	(0)	鈴木 啓太
S3	新田 晃浩	( )	— — —	( )	牧野 公亮

BT 28	比叡山 (滋賀)	(3)	—	(0)	常総学院 (茨城)
D1	矢部 拓也 村上 俊	(2)	21 — 18 21 — 8 —	(0)	藤井 恵太 木村 祐樹
D2	土居 寛人 宇野 賢人	(2)	21 — 15 21 — 8 —	(0)	篠﨑 邦彦 野口 秀之
S1	若林 孝容	(2)	21 — 5 22 — 20 —	(0)	小林 匡由
S2	北野 圭	( )	— — —	( )	木村 祐樹
S3	土居 寛人	( )	— — —	( )	野口 秀之

BT 29	水島工業 (岡山)	(3)	—	(0)	暁 (三重)
D1	渡邉 一磨 末吉 佑任	(2)	21 — 13 21 — 10 —	(0)	福岡 伸哉 佐久間 理夫
D2	水川 文人 高地 修史	(2)	21 — 19 21 — 18 —	(0)	打田 雄紀 高橋 武大
S1	逢澤 良亮	(2)	21 — 16 21 — 11 —	(0)	伊藤 史人
S2	渡邉 一磨	( )	— — —	( )	高橋 武大
S3	末吉 佑任	( )	— — —	( )	打田 雄紀

男子　学校対抗(BT)2～3回戦

BT 30	青森山田 (青森)	(3)	—	(2)	高岡第一 (富山)
D1	岩見 隆広 宮野 一樹	(2)	21 — 18 21 — 19 —	(0)	山村 駿介 本川 剛
D2	坂本 賢宏 北島 翼	(1)	21 — 14 17 — 21 19 — 21	(2)	大江 正人 谷村 龍信
S1	吉田 尚弘	(0)	20 — 22 18 — 21 —	(2)	太田 誠
S2	坂本 賢宏	(2)	17 — 21 21 — 16 21 — 13	(1)	竹内 慶太郎
S3	岩見 隆広	(2)	21 — 15 21 — 14 —	(0)	山村 駿介

BT 31	英明 (香川)	(3)	—	(0)	川崎総合科学 (神奈川)
D1	三好 耕二 藤井 亮	(2)	23 — 21 20 — 22 21 — 11	(1)	平川 大貴 加藤 祐一
D2	小島 怜郎 福家 雄彦	(2)	21 — 16 21 — 15 —	(0)	齋藤 嘉貴 山田 知幸
S1	木場 勇介	(2)	21 — 12 21 — 16 —	(0)	鈴木 章義
S2	三好 耕二	( )	— — —	( )	平川 大貴
S3	藤井 亮	( )	— — —	( )	加藤 祐一

BT 32	作新学院 (栃木)	(3)	—	(0)	唐津南 (佐賀)
D1	増渕 典明 毒島 司	(2)	21 — 16 21 — 14 —	(0)	鶴田 伸太郎 諸熊 剛明
D2	熊谷 昂洋 堀江 康一郎	(2)	21 — 13 21 — 12 —	(0)	田中 麻左人 吉岡 拓也
S1	安納 俊	(2)	18 — 21 21 — 18 21 — 13	(1)	松本 大
S2	熊谷 昂洋	( )	— — —	( )	諸熊 剛明
S3	増渕 典明	( )	— — —	( )	鶴田 伸太郎

BT 33	八代東 (熊本)	(3)	—	(0)	新宮 (和歌山)
D1	嘉村 健士 園田 啓悟	(2)	21 — 6 21 — 12 —	(0)	各務 成俊 塩野 敏生
D2	西永 光輝 中井 翔太	(2)	25 — 23 21 — 17 —	(0)	生駒 賢 松村 智仁
S1	今給黎 将之	(2)	21 — 6 21 — 3 —	(0)	辻内 義輝
S2	園田 啓悟	( )	— — —	( )	生駒 賢
S3	嘉村 健士	( )	— — —	( )	松村 智仁

BT 34	埼玉栄 (埼玉)	(3)	—	(0)	福岡大学附属大濠 (福岡)
D1	田児 賢一 松丸 一輝	(2)	21 — 15 21 — 7 —	(0)	牧 泰史 末松 純
D2	野口 勝利 小泉 秀登	(2)	21 — 11 21 — 17 —	(0)	北野 大地 北野 拓二
S1	松本 岳	(2)	21 — 16 21 — 14 —	(0)	大野 潤也
S2	和田 周	( )	— — —	( )	牧 泰史
S3	田児 賢一	( )	— — —	( )	末松 純

BT 35	名経大市邨 (愛知)	(3)	—	(0)	太田市立商業 (群馬)
D1	駒田 直也 深尾 淳	(2)	21 — 18 21 — 14 —	(0)	松島 圭祐 佐藤 優彦
D2	比企 啓介 伊藤 伸悟	(2)	21 — 17 21 — 19 —	(0)	大杉 元気 松澤 直哉
S1	内海 秀和	(2)	21 — 16 21 — 17 —	(0)	駒場 雅剛
S2	駒田 直也	( )	— — —	( )	松島 圭祐
S3	深尾 淳	( )	— — —	( )	大杉 元気

男子　学校対抗(BT)2～3回戦

BT 36	関東第一 (東京)	(3)	—	(1)	札幌第一 (南北海道)
D1	藤原 達矢 角田 圭輔	(0)	20 — 22 18 — 21 —	(2)	石川 岳明 平池 淳希
D2	宮本 大地 小池 直樹	(2)	21 — 16 21 — 17 —	(0)	小野寺 勝也 田渕 雄喜
S1	木戸 道治	(2)	21 — 8 21 — 19 —	(0)	鈴木 陵麻
S2	角田 圭輔	(2)	21 — 14 21 — 12 —	(0)	中村 隆志
S3	間瀬 俊介	( )	— — —	( )	田渕 雄喜

BT 37	西陵 (長崎)	(3)	—	(1)	勝山 (福井)
D1	荒木 佑也 永田 晋作	(2)	21 — 11 21 — 17 —	(0)	千京 尚将 川西 俊也
D2	中村 祐文 濵崎 祥太	(0)	13 — 21 16 — 21 —	(2)	山口 夏樹 松浦 正輝
S1	吉村 諒	(2)	18 — 21 21 — 11 21 — 12	(1)	坂井 哲也
S2	中村 祐文	(2)	21 — 18 21 — 15 —	(0)	千京 尚将
S3	長嶋 一輝	( )	— — —	( )	松浦 正輝

BT 38	東大阪大学柏原 (大阪)	(3)	—	(2)	金沢市立工業 (石川)
D1	石岡 篤志 柳澤 尚	(0)	16 — 21 18 — 21 —	(2)	政谷 泰俊 森吉 佑介
D2	和田 力也 岩江 恵資	(0)	11 — 21 15 — 21 —	(2)	坂井 一将 新田 晃浩
S1	松田 正路	(2)	21 — 15 15 — 21 21 — 9	(1)	三浦 健豊
S2	東野 圭悟	(2)	10 — 21 21 — 16 21 — 19	(1)	新田 晃浩
S3	和田 力也	(2)	21 — 17 10 — 21 21 — 12	(1)	坂井 一将

BT 39	比叡山 (滋賀)	(3)	—	(0)	水島工業 (岡山)
D1	土居 寛人 宇野 賢人	(2)	21 — 19 18 — 21 21 — 14	(1)	渡邉 一磨 末吉 佑任
D2	矢部 拓也 村上 俊	(2)	21 — 10 21 — 10 —	(0)	水川 文人 高地 修史
S1	北野 圭	(2)	21 — 18 21 — 15 —	(0)	逢澤 良亮
S2	土居 寛人	( )	— — —	( )	渡邉 一磨
S3	矢部 拓也	( )	— — —	( )	末吉 佑任

BT 40	青森山田 (青森)	(3)	—	(1)	英明 (香川)
D1	岩見 隆広 宮野 一樹	(2)	21 — 7 21 — 19 —	(0)	小島 怜郎 福家 雄彦
D2	北島 翼 吉田 尚弘	(0)	12 — 21 5 — 21 —	(2)	三好 耕二 藤井 亮
S1	坂本 賢宏	(2)	21 — 18 22 — 20 —	(0)	木場 勇介
S2	岩見 隆広	(2)	16 — 21 21 — 17 21 — 5	(1)	藤井 亮
S3	吉田 尚弘	( )	13 — 21 16 — 14 打ち切り	( )	三好 耕二

BT 41	八代東 (熊本)	(3)	—	(1)	作新学院 (栃木)
D1	嘉村 健士 園田 啓悟	(2)	21 — 14 21 — 9 —	(0)	熊谷 昂洋 堀江 康一郎
D2	西永 光輝 中井 翔太	(0)	11 — 21 21 — 23 —	(2)	増渕 典明 毒島 司
S1	今給黎 将之	(2)	21 — 9 21 — 16 —	(0)	安納 俊
S2	園田 啓悟	(2)	21 — 13 21 — 14 —	(0)	増渕 典明
S3	嘉村 健士	( )	— — —	( )	熊谷 昂洋

男子　学校対抗（BT）準々決勝

BT 42	埼玉栄 (埼玉)	(3)	—	(0)	名経大市邨 (愛知)
D1	野口 勝利 山崎 裕太	(2)	21 — 15 21 — 9 —	(0)	駒田 直也 深尾 淳
D2	松丸 一輝 和田 周	(2)	21 — 14 21 — 9 —	(0)	比企 啓介 浅井 淳
S1	小泉 秀登	(2)	18 — 21 21 — 6 21 — 9	(1)	樋渡 元志
S2	松本 岳	( )	— — —	( )	駒田 直也
S3	田児 賢一	( )	— — —	( )	深尾 淳

BT 43	関東第一 (東京)	(3)	—	(1)	西陵 (長崎)
D1	藤原 達矢 木戸 道治	(2)	16 — 21 21 — 10 21 — 15	(1)	荒木 佑也 永田 晋作
D2	宮本 大地 小池 直樹	(2)	21 — 16 21 — 10 —	(0)	吉村 諒 長嶋 一輝
S1	角田 圭輔	(1)	15 — 21 21 — 18 20 — 22	(2)	中村 祐文
S2	木戸 道治	(2)	21 — 13 21 — 17 —	(0)	吉村 諒
S3	間瀬 俊介	( )	— — —	( )	長嶋 一輝

BT 44	比叡山 (滋賀)	(3)	—	(0)	東大阪大学柏原 (大阪)
D1	土居 寛人 宇野 賢人	(2)	21 — 17 19 — 21 21 — 14	(1)	和田 力也 岩江 恵資
D2	矢部 拓也 村上 俊	(2)	21 — 10 23 — 21 —	(0)	石岡 篤志 柳澤 尚
S1	北野 圭	(2)	21 — 10 21 — 14 —	(0)	東野 圭悟
S2	土居 寛人	( )	— — —	( )	松田 正路
S3	矢部 拓也	( )	— — —	( )	和田 力也

BT 45	八代東 (熊本)	(3)	—	(0)	青森山田 (青森)
D1	西永 光輝 中井 翔太	(2)	21 — 16 11 — 21 21 — 18	(1)	北島 翼 吉田 尚弘
D2	嘉村 健士 園田 啓悟	(2)	21 — 17 21 — 9 —	(0)	岩見 隆広 宮野 一樹
S1	今給黎 将之	(2)	19 — 21 21 — 18 21 — 15	(1)	坂本 賢宏
S2	園田 啓悟	( )	7 — 3 打ち切り —	( )	宮野 一樹
S3	嘉村 健士	( )	— — —	( )	岩見 隆広

男子　学校対抗(BT)準決勝

BT 46	埼玉栄 (埼玉)	(3)	－	(2)	関東第一 (東京)
D1	田児 賢一 松丸 一輝	(2)	21 － 12 21 － 14 －	(0)	宮本 大地 小池 直樹
D2	野口 勝利 山崎 裕太	(1)	21 － 14 16 － 21 20 － 22	(2)	藤原 達矢 角田 圭輔
S1	松本 岳	(0)	17 － 21 13 － 21 －	(2)	木戸 道治
S2	和田 周	(2)	21 － 10 21 － 14 －	(0)	間瀬 俊介
S3	田児 賢一	(2)	21 － 15 21 － 12 －	(0)	角田 圭輔

〈第1ダブルス〉

田児・松丸（埼玉栄）と宮本・小池（関東第一）の対戦。松丸（埼玉栄）のサービスで試合が始まるが序盤は互角の滑り出しをみせるも田児・松丸組（埼玉栄）が巧みなドライブで関東第一ペアを前に出させない展開となり、徐々に点差が開き、11-6でインターバルを迎える。以降、お互いに点を取り合うも宮本・小池組（関東第一）にサービス周りのミスが目立ち、１ゲーム目を埼玉栄組が押し切り21-12で先取する。

２ゲーム目も１ゲーム目同様の展開となり、関東第一ペアは攻撃に転じるものの、埼玉栄のレシーブやドライブの前にミスが目立つようになった。埼玉栄のヘアピンがネットにあたり、関東第一も必死の返球が浅くなったところを冷静にスマッシュが決まり11-9。以降、ドライブの打ち合いが続き、宮本・小池組の返球が浮いたところを田児・松丸が叩く展開となる。最後は埼玉栄の連続攻撃にレシーブが追いつかず、関東第一ペアは自分たちの形を作れずに田児・松丸組が21-14でそのまま押し切りまずは埼玉栄が先勝した。

〈第2ダブルス〉

藤原・角田（関東第一）と野口・山崎（埼玉栄）の対戦。序盤は藤原・角田（関東第一）のミスもあり、ドライブリターンを主に攻め返した野口・山崎組（埼玉栄）が11-7とリードしてインターバルを第1ゲームのインターバルを迎える。中盤からもしっかりドライブを押し込むことができた野口・山崎組がそのまま押し切り、21-15で１ゲームを先取する。第２ゲームにはいると、緩急と角度のある攻撃で藤原・角田組が反撃に転じ7-3とするも、ドライブリターンと巧みなネットで埼玉栄も反撃し7-8とリードする。その後は、藤原・角田組が攻めてレシーブを上げさせる球を混ぜながら攻撃力を増し21-16とし、勝負は第ファイナルゲームへ。第３ゲームは野口・山崎組が責め立て7-3とリードしたもののうまく攻撃を切り返した藤原・角田組が11-10とし、インターバルを迎える。関東第一はそのままリードを広げて行くも後半繋ぎ球のミスも目立ち20-20。気持ちを入れ替えて最後まで攻撃で押し切った藤原・角田組が22-20と接戦を制した。

〈第1シングルス〉

木戸（関東第一）と松丸（埼玉栄）の対戦。松本（埼玉栄）がトスに勝ちエンドを選択。木戸（関東第一）はレシーブを選択したため松本のサービスで試合が始まった。序盤はお互い様子を見るような展開となり長いラリーが続く。抜け出したのは木戸で、カットで崩し浅くなった返球を叩く。松本は足を滑らせる場面も多くボディに打ち込まれ11-9でインターバルを迎える。松本は巧みな配球でミスを誘うが、木戸の攻撃力が勝りボディへのスマッシュがラケットを弾き21-17で１ゲーム目を木戸が奪う。２ゲーム目も松本のネット前からのリターンが浅くなることが多く木戸が叩く展開になり、ボディへの連続スマッシュが決まり11-7。後半は木戸のヘアピンが冴え20-8と大差がつくもミスが続き20-12まで松本が連続ポイントを奪う。しかし、最後はカットに対する松本のネット前返球が僅かに浮き、冷静にプッシュを決めた木戸が21-12で関東第一が王手を掛ける。

〈第2シングルス〉

和田（埼玉栄）と間瀬（関東第一）の対戦。間瀬はスマッシュ＆ネットで果敢に攻めるも和田のレシーブ力と角度のあるカット、フェイントの効いたタッチで揺さぶられ、21-10で和田が第１ゲームを先取する。第2ゲーム、最初はお互いにミスを重ね、6-6と競る様子であったが、和田が攻めに転じ、一気に16-8とリードを広げる。間瀬はここから粘り、点差を詰めるも最後は終始ロビングと見せてのヘアピンで相手の足を止めた和田が21-14と勝利を収め、勝負は第３シングルスへと持ち越された。

〈第3シングルス〉

2対2で回ってきた第３シングルスは埼玉栄のエース田児と関東第一はダブルスの勝利で勢いのある角田の対戦。田児のサービスで試合が始まり、序盤から角田は田児の変化のある組み立てにもうまく対処し接戦となるが、田児が相手のサービスミスで11-10とした。しかし、インターバル後角田のミスで点差が広がり、最後はクリアーを冷静にジャッジした田児が21-15として1ゲーム目を先取。２ゲーム目になると田児のネットが冴える。ネット前からのショットで崩し、スマッシュやカットで点差を広げ11-5。さらに、角田のネット前からの返球が甘くなり、田児が叩いて決めるパターンで得点を重ねる。最後はネットの応酬から田児がプッシュし、21-12で勝利し、埼玉栄が３連覇に一歩前進した。

男子　学校対抗(BT)準決勝

BT 47	八代東 (熊本)		(3)　−　(1)		比叡山 (滋賀)
D1	嘉村 健士 園田 啓悟	(2)	21 − 10 21 − 10 −	(0)	土居 寛人 宇野 賢人
D2	西永 光輝 中井 翔太	(0)	23 − 25 16 − 21 −	(2)	矢部 拓也 村上 俊
S1	今給黎 将之	(2)	21 − 11 21 − 13 −	(0)	定清 大祐
S2	園田 啓悟	(2)	21 − 19 21 − 12 −	(0)	土居 寛人
S3	嘉村 健士	( )	11 − 10 打ち切り −	( )	北野 圭

〈第1ダブルス〉

園田・嘉村（八代東）と土居・宇野（比叡山）の対戦。トスで勝った土居・宇野組がコートを選択して始まった第1ゲームは序盤から激しいラリーの応酬となるが、自力とコンビネーションに勝る園田・嘉村組が終始リードを広げる展開となった。中盤以降も園田・嘉村組のコンビネーションが冴え渡り、土居・宇野組を翻弄し21-10で先取する。第２ゲームに入っても、素早いフットワークとドライブショットを駆使してテンポの良い攻撃を仕掛ける園田・嘉村組が土居・宇野組を圧倒した。余裕のある試合運びを見せ、21-10のストレートで勝ちを納める。

〈第2ダブルス〉

西永・中井（八代東）と矢部・村上（比叡山）の対戦。第１ゲームはお互いにいい攻撃の形を続けられず、繋ぎ球をネットにかけたりサイドアウトするなどのミスを重ね、一進一退の展開。一時、11-7と比叡山が4点差をつけるも、追いつかれ20-20に。最後は接戦を25-23で比叡山が先取。第２ゲームは比叡山が背の高い村上が前衛で壁を作ってからの攻撃や、ジャンピングスマッシュ等の角度のある攻撃が決まりだし、21-16で連取する。

〈第1シングルス〉

今給黎（八代東）と定清（比叡山）の対戦。第１ゲーム序盤より、お互いのラリーが長く続く展開となるが、コート四隅にシャトルをうまく配球する今給黎が着実にポイントを重ねリードする。中盤から定清も必死に食らい付いていくが、ミスの少ない安定したプレーを続ける今給黎が21-11と先取。第２ゲームにはいると、気を引き締めてきた定清に集中力があり序盤より接戦を展開するが、ここぞという場面で見せる今給黎のスマッシュポイントが功を奏し、21-13で今給黎が2ゲームで押し切った。今給黎の終始落ち着いた安定感あるプレーぶりが光った試合であった。

〈第2シングルス〉

園田（八代東）と土居（比叡山）のエース同士の対戦。第１ゲーム前半は園田のスマッシュに対し土居がレシーブで切り返してのエースを決めるなど、土居のペースで進んで15-11、18-13と進んだが、終盤から園田のスマッシュに切れが現れ、ノータッチエースを決めだし逆転。園田が21-19で先取する。第２ゲームも第１ゲーム同様、園田が積極的にスマッシュを打ち込み、一気に21-12とし、試合終了となった。

〈第3シングルス〉

嘉村（八代東）と北野（比叡山）の対戦。第１ゲーム、隣の第２コートの試合が気になるのか、両者とも集中力を欠きミスの多い接戦が展開されるが、11-10嘉村リード時に第2コートが終了し、八代東高校の勝利が決定したため、打ち切り。

男子　学校対抗(BT)決勝

BT 48	埼玉栄 (埼玉)		(3) — (0)		八代東 (熊本)
D1	野口 勝利 山崎 裕太	(2)	21 — 13 21 — 13 —	(0)	西永 光輝 中井 翔太
D2	田児 賢一 松丸 一輝	(2)	21 — 18 21 — 12 —	(0)	嘉村 健士 園田 啓悟
S1	和田 周	(2)	21 — 13 21 — 19 —	(0)	今給黎 将之
S2	松本 岳	( )	— — —	( )	嘉村 健士
S3	田児 賢一	( )	— — —	( )	園田 啓悟

３年連続優勝を目指す埼玉栄（埼玉県）とインターハイ2年連続、全国選抜大会とあわせれば、一昨年より4回連続の決勝対決となり、雪辱をはらし悲願の優勝を勝ち取りたい八代東（熊本県）との対戦となった。

〈第１ダブルス〉
野口・山崎（埼玉栄）と西永・中井（八代東）の対戦。野口のサービスで始まったこの試合、第1ゲームは序盤お互いにリードされれば追いつく一進一退の攻防が繰り広げられるが、5-5となったところから野口・山崎のスマッシュが決まりだし、ミスは多いものの8-5、9-5としてリードを広げていく。しかし、西永・中井（八代東）も速い動きと速いタッチで応戦、ミスを誘い9-9と追い上げる。野口・山崎はスマッシュからネット前で決める連続攻撃で相手を崩し、11-9とリードしてインターバルを迎える。後半も野口・山崎の攻撃が冴え、15-10とペースをつかんで相手を圧倒。若干ミスが多かったものの攻守に相手を上回った野口・山崎のペアが21-13と押し切った。

第２ゲームにはいると、4-4の膠着状態から抜け出したのは、第1ゲーム同様野口・山崎のスマッシュが有効に決まりだし、相手の攻撃ミスにも乗じて着実に得点を重ね、常にリードを保ちながら11-7でインターバルを迎えた。ここから西永・永井もよく粘り、相手のミスを誘い13-10と追い上げるが、攻撃力とスピード、レシーブ力に勝る野口・山崎が徐々に得点を重ねて相手を引き離す。最終的には、21-13とストレートで第1ダブルスを埼玉栄が先取した。

〈第２ダブルス〉
田児・松丸（埼玉栄）と園田・嘉村（八代東）の対戦。第１ゲーム序盤は園田・嘉村組がイージーミスを連発し、田児・松丸が8-4とリードするも、ここから園田・嘉村もコンビネーションがかみ合い地力を出して、一時は9-8と逆転するも、田児・松丸が11-10としたところでインターバルを迎える。中盤もドライブの応酬など一進一退の攻防が続くが、終盤にかけて松丸が前で捌き、田児のスマッシュで決めるトップアンドバックのかたちから連続得点し、一気に21-16と埼玉栄が第1ゲームを先取した。

第２ゲームは、田児・松丸が集中力を切らさないプレーで相手のミスを誘い一気に11-3でリードしインターバルへ。その後も園田・嘉村は反撃に転じようとするも、田児・松丸の安定したレシーブ力の前に得意の速いタッチでの攻撃力が封じられ、最後は嘉村のカットミスで埼玉栄が第１ダブルスに引き続き勝利を納め、優勝へ王手をかけた。

〈第１シングルス〉
和田（埼玉栄）と今給黎（八代東）の対戦。第１ゲームは和田のサービスで始まり、速い展開で攻める和田が抜け出し、7-2と大きくリードする。今給黎もしっかりとラリーを展開していくかたちに持ち込み、粘りを見せて6-9と追い上げるが、準決勝から好調な和田のスマッシュがよく決まり、インターバルを挟み15-7と連続ポイントでリードを広げる。今給黎も何とかラリーをつなげて踏ん張るが、和田のスピードが勝り、１ゲーム目を21-13と和田が先取。

第２ゲームにはいると気合いが入りラリーからサイドへのスマッシュを繰り出す今給黎が競り合いから6-5と一歩リードする。和田がスマッシュ・ネットミスを連発するのに対し、今給黎は切れのあるスマッシュがよく決まりだし、10-5と大きく差を広げる。その後和田が8-10まで追い上げるが、今給黎がネット前を叩いて11-8としたところでインターバル。ここからラリーポイントでの大切な場面を迎えるが、お互い一歩も引かずスマッシュの打ち合いとなり、14-14。このゲーム、初めて15-14とリードした和田が19-16とリードするも、ミスが出て今給黎が19-19の土壇場で追いつき白熱した展開になった。しかし、地力に勝る和田が最後はネットを決めて21-19のストレート勝ちを納め、埼玉栄高校は3年連続優勝を決めた。

女子　学校対抗(GT)1回戦

GT 1	宮崎商業 (宮崎)	(3)	—	(1)	清和女子 (高知)
D1	岩本 柚美 壽本 実里	(1)	21 — 18 14 — 21 17 — 21	(2)	森山 このみ 沖 美波
D2	岩本 由季奈 比江島 由季	(2)	21 — 12 20 — 22 21 — 18	(1)	夏野 優香 谷川 香穂
S1	西川 咲	(2)	21 — 18 22 — 20 —	(0)	合田 頌子
S2	岩本 柚美	(2)	27 — 29 21 — 19 21 — 16	(1)	森山 このみ
S3	岩本 由季奈	( )	23 — 25 打ち切り —	( )	沖 美波

GT 2	とわの森三愛 (南北海道)	(3)	—	(0)	伊奈 (茨城)
D1	中川 まどか 本間 美穂	(2)	17 — 21 21 — 17 23 — 21	(1)	上野 晶子 大河内 皐月
D2	竹内 一葉 蔵重 志帆	(2)	21 — 18 21 — 16 —	(0)	中村 早希 大越 麻衣
S1	福岡 かおり	(2)	21 — 12 15 — 21 21 — 15	(1)	弦巻 奈々
S2	中川 まどか	( )	15 — 21 打ち切り —	( )	上野 晶子
S3	本間 美穂	( )	— — —	( )	大河内 皐月

GT 3	県立岐阜商業 (岐阜)	(3)	—	(0)	一条 (奈良)
D1	大川 美幸 永田 知里	(2)	21 — 16 21 — 14 —	(0)	中村 優希 寺西 美樹
D2	遠藤 紗葉 小窪 千香子	(2)	21 — 8 21 — 8 —	(0)	児島 亜紀 島﨑 美穂
S1	前田 莉沙	(2)	21 — 11 21 — 14 —	(0)	河野 睦
S2	永田 知里	( )	— — —	( )	児島 亜紀
S3	大川 美幸	( )	— — —	( )	中村 優希

GT 4	昭和学園 (大分)	(3)	—	(0)	甲府商業 (山梨)
D1	上田 恵里加 松永 志保	(2)	21 — 19 21 — 9 —	(0)	滝川 翔子 遠藤 茜
D2	岡留 沙樹 益田 茉季	(2)	21 — 9 21 — 12 —	(0)	古屋 杏奈 中川 愛梨
S1	渡邉 沙菜	(2)	21 — 10 21 — 17 —	(0)	笠井 七実
S2	上田 恵里加	( )	— — —	( )	古屋 杏奈
S3	岡留 沙樹	( )	— — —	( )	滝川 翔子

GT 5	新発田商業 (新潟)	(3)	—	(1)	前沢 (岩手)
D1	斉藤 萌 重山 俊恵	(0)	17 — 21 12 — 21 —	(2)	玉山 希 齊藤 奈穂
D2	太田 真由美 音田 亜子	(2)	21 — 10 21 — 8 —	(0)	高橋 南 畠山 さくら
S1	重山 伸代	(2)	21 — 14 21 — 14 —	(0)	舘脇 祐未
S2	音田 亜子	(2)	21 — 9 21 — 9 —	(0)	米倉 優子
S3	太田 真由美	( )	— — —	( )	玉山 希

GT 6	京都西山 (京都)	(3)	—	(2)	松徳学院 (島根)
D1	上山 円香 渋川 明里	(1)	21 — 15 19 — 21 13 — 21	(2)	土江 奈津子 城市 早紀
D2	大谷 倫代 山本 由希絵	(2)	7 — 21 21 — 14 21 — 16	(1)	石津 美紀子 青山 未佳
S1	高橋 真理	(2)	21 — 19 21 — 14 —	(0)	山本 ゆかり
S2	松本 茜	(0)	14 — 21 17 — 21 —	(2)	土江 奈津子
S3	渋川 明里	(2)	19 — 21 21 — 18 21 — 13	(1)	石津 美紀子

女子　学校対抗(GT)1回戦

GT 7	関東第一 (東京)	(3)	—	(2)	尚志 (福島)
D1	黒石 佳世 山本 架奈子	(1)	21 — 16 5 — 21 13 — 21	(2)	野尻野 匡世 濵島 未花
D2	土田 茉実 神田 織恵	(2)	21 — 7 21 — 10 —	(0)	石井 ひかり 渡辺 樹
S1	鈴木 温子	(2)	21 — 6 21 — 13 —	(0)	平沢 泰与
S2	土田 茉実	(0)	18 — 21 10 — 21 —	(2)	野尻野 匡世
S3	山本 架奈子	(2)	21 — 9 24 — 22 —	(0)	濵島 未花

GT 8	伊勢崎清明 (群馬)	(3)	—	(0)	長崎女子 (長崎)
D1	内藤 遥 石関 彩乃	(2)	21 — 7 21 — 13 —	(0)	土屋 明美 梶原 茉衣
D2	宮 美紗貴 越沢 まりこ	(2)	21 — 17 21 — 17 —	(0)	森 亜希子 芳野 春花
S1	宮 亜紗実	(2)	21 — 3 21 — 9 —	(0)	長濱 恵
S2	宮 美紗貴	( )	— — —	( )	芳野 春花
S3	内藤 遥	( )	— — —	( )	森 亜希子

GT 9	米子北 (鳥取)	(3)	—	(1)	星陵 (静岡)
D1	末吉 志織 早川 未沙	(2)	21 — 8 16 — 21 21 — 13	(1)	岩渕 幸穂 佐野 萌子
D2	田草 亜沙美 足立 早帆	(2)	21 — 16 21 — 12 —	(0)	望月 歩音 川村 みのり
S1	田中 なつ美	(0)	15 — 21 9 — 21 —	(2)	松岡 千香子
S2	末吉 志織	(2)	21 — 14 21 — 12 —	(0)	岩渕 幸穂
S3	足立 早帆	( )	— — —	( )	佐野 萌子

GT 10	高松商業 (香川)	(3)	—	(1)	蘇南 (長野)
D1	藤原 由佳 中村 あかね	(2)	21 — 14 21 — 11 —	(0)	上田 麻央 永田 美帆
D2	中田 真由美 鍋井 彩果	(0)	17 — 21 22 — 24 —	(2)	鈴木 歩望 田口 紗衣
S1	平井 亜紀	(2)	21 — 11 21 — 8 —	(0)	八橋 萌
S2	藤原 由佳	(2)	21 — 13 21 — 16 —	(0)	鈴木 歩望
S3	中村 あかね	( )	— — —	( )	田口 紗衣

GT 11	四天王寺 (大阪)	(3)	—	(1)	西武台千葉 (千葉)
D1	小口 晃佳 松井 世里奈	(1)	21 — 10 15 — 21 16 — 21	(2)	大日方 美弥子 飯泉 綾乃
D2	久後 あすみ 西 友理	(2)	19 — 21 21 — 17 21 — 18	(0)	浦井 美和 小山 文萌
S1	津村 優衣	(2)	21 — 11 21 — 8 —	(0)	榎田 瞳
S2	東野 良美	(2)	15 — 21 21 — 17 21 — 15	(1)	大日方 美弥子
S3	小口 晃佳	( )	— — —	( )	飯泉 綾乃

GT 12	糸満 (沖縄)	(3)	—	(2)	清水ヶ丘 (広島)
D1	国吉 仁子 上村 麻衣	(2)	16 — 21 21 — 16 21 — 18	(1)	三上 千明 柳亭 郁実
D2	平敷 祥子 玉城 真央	(2)	21 — 16 17 — 21 21 — 15	(1)	吉廣 咲姫 福間 亜沙美
S1	與儀 菜々子	(0)	10 — 21 7 — 21 —	(2)	豊田 希美
S2	平敷 祥子	(0)	18 — 21 13 — 21 —	(2)	柳亭 郁実
S3	上村 麻衣	(2)	21 — 9 23 — 21 —	(0)	吉廣 咲姫

女子　学校対抗(GT)1回戦

GT 13	勝山 (福井)	(3)	—	(2)	耐久 (和歌山)
D1	石田 麻衣 斎藤 綾乃	(2)	21 — 9 21 — 6 —	(0)	大西 結衣 小林 麻紀
D2	竹内 沙希 伊藤 友希子	(1)	21 — 17 21 — 23 15 — 21	(2)	宮下 渚紗 山本 有里沙
S1	中山 明日香	(2)	21 — 12 21 — 14 —	(0)	木岡 知子
S2	斎藤 綾乃	(0)	15 — 21 18 — 21 —	(2)	宮下 渚紗
S3	石田 麻衣	(2)	21 — 15 21 — 18 —	(0)	山本 有里沙

GT 14	夙川学院 (兵庫)	(3)	—	(1)	鹿児島女子 (鹿児島)
D1	鈴木 智子 山本 奈美	(0)	19 — 21 18 — 21 —	(2)	岩永 舞子 森山 晴捺
D2	稲葉 菜保美 上所 愛	(2)	21 — 16 21 — 16 —	(0)	山本 敬子 山下 里奈
S1	遠藤 真美	(2)	21 — 10 21 — 13 —	(0)	児玉 綾子
S2	稲葉 菜保美	(2)	21 — 19 21 — 14 —	(0)	岩永 舞子
S3	上所 愛	( )	— — —	( )	山下 里奈

GT 15	秋田和洋女子 (秋田)	(3)	—	(1)	暁 (三重)
D1	天野 成美 伊藤 朝美	(2)	21 — 8 21 — 17 —	(0)	辻井 麻衣香 金児 真衣
D2	佐藤 遥 鈴木 優華	(2)	21 — 12 21 — 19 —	(0)	岡本 昌子 別所 睦月
S1	吉田 聖良	(1)	23 — 21 13 — 21 18 — 21	(2)	山本 春奈
S2	天野 成美	(2)	21 — 16 21 — 11 —	(0)	金児 真衣
S3	伊藤 朝美	( )	— — —	( )	別所 睦月

GT 16	新田 (愛媛)	(3)	—	(1)	鵠沼 (神奈川)
D1	久枝 ゆい 野口 幸代	(0)	18 — 21 16 — 21 —	(2)	宮田 晶代 白樫 春菜
D2	豊田 咲奈 樫栄 祥子	(2)	21 — 12 21 — 18 —	(0)	川崎 淳子 西岡 久美
S1	森賀 佳奈	(2)	21 — 17 15 — 21 23 — 21	(1)	菊池 春菜
S2	久枝 ゆい	(2)	20 — 22 21 — 12 21 — 12	(1)	宮田 晶代
S3	野口 幸代	( )	— — —	( )	白樫 春菜

GT 17	熊毛北 (山口)	(3)	—	(0)	山形市立商業 (山形)
D1	花本 陽菜 河村 冴衣子	(2)	21 — 14 21 — 11 —	(0)	石山 恵梨 福田 弥生
D2	鈴木 美穂 河村 彩香	(2)	21 — 13 22 — 20 —	(0)	鈴木 花織 岩原 知佳
S1	逸見 奈月	(2)	21 — 17 21 — 12 —	(0)	永井 南
S2	花本 陽菜	( )	— — —	( )	鈴木 花織
S3	河村 彩香	( )	— — —	( )	石山 恵梨

女子　学校対抗(GT)2～3回戦

GT 18	青森山田 (青森)	(3)	－	(0)	宮崎商業 (宮崎)
D1	西山 夕美子 米元 小春	(2)	21 － 13 21 － 7 －	(0)	岩本 由季奈 比江島 由季
D2	内井 快枝 笹間 なつき	(2)	21 － 9 21 － 3 －	(0)	岩本 柚美 壽本 実里
S1	本山 祥子	(2)	21 － 9 21 － 10 －	(0)	西川 咲
S2	垣岩 令佳	( )	－ － －	( )	比江島 由季
S3	橋本 由衣	( )	－ － －	( )	岩本 由季奈

GT 19	とわの森三愛 (南北海道)	(3)	－	(1)	県立岐阜商業 (岐阜)
D1	本間 美穂 種市 汐莉	(2)	21 － 13 27 － 25 －	(0)	大川 美幸 永田 知里
D2	竹内 一葉 蔵重 志帆	(0)	14 － 21 13 － 21 －	(2)	遠藤 紗葉 小窪 千香子
S1	中川 まどか	(2)	21 － 18 20 － 22 21 － 10	(1)	前田 莉沙
S2	本間 美穂	(2)	21 － 15 22 － 20 －	(0)	永田 知里
S3	福岡 かおり	( )	－ － －	( )	大川 美幸

GT 20	昭和学園 (大分)	(3)	－	(2)	倉敷中央 (岡山)
D1	岡留 沙樹 渡邉 沙菜	(2)	21 － 15 18 － 21 21 － 18	(1)	板谷 美穂 多田 有里
D2	上田 恵里加 松永 志保	(0)	12 － 21 13 － 21 －	(2)	岡本 麻菜美 実光 鮎佳
S1	益田 茉季	(2)	21 － 17 21 － 15 －	(0)	佐田 智子
S2	松永 志保	(0)	16 － 21 15 － 21 －	(2)	実光 鮎佳
S3	上田 恵里加	(2)	21 － 14 21 － 14 －	(0)	岡本 麻菜美

GT 21	滋賀女子 (滋賀)	(3)	－	(0)	新発田商業 (新潟)
D1	土井 杏奈 仲川 志都香	(2)	21 － 12 21 － 15 －	(0)	太田 真由美 音田 亜子
D2	羽里 直緒 氏家 由香利	(2)	21 － 15 21 － 15 －	(0)	斉藤 萌 重山 俊恵
S1	野田 郁恵	(2)	21 － 13 21 － 17 －	(0)	重山 伸代
S2	杉尾 智里	( )	－ － －	( )	太田 真由美
S3	土井 杏奈	( )	－ － －	( )	音田 亜子

GT 22	佐賀女子 (佐賀)	(3)	－	(1)	京都西山 (京都)
D1	藤井 詩穂 吉田 琴美	(2)	21 － 16 21 － 16 －	(0)	上山 円香 渋川 明里
D2	大家 久美子 納塚 夏実	(0)	15 － 21 19 － 21 －	(2)	大谷 倫代 山本 由希絵
S1	井上 彩香	(2)	21 － 15 15 － 21 21 － 18	(1)	高橋 真理
S2	吉田 琴美	(2)	21 － 5 21 － 8 －	(0)	矢倉 香
S3	藤井 詩穂	( )	－ － －	( )	渋川 明里

GT 23	九州国際大学付属 (福岡)	(3)	－	(2)	関東第一 (東京)
D1	牧之瀬 みほ 坂中 夢	(0)	20 － 22 14 － 21 －	(2)	土田 茉実 神田 織恵
D2	栗原 文音 植田 悠	(2)	21 － 8 21 － 11 －	(0)	黒石 佳世 山本 架奈子
S1	森山 葉月	(0)	16 － 21 15 － 21 －	(2)	鈴木 温子
S2	栗原 文音	(2)	21 － 19 21 － 10 －	(0)	土田 茉実
S3	井上 樹理	(2)	19 － 21 21 － 16 21 － 15	(1)	山本 架奈子

女子　学校対抗(GT)2～3回戦

GT 24	城東 (徳島)	(3)	―	(2)	伊勢崎清明 (群馬)
D1	松友 仁美 久次米 佐和子	(0)	20 ― 22 16 ― 21 ―	(2)	内藤 遥 石関 彩乃
D2	水口 愛梨 若田 美沙	(2)	21 ― 14 16 ― 21 21 ― 17	(1)	宮 美紗貴 越沢 まりこ
S1	國安 香好	(2)	21 ― 14 21 ― 13 ―	(0)	宮 亜紗実
S2	水口 愛梨	(0)	18 ― 21 15 ― 21 ―	(2)	宮 美紗貴
S3	松友 仁美	(2)	19 ― 21 21 ― 13 22 ― 20	(1)	内藤 遥

GT 25	高岡西 (富山)	(3)	―	(0)	米子北 (鳥取)
D1	片山 佳菜 奥井 智菜美	(2)	21 ― 11 21 ― 12 ―	(0)	田草 亜沙美 田中 なつ美
D2	市山 瑶子 二ッ柳 紗耶	(2)	14 ― 21 21 ― 10 21 ― 14	(1)	末吉 志織 早川 未沙
S1	福田 知紗	(2)	21 ― 6 21 ― 15 ―	(0)	足立 早帆
S2	奥井 智菜美	( )	― ― ―	( )	末吉 志織
S3	片山 佳菜	( )	― ― ―	( )	早川 未沙

GT 26	聖ウルスラ英智 (宮城)	(3)	―	(0)	高松商業 (香川)
D1	工藤 香織 菅野 友	(2)	18 ― 21 21 ― 18 21 ― 12	(1)	藤原 由佳 中村 あかね
D2	髙橋 礼華 玉木 絵里子	(2)	21 ― 11 21 ― 8 ―	(0)	中田 真由美 鍋井 彩果
S1	松友 美佐紀	(2)	21 ― 15 21 ― 19 ―	(0)	平井 亜紀
S2	玉木 絵里子	( )	― ― ―	( )	大嶋 ゆかり
S3	髙橋 礼華	( )	― ― ―	( )	藤原 由佳

GT 27	四天王寺 (大阪)	(3)	―	(2)	八代白百合学園 (熊本)
D1	小口 晃佳 松井 世里奈	(0)	9 ― 21 14 ― 21 ―	(2)	小林 史佳 横山 めぐみ
D2	久後 あすみ 西 友理	(2)	8 ― 21 24 ― 22 21 ― 13	(1)	住田 有希恵 上村 佳代
S1	東野 良美	(2)	21 ― 16 21 ― 18 ―	(0)	青柳 佐紀
S2	津村 優衣	(0)	19 ― 21 15 ― 21 ―	(2)	住田 有希恵
S3	小口 晃佳	(2)	21 ― 17 21 ― 18 ―	(0)	村岡 尚実

GT 28	岡崎城西 (愛知)	(3)	―	(1)	糸満 (沖縄)
D1	打田 しづか 藤田 理恵子	(2)	23 ― 21 21 ― 12 ―	(0)	平敷 祥子 玉城 真央
D2	髙野 萌 成田 茉以	(1)	21 ― 19 16 ― 21 16 ― 21	(2)	国吉 仁子 上村 麻衣
S1	西村 美穂	(2)	21 ― 10 21 ― 9 ―	(0)	與儀 菜々子
S2	打田 しづか	(2)	21 ― 9 21 ― 9 ―	(0)	平敷 祥子
S3	藤田 理恵子	( )	― ― ―	( )	上村 麻衣

GT 29	作新学院 (栃木)	(3)	―	(1)	勝山 (福井)
D1	石井 那実 矢野 智恵美	(2)	21 ― 15 21 ― 14 ―	(0)	竹内 沙希 伊藤 友希子
D2	椎貝 友紀 谷口 有沙	(2)	19 ― 21 21 ― 19 21 ― 17	(1)	石田 麻衣 斎藤 綾乃
S1	青柳 芽衣	(1)	17 ― 21 21 ― 18 10 ― 21	(2)	中山 明日香
S2	矢野 智恵美	(2)	21 ― 17 21 ― 10 ―	(0)	斎藤 綾乃
S3	石井 那実	( )	― ― ―	( )	石田 麻衣

女子　学校対抗（GT）2～3回戦

GT 30	越谷南 （埼玉）	(3)	—	(1)	夙川学院 （兵庫）
D1	三木 佑里子 大森 舞	(2)	21 — 9 21 — 13 —	(0)	鈴木 智子 山本 奈美
D2	原 香織 古田 麻衣子	(0)	10 — 21 12 — 21 —	(2)	稲葉 菜保美 上所 愛
S1	柏原 未久	(2)	17 — 21 21 — 14 21 — 10	(1)	遠藤 真美
S2	三木 佑里子	(2)	21 — 12 21 — 8 —	(0)	上所 愛
S3	合田 侑希	( )	— — —	( )	稲葉 菜保美

GT 31	旭川実業 （北北海道）	(3)	—	(0)	秋田和洋女子 （秋田）
D1	佐藤 しおり 高橋 杏奈	(2)	19 — 21 21 — 19 21 — 17	(1)	天野 成美 伊藤 朝美
D2	澤田 みゆき 松原 怜美	(2)	21 — 15 21 — 18 —	(0)	佐藤 遥 鈴木 優華
S1	木下 侑梨恵	(2)	21 — 17 21 — 9 —	(0)	吉田 聖良
S2	松原 怜美	( )	— — —	( )	天野 成美
S3	佐藤 しおり	( )	— — —	( )	伊藤 朝美

GT 32	新田 （愛媛）	(3)	—	(0)	唐津南 （佐賀）
D1	久枝 ゆい 樫栄 祥子	(2)	21 — 4 21 — 12 —	(0)	熊本 佑香 岩田 亜弓
D2	川井 益美 石村 まどか	(2)	21 — 16 21 — 18 —	(0)	中山 美咲 溝添 美紗希
S1	野口 幸代	(2)	21 — 11 21 — 6 —	(0)	野中 鈴奈
S2	久枝 ゆい	( )	— — —	( )	中山 美咲
S3	森賀 佳奈	( )	— — —	( )	溝添 美紗希

GT 33	金沢向陽 （石川）	(3)	—	(0)	熊毛北 （山口）
D1	村上 彩 桜井 みどり	(2)	21 — 14 21 — 15 —	(0)	花本 陽菜 河村 冴衣子
D2	室達 茜 中尾 彩乃	(2)	21 — 10 21 — 17 —	(0)	鈴木 美穂 河村 彩香
S1	三谷 美菜津	(2)	21 — 14 21 — 12 —	(0)	逸見 奈月
S2	村上 彩	( )	— — —	( )	花本 陽菜
S3	桜井 みどり	( )	— — —	( )	河村 彩香

GT 34	青森山田 （青森）	(3)	—	(0)	とわの森三愛 （南北海道）
D1	垣岩 令佳 内井 快枝	(2)	21 — 7 21 — 7 —	(0)	本間 美穂 種市 汐莉
D2	西山 夕美子 米元 小春	(2)	21 — 8 21 — 5 —	(0)	竹内 一葉 松尾 薫乃
S1	橋本 由衣	(2)	21 — 11 21 — 10 —	(0)	中川 まどか
S2	垣岩 令佳	( )	— — —	( )	福岡 かおり
S3	本山 祥子	( )	— — —	( )	本間 美穂

GT 35	滋賀女子 （滋賀）	(3)	—	(2)	昭和学園 （大分）
D1	土井 杏奈 仲川 志都香	(2)	21 — 18 21 — 16 —	(0)	益田 茉季 渡邉 沙菜
D2	羽里 直緒 氏家 由香利	(0)	5 — 21 14 — 21 —	(2)	上田 恵里加 岡留 沙樹
S1	野田 郁恵	(2)	21 — 9 21 — 5 —	(0)	松永 志保
S2	仲川 志都香	(0)	12 — 21 19 — 21 —	(2)	益田 茉季
S3	土井 杏奈	(2)	21 — 15 21 — 10 —	(0)	上田 恵里加

女子　学校対抗(GT)2～3回戦

GT 36	九州国際大学付属 (福岡)	(3)	—	(0)	佐賀女子 (佐賀)
D1	牧之瀬 みほ 坂中 夢	(2)	21 — 10 21 — 12 —	(0)	大家 久美子 佐野 友香
D2	栗原 文音 植田 悠	(2)	21 — 12 21 — 11 —	(0)	納塚 夏実 吉田 琴美
S1	井上 樹理	(1)	18 — 21 21 — 19 4 — 3 打ち切り	(1)	藤井 詩穂
S2	栗原 文音	(2)	21 — 10 21 — 5 —	(0)	井上 彩香
S3	伊藤 麻亜美	( )	— — —	( )	吉田 琴美

GT 37	高岡西 (富山)	(3)	—	(0)	城東 (徳島)
D1	片山 佳菜 奥井 智菜美	(2)	21 — 11 21 — 9 —	(0)	國安 香好 若田 美沙
D2	森 瑛理香 池田 未紀	(2)	21 — 15 21 — 11 —	(0)	松友 仁美 久次米 佐和子
S1	市山 瑶子	(1)	21 — 15 20 — 22 4 — 2 打ち切り	(1)	水口 愛梨
S2	奥井 智菜美	(2)	21 — 10 21 — 7 —	(0)	國安 香好
S3	片山 佳菜	( )	— — —	( )	松友 仁美

GT 38	聖ウルスラ英智 (宮城)	(3)	—	(1)	四天王寺 (大阪)
D1	髙橋 礼華 玉木 絵里子	(2)	21 — 15 21 — 17 —	(0)	小口 晃佳 松井 世里奈
D2	工藤 香織 菅野 友	(0)	16 — 21 17 — 21 —	(2)	久後 あすみ 西 友理
S1	北 はるな	(2)	21 — 16 21 — 16 —	(0)	津村 優衣
S2	玉木 絵里子	(2)	21 — 17 21 — 12 —	(0)	東野 良美
S3	髙橋 礼華	( )	— — —	( )	小口 晃佳

GT 39	岡崎城西 (愛知)	(3)	—	(1)	作新学院 (栃木)
D1	西村 美穂 髙野 萌	(0)	10 — 21 12 — 21 —	(2)	石井 那実 矢野 智恵美
D2	打田 しづか 成田 茉以	(2)	21 — 13 21 — 9 —	(0)	椎貝 友紀 谷口 有沙
S1	藤田 理恵子	(2)	21 — 19 21 — 17 —	(0)	青柳 芽衣
S2	打田 しづか	(2)	21 — 14 21 — 19 —	(0)	石井 那実
S3	西村 美穂	( )	— — —	( )	矢野 智恵美

GT 40	越谷南 (埼玉)	(3)	—	(0)	旭川実業 (北北海道)
D1	原 香織 古田 麻衣子	(2)	21 — 18 18 — 21 21 — 14	(1)	澤田 みゆき 松原 怜美
D2	三木 佑里子 大森 舞	(2)	21 — 14 16 — 21 21 — 18	(1)	佐藤 しおり 髙橋 杏奈
S1	柏原 未久	(2)	21 — 18 21 — 17 —	(0)	木下 侑梨恵
S2	合田 侑希	( )	— — —	( )	佐藤 しおり
S3	三木 佑里子	( )	— — —	( )	松原 怜美

GT 41	金沢向陽 (石川)	(3)	—	(0)	新田 (愛媛)
D1	村上 彩 桜井 みどり	(2)	21 — 8 21 — 8 —	(0)	野口 幸代 石村 まどか
D2	室達 茜 中尾 彩乃	(2)	21 — 19 21 — 11 —	(0)	久枝 ゆい 樫栄 祥子
S1	三谷 美菜津	(2)	21 — 4 21 — 8 —	(0)	森賀 佳奈
S2	村上 彩	( )	— — —	( )	久枝 ゆい
S3	桜井 みどり	( )	— — —	( )	野口 幸代

女子　学校対抗(GT)準々決勝

GT 42	青森山田 (青森)	(3)	－	(0)	滋賀女子 (滋賀)
D1	垣岩 令佳 内井 快枝	(2)	21 － 10 21 － 11 －	(0)	松井 梨沙 羽里 直緒
D2	西山 夕美子 米元 小春	(2)	17 － 21 21 － 15 21 － 17	(1)	土井 杏奈 仲川 志都香
S1	橋本 由衣	(2)	14 － 21 21 － 11 21 － 10	(1)	野田 郁恵
S2	垣岩 令佳	()	－ － －	()	杉尾 智里
S3	本山 祥子	()	－ － －	()	土井 杏奈

GT 43	高岡西 (富山)	(3)	－	(1)	九州国際大学付属 (福岡)
D1	片山 佳菜 奥井 智菜美	(2)	21 － 18 21 － 14 －	(0)	栗原 文音 植田 悠
D2	森 瑛理香 池田 未紀	(2)	21 － 19 19 － 21 21 － 19	(1)	坂中 夢 牧之瀬 みほ
S1	市山 瑶子	(1)	21 － 10 17 － 21 21 － 23	(2)	森山 葉月
S2	奥井 智菜美	(1)	14 － 21 21 － 14 6 － 6 打ち切り	(1)	栗原 文音
S3	片山 佳菜	(2)	21 － 8 21 － 13 －	(0)	井上 樹理

GT 44	聖ウルスラ英智 (宮城)	(3)	－	(0)	岡崎城西 (愛知)
D1	工藤 香織 菅野 友	(2)	21 － 14 21 － 5 －	(0)	髙野 萌 中野 佳織
D2	髙橋 礼華 玉木 絵里子	(2)	21 － 19 18 － 21 21 － 13	(1)	打田 しづか 西村 美穂
S1	北 はるな	(2)	25 － 23 21 － 17 －	(0)	藤田 理恵子
S2	玉木 絵里子	()	－ － －	()	打田 しづか
S3	髙橋 礼華	()	－ － －	()	西村 美穂

GT 45	金沢向陽 (石川)	(3)	－	(1)	越谷南 (埼玉)
D1	室達 茜 中尾 彩乃	(1)	21 － 14 15 － 21 14 － 21	(2)	三木 佑里子 大森 舞
D2	村上 彩 桜井 みどり	(2)	21 － 18 21 － 8 －	(0)	原 香織 古田 麻衣子
S1	三谷 美菜津	(2)	21 － 14 21 － 9 －	(0)	柏原 未久
S2	村上 彩	(2)	24 － 22 15 － 21 21 － 10	(1)	合田 侑希
S3	桜井 みどり	()	10 － 11 打ち切り －	()	三木 佑里子

女子　学校対抗(GT)準決勝

GT 46	青森山田 (青森)		(3)　—　(1)		高岡西 (富山)
D1	西山 夕美子 米元 小春	(2)	21 — 18 21 — 15 —	(0)	森 瑛理香 池田 未紀
D2	垣岩 令佳 内井 快枝	(1)	18 — 21 21 — 14 19 — 21	(2)	片山 佳菜 奥井 智菜美
S1	本山 祥子	(2)	17 — 21 21 — 13 21 — 10	(1)	市山 瑶子
S2	垣岩 令佳	(2)	21 — 19 21 — 9 —	(0)	奥井 智菜美
S3	橋本 由衣	( )	— — —	( )	片山 佳菜

４連覇を目指す青森山田高校と高岡西高校の準決勝は、昨年の全国総体準々決勝と同じカードとなった。

〈第1ダブルス〉

西山・米元（青森山田）と森・池田（高岡西）の対戦。第１ゲームは、西山（青森山田）のサービスから始まる。西山・米元組は早い攻撃と相手のミスなどで序盤リードしたが、森・池田組も粘り18-18となる。しかし、西山・米元組がスマッシュで連取し21-18で逃げ切った。

第２ゲームは、10-10と競り合ったが、高さに勝る西山・米元組が後半リードを広げ、21-15でゲームセットとなった。

〈第2ダブルス〉

垣岩・内井（青森山田）と片山・奥井（高山西）の対戦。第１ゲームは、内井（青森山田）のサービスから始まり、序盤高岡西が一気に青森山田のミスに助けられ8-4とリードした。その後、8-8に追いつかれたが、高岡西の大きな展開からサイドへよく攻撃し、16-11とリードした。このリードが最後まで縮まらず、１ゲーム目を高岡西が制した。

第２ゲームは、1ゲーム目とは逆に青森山田のリードで8-3と始まった。高岡西の甘いレシーブに青森山田の攻めは冴え、一気に19-10と大きなリードを奪った。ここに食い下がる高岡西もミスに助けられ、連続4ポイント獲るのが精一杯。２ゲーム目は青森山田がゲームカウント1-1と盛り返し、ファイナルゲームとなった。

第３ゲームは、内井のサーブから3-1と青森山田のリードで始まった。序盤、お互いのミスで11-8と２ゲーム目の勢いを見せた青森山田がリードのまま中盤戦に入っていった。一進一退でサービスオーバーの連続、青森山田17-14のリードから内井（青森山田）がショートサービスミス、一気に5点を奪われ17-19と逆転を許し、最後はしっかり粘り攻めきった高岡西に軍配があがった。

〈第1シングルス〉

本山（青森山田）と市山（高山西）の対戦。第１ゲームは、市山（高山西）のサービスから始まった。本山（青森山田）が相手のミスなどで前半リードしたが、後半動きが速くなり、パワフルな市山（高岡西）のプレーに押され逆転を許し、市山が先取。

第２ゲームは、１ゲーム目を取った市山（高岡西）が波に乗り5-2とリード。しかし、その後も粘る本山（青森山田）が逆転し、そのままゲームセットとなりファイナルへ。

第３ゲームは、本山（青森山田）が11-8とリードしてチェンジエンズ。その後も市山（高岡西）のミスが目立ち、21-10で本山（青森山田）が取りゲームセットとなった。

〈第2シングルス〉

垣岩（青森山田）と奥井（高山西）の対戦。第１ゲームは、垣岩（青森山田）のロングサービスから始まり、序盤から一進一退のシーソーゲーム9-7となったが、垣岩の技が冴えた。奥井も、中盤まで垣岩に負けることなく多彩な攻撃を仕掛け15-14とリードした。隣のコートで行われていた第１シングルスの様子も気になりながらの戦い。20-19で垣岩（青森山田）が一歩リード。奥井は、勝負にストレートスマッシュを打つがアウトでゲーム。１本の重みを感じたゲームであった。

第２ゲームは、１ゲーム目とは逆に垣岩（青森山田）の一方的展開となり8-1。奥井の切れのあるショットを追及したプレーが垣岩に利用され4-15。奥井の良さが出ないまま、クロスのショットに泣かされた内容であった。垣岩の失点は、殆どが自らのミスショットで与えたもので、全般的に垣岩の余裕を感じさせた。これで昨年同様決勝へ駒を進め、４連覇に一歩近づいた。

女子　学校対抗(GT)準決勝

GT 47	金沢向陽 (石川)	(3)	—	(0)	聖ウルスラ英智 (宮城)
D1	室達 茜 土谷 美帆	(2)	14 — 21 21 — 15 21 — 16	(1)	工藤 香織 菅野 友
D2	村上 彩 桜井 みどり	(2)	18 — 21 21 — 17 21 — 18	(1)	髙橋 礼華 玉木 絵里子
S1	三谷 美菜津	(2)	21 — 7 17 — 21 24 — 22	(1)	北 はるな
S2	村上 彩	()	21 — 18 — —	()	玉木 絵里子
S3	桜井 みどり	()	— — —	()	髙橋 礼華

〈第1ダブルス〉
工藤・菅野（聖ウルスラ栄智）と室達・土屋（金沢向陽）の対戦。第１ゲームは、聖ウルスラ栄智が早い球回しで相手を揺さぶり、8ポイント連取してそのまま押し切ったが、第２ゲームに入りミスが出て、中盤と後半に4ポイントづつ連取されゲームを落とした。

ファイナルゲームは、両者とも最初からスピードあふれるゲーム展開となり、余談を許さぬ状況で15点オールとなった。後半、大事な所でウルスラのミスが出、ロブも甘くなり攻撃を受け5ポイント連取され力尽きた。

〈第2ダブルス〉
高橋・玉木（聖ウルスラ栄智）と村上・桜井（金沢向陽）の対戦。第１ゲームは、村上（金沢向陽）のサーブで開始。ラリーが続かないまま11-10で聖ウルスラ栄智が前半リード。後半も両者得点をを譲らず18-18となり、そこから金沢向陽に乱れが生じ21-18で聖ウルスラ栄智が勝利。

第２ゲームは、前半11-9、後半は15-10と金沢向陽がリードの後、スマッシュと丁寧な球捌きでお互い得点を重ねるが21-17で金沢向陽が勝利しファイナルへ。

第３ゲームは、スマッシュの攻防でお互い得点を重ね11-9で聖ウルスラ栄智が前半をリード、16-10と引き離すが、終盤金沢向陽の攻撃が勝り21-18で金沢向陽が勝利を納める。

〈第1シングルス〉
北（聖ウルスラ栄智）と三谷（金沢向陽）の対戦。第１ゲームは、三谷（金沢向陽）が最初からゲームの主導権を握り、速い球回しで北を圧倒した。

第２ゲームは、北（聖ウルスラ栄智）も動きが良くなり、２人のコート内での目まぐるしい動きは素晴らしいものがあった。後半の大事な場面で、三谷（金沢向陽）にミスが続きファイナルになった。

第３ゲームは、序盤から中盤にかけ三谷にミスが続き8ポイント連取されたが、三谷が最後まで粘り逆転勝ちした。

〈第2シングルス〉
村上（聖ウルスラ栄智）と玉木（金沢向陽）の対戦。第１ゲームは、村上（聖ウルスラ栄智）のサーブで開始。前半は、スマッシュやネットプレーの攻防のしのぎ合いで両者譲らず。村上11-10で前半終了。後半もお互い譲らず、多彩なショットを繰出し17オール。そこから村上の攻撃が威力を発揮し21-18で村上の勝利。第２ゲームは、ラブオールプレイのコールがあった時、第１シングルスが決着。ゲーム打ち切り。

女子　学校対抗(GT)決勝

GT 48	青森山田 (青森)	(3)	—	(0)	金沢向陽 (石川)
D1	西山 夕美子 米元 小春	(2)	19 — 21 21 — 14 21 — 17	(1)	村上 彩 桜井 みどり
D2	垣岩 令佳 内井 快枝	(2)	13 — 21 21 — 18 21 — 11	(1)	室達 茜 土谷 美帆
S1	橋本 由衣	(2)	21 — 11 21 — 19 —	(0)	三谷 美菜津
S2	垣岩 令佳	( )	— — —	( )	村上 彩
S3	本山 祥子	( )	— — —	( )	桜井 みどり

女子決勝、本大会第１シードの青森山田と第２シードの金沢向陽との２年連続の同カード決勝戦となった。

〈第1ダブルス〉

西山・米元（青森山田）と村上・桜井（金沢向陽）の対戦。第１ゲームは、西山（青森山田）のサービスで始まり、村上・桜井組のスマッシュミスの連続で2-0となる。序盤は、両者短いラリーの中で積極的なプレーで一進一退の攻防となり、村上・桜井組の11-8でインターバルを迎える。引き続き中盤も一進一退の攻防が続き村上・桜井組の15-14の一点リードから相手のミスを上手く誘い、また相手の厳しい連続攻撃も凌ぎ最後は桜井のネット前の強力なプッシュで21-19とし金沢向陽が１ゲーム目を先取した。

第２ゲームは、村上（金沢向陽）のサービスで始まった。１ゲーム目を制した勢いに乗り、堅実なショットで一時は4-0とリードした。しかし、ここから西山の効果的なスマッシュが決まり出し一気に9-5と逆転した。その後、桜井のスマッシュミスが連続し、西山・米元組が11-9でインターバルとなる。中盤は、西山・米元組が14-11から多彩な攻撃を重ね６連続ポイントで20-11とゲームポイントを迎えた。その後相手に３連続ポイントを許したが、最後は攻守の入れ替わり激しい長いラリーを制し西山・米元組が21-14で１ゲームオールとした。

第３ゲームは、西山（青森山田）のサービスで始まり西山のスマッシュが決まり1-0となった後、村上・桜井組が一気に7-1と連続ポイントで逆転した。しかし、西山・米元組は落ち着いたプレーとネットインなどのラッキーなポイントも重なり9-11でインターバルを迎えた。その後も、西山・米元組は、スマッシュを中心とした積極的な攻撃で5連続・6連続ポイントで19-13とした。ここから村上・桜井組も連続ポイントを重ね20-17まで頑張ったが、最後は西山の連続スマッシュを桜井がサイドアウトしゲームセットとなる。この時点で既に、第２ダブルス、第１シングルスを制していたため、この瞬間に青森山田の４年連続優勝が決まった。

〈第2ダブルス〉

垣岩・内井（青森山田）と室達・土屋（金沢向陽）の対戦。室達のサーブから始まった第１ゲームは、準決勝までの疲れか、機敏な動きが少ない。中序盤を過ごしたが、コートを広く使いリズムに乗った室達・土屋組の巧みな攻撃により11-6とリード。その後長いラリーをとった垣岩がシャトルを交換し、流れをつかもうとするが、室達・土屋組の巧みなラリーにミスが続き、リアセンターから垣内のスマッシュがネットにかかり金沢向陽が先制して第１ゲームを終えた。

第２ゲームは、序盤、ミスによるポイントを重ねた垣岩・内井組が、安定したレシーブ力で左右リアコートに振り、センターアタックで8-3とした。しかし、徐々にペースを取り戻した室達・土屋組はやや浮いた球を見逃さず、果敢な攻めを展開し10-8と挽回。その後、自力に勝る垣岩・内井組は垣岩の左サービスコートからのストレートスマッシュが冴え、粘り強いアタックにより21-18で青森山だが第２ゲームを制し、勝負はファイナルへ。

第３ゲームは、垣内・内井組のコンビネーションプレイが光り、終始リードを重ね、垣岩のカットがネットインしてチェンジエンズ。その後も内井のドライブリターンからの攻撃が冴え、センターへのスマッシュがノータッチで決まり、青森山田が勝利を収めた。

〈第1シングルス〉

橋本（青森山田）と三谷（金沢向陽）の対戦。出だしはお互い相手の様子を見ながら丁寧に繋ぐ展開となった。前半は橋本が落ち着いた動きで正確にショットを繋ぎ三谷のミスを誘った。三谷は今ひとつ調子に乗れず11-6でインターバル。インターバル後も繋ぎにミスの出る三谷に対して、橋本はカットを交えじわじわと点数を重ねていく。最後は三谷のサービスミスにて21-11とした橋本が第１ゲームを先取。

第２ゲームは三谷の動きが良くなり、いいラリーが続いたもの肝心なところでミスが目立ち、9-4と橋本がリードする。その後三谷の攻撃がリズムに乗り、スマッシュも決まりだし10-11と追い上げる。後半は一進一退でラリーを繋ぐ展開となり、三谷は押し気味にラリーを展開するが、最後の詰めでミスが目立つ。17-16と橋本がリードするが、ここからお互い粘りと気迫で点数を取り合い、連続でポイントを与えない。19-19と見応えのあるラリーの連続である。第１シングルスはラリーを繋げる展開でミスが勝敗を分けた試合となったが、最後は勢いに乗った橋本がスマッシュで2ポイント連取し、21-19となり、橋本がストレートで三谷を退け、青森山田が優勝を果たした。

男子　個人対抗　ダブルス(BD)

1　回　戦

BD	尾崎 智洸		16	—	21		奥本 克真
1	千木良 司	(2)	21	—	19	(1)	首里 良太
	(奈良・奈良大学附属)		21	—	17		(沖縄・沖縄水産)
BD	齋藤 誠		21	—	18		田中 麻左人
2	菅原 祐作	(2)	19	—	21	(1)	諸熊 剛明
	(山形・鶴岡工業)		21	—	18		(佐賀・唐津南)
BD	永野 翔太		21	—	15		杉本 陽祐
3	川﨑 敬済	(2)	21	—	13	(0)	藤巻 嵩寛
	(高知・土佐)			—			(長野・大町北)
BD	増渕 典明		21	—	13		打田 雄紀
4	毒島 司	(2)	17	—	21	(1)	高橋 武大
	(栃木・作新学院)		21	—	15		(三重・暁)
BD	渡邊 達哉		21	—	17		水川 文人
5	田中 光	(2)	21	—	13	(0)	高地 修史
	(宮崎・日章学園)			—			(岡山・水島工業)
BD	村上 真次郎		21	—	12		藤井 恵太
6	山﨑 祐介	(2)	21	—	15	(0)	木村 裕樹
	(愛媛・新田)			—			(茨城・常総学院)
BD	小山 恭平		19	—	21		嵯峨根 和正
7	田中 健太郎	(2)	21	—	13	(1)	竹ノ下 将圭
	(島根・大東)		21	—	14		(京都・桂)
BD	政谷 泰俊		21	—	16		青田 光太郎
8	森吉 佑介	(2)	21	—	17	(0)	佐藤 良
	(石川・金沢市立工業)			—			(宮城・仙台商業)
BD	三橋 将希		21	—	16		堀江 智康
9	高橋 惇	(2)	21	—	16	(0)	角田 尚太朗
	(神奈川・藤沢翔陵)			—			(熊本・八代東)
BD	五十嵐 浩希		21	—	9		大安 一輝
10	高山 郁弥	(2)	21	—	8	(0)	香田 純希
	(新潟・北越)			—			(広島・広島城北)
BD	村松 将豪		21	—	14		武井 宣紀
11	河野 恵太	(2)	21	—	9	(0)	飯島 史也
	(静岡・星陵)			—			(山梨・甲府商業)
BD	甲谷 光		17	—	21		阿部 慎也
12	工藤 和貴	(2)	21	—	17	(1)	黒木 翔太
	(秋田・秋田工業)		21	—	12		(大分・別府鶴見丘)
BD	山村 駿介		16	—	21		堀内 拓人
13	本川 剛	(2)	21	—	15	(1)	青木 雅彦
	(富山・高岡第一)		21	—	15		(千葉・西武台千葉)
BD	満園 雄摩		21	—	14		田中 良亮
14	満園 拓摩	(2)	23	—	21	(0)	林谷 悠貴
	(鹿児島・鹿児島商業)			—			(鳥取・米子北)
BD	黒田 匠馬		21	—	10		丸尾 健太郎
15	宇野 賢人	(2)	20	—	22	(1)	番条 友摩
	(滋賀・比叡山)		21	—	14		(群馬・伊勢崎清明)
BD	井村 圭甫		21	—	17		外川 真樹
16	鏡 裕樹	(2)	16	—	21	(1)	玉山 駿
	(徳島・徳島商業)		21	—	11		(岩手・前沢)
BD	生駒 賢		21	—	13		小島 拓也
17	松村 智仁	(2)	21	—	14	(0)	井上 拓哉
	(和歌山・新宮)			—			(岐阜・岐阜工業)
BD	茂木 伸男		21	—	9		山脇 一生
18	荒井 皓嗣	(2)	21	—	15	(0)	小島 祐真
	(群馬・桐生市立商業)			—			(高知・高知南)
BD	角田 碧		21	—	12		田代 有麻
19	仁島 大毅	(2)	21	—	7	(0)	甲石 淳哉
	(島根・松江北)			—			(静岡・星陵)

男子　個人対抗　ダブルス(BD)

BD 20	砂井 良介 米田 健司 (新潟・北越)	(2)	21 － 13 21 － 12 －	(0)	信太 惣晟 佐々木 俊仁 (秋田・秋田工業)
BD 21	奥 智洋 寺師 駿 (鹿児島・鹿児島商業)	(2)	13 － 21 21 － 13 21 － 17	(1)	大釜 恵介 辻野 智之 (京都・京都両洋)
BD 22	石岡 篤志 松田 正路 (大阪・東大阪大学柏原)	(2)	21 － 11 21 － 9 －	(0)	篠原 裕季 吉田 安具利 (岩手・前沢)
BD 23	溝口 元気 松村 侑紀 (長崎・創成館)	(2)	28 － 26 21 － 14 －	(0)	金谷 聡士 阿蘇 拓也 (千葉・千葉敬愛)
BD 24	上内 進介 辰巳 敬亮 (奈良・一条)	(2)	21 － 13 21 － 8 －	(0)	安藤 亮太 望月 彰人 (山梨・都留)
BD 25	千京 尚将 川西 俊也 (福井・勝山)	(2)	21 － 17 21 － 14 －	(0)	金城 俊 高江洲 優 (沖縄・コザ)
BD 26	佐藤 博幸 佐藤 祐樹 (山形・鶴岡工業)	(2)	21 － 9 21 － 10 －	(0)	鈴山 貴史 明見 拓哉 (広島・祇園北)
BD 27	田中 省吾 本間 典是 (愛知・岡崎城西)	(2)	21 － 12 17 － 21 21 － 15	(1)	森上 健太 原田 和憲 (福岡・自由ケ丘)
BD 28	福岡 輝 星野 敬嗣 (茨城・藤代)	(2)	21 － 14 21 － 12 －	(0)	田村 光 内富 海市 (山口・徳山工業)
BD 29	大江 正人 谷村 龍信 (富山・高岡第一)	(2)	21 － 17 17 － 21 21 － 18	(1)	坂本 輝 坂本 翼 (兵庫・神戸村野工業)
BD 30	入江 優喜 加納 大貴 (北北海道・帯広大谷)	(2)	21 － 15 11 － 21 21 － 13	(1)	前原 俊宏 鈴木 孝祐 (栃木・宇都宮南)
BD 31	髙松 剛 伊藤 干樹 (大分・日田林工)	(2)	21 － 19 21 － 17 －	(0)	奥原 大生 戸谷 直樹 (長野・大町)
BD 32	西川 夏樹 佐橋 芳彦 (三重・久居)	(2)	21 － 18 21 － 16 －	(0)	定宗 隆一郎 柳田 涼祐 (宮崎・日章学園)
BD 33	古川 龍之介 小笠原 純也 (青森・東奥学園)	(2)	21 － 7 21 － 6 －	(0)	各務 成俊 塩野 敏生 (和歌山・新宮)
BD 34	齋藤 嘉貴 山田 知幸 (神奈川・川崎総合科学)	(2)	21 － 18 21 － 12 －	(0)	吉成 倫大 弘田 昂 (徳島・徳島商業)

2　回　戦

BD 35	田児 賢一 松丸 一輝 (埼玉・埼玉栄)	(2)	21 － 13 21 － 12 －	(0)	尾﨑 智洸 千木良 司 (奈良・奈良大学附属)
BD 36	永野 翔太 川﨑 敬済 (高知・土佐)	(2)	21 － 19 21 － 16 －	(0)	齋藤 誠 菅原 祐作 (山形・鶴岡工業)
BD 37	岩見 隆広 宮野 一樹 (青森・青森山田)	(2)	15 － 21 21 － 16 21 － 12	(1)	増渕 典明 毒島 司 (栃木・作新学院)
BD 38	和田 力也 岩江 恵資 (大阪・東大阪大学柏原)	(2)	18 － 21 21 － 15 21 － 19	(1)	渡邊 達哉 田中 光 (宮崎・日章学園)

男子　個人対抗　ダブルス(BD)

BD	荒木 佑也		21	—	15		村上 真次郎
39	永田 晋作	(2)	21	—	9	(0)	山﨑 祐介
	（長崎・西陵）			—			（愛媛・新田）
BD	牧野 公亮		21	—	18		小山 恭平
40	鈴木 啓太	(2)	21	—	9	(0)	田中 健太郎
	（北北海道・旭川実業）			—			（島根・大東）
BD	政谷 泰俊		19	—	21		吉本 直樹
41	森吉 佑介	(2)	21	—	16	(1)	上原 将馬
	（石川・金沢市立工業）		22	—	20		（山口・柳井工業）
BD	駒田 直也		24	—	22		三橋 将希
42	深尾 淳	(2)	21	—	19	(0)	高橋 惇
	（愛知・名経大市邨）			—			（神奈川・藤沢翔陵）
BD	安部 惇士		21	—	12		五十嵐 浩希
43	加藤 晃平	(2)	20	—	22	(1)	高山 郁弥
	（福島・帝京安積）		21	—	15		（新潟・北越）
BD	村松 将豪		21	—	19		石川 岳明
44	河野 恵太	(2)	18	—	21	(1)	鈴木 陵麻
	（静岡・星陵）		21	—	19		（南北海道・札幌第一）
BD	植田 真伍		21	—	19		甲谷 光
45	河田 尚也	(2)	21	—	16	(0)	工藤 和貴
	（兵庫・神戸村野工業）			—			（秋田・秋田工業）
BD	三好 耕二		21	—	19		山村 駿介
46	藤井 亮	(2)	22	—	20	(0)	本川 剛
	（香川・英明）			—			（富山・高岡第一）
BD	山口 夏樹		21	—	10		満園 雄摩
47	松浦 正輝	(2)	21	—	18	(0)	満園 拓摩
	（福井・勝山）			—			（鹿児島・鹿児島商業）
BD	黒田 匠馬			—			古川 哲也
48	宇野 賢人	(2)		—		キ	佐伯 翔太
	（滋賀・比叡山）			—			（佐賀・唐津工業）
BD	牧 泰史		21	—	19		井村 圭甫
49	末松 純	(2)	21	—	11	(0)	鏡 裕樹
	（福岡・福岡大学附属大濠）			—			（徳島・徳島商業）
BD	武下 利一		21	—	14		生駒 賢
50	藤原 達矢	(2)	21	—	5	(0)	松村 智仁
	（東京・関東第一）			—			（和歌山・新宮）
BD	嘉村 健士		21	—	6		茂木 伸男
51	園田 啓悟	(2)	21	—	2	(0)	荒井 皓嗣
	（熊本・八代東）			—			（群馬・桐生市立商業）
BD	角田 碧		21	—	14		鶴田 伸太郎
52	仁島 大毅	(2)	21	—	16	(0)	松本 大
	（島根・松江北）			—			（佐賀・唐津南）
BD	砂井 良介		21	—	19		小野寺 勝也
53	米田 健司	(2)	18	—	21	(1)	田渕 雄喜
	（新潟・北越）		21	—	19		（南北海道・札幌第一）
BD	宮本 大地		21	—	19		奥 智洋
54	小池 直樹	(2)	21	—	8	(0)	寺師 駿
	（東京・関東第一）			—			（鹿児島・鹿児島商業）
BD	渡邉 一磨		21	—	14		石岡 篤志
55	末吉 佑任	(2)	21	—	17	(0)	松田 正路
	（岡山・水島工業）			—			（大阪・東大阪大学柏原）
BD	溝口 元気		21	—	15		浅野 新也
56	松村 侑紀	(2)	21	—	18	(0)	島岡 亮治
	（長崎・創成館）			—			（岐阜・県立岐阜商業）
BD	上内 進介		21	—	17		渡辺 渉
57	辰巳 敬亮	(2)	21	—	15	(0)	佐藤 和哉
	（奈良・一条）			—			（宮城・宮城県工業）

男子 個人対抗 ダブルス(BD)

BD 58	千京 尚将 川西 俊也 (福井·勝山)	(2)	21 21	— — —	15 11	(0)	池内 浩太朗 岩﨑 正洋 (香川·高松商業)
BD 59	野口 勝利 山崎 裕太 (埼玉·埼玉栄)	(2)	21 21	— — —	8 9	(0)	佐藤 博幸 佐藤 祐樹 (山形·鶴岡工業)
BD 60	田中 省吾 本間 典是 (愛知·岡崎城西)	(2)		— — —		キ	曽我部 翔 真鍋 聡志 (愛媛·新居浜東)
BD 61	福岡 輝 星野 敬嗣 (茨城·藤代)	(2)	21 21	— — —	13 6	(0)	寺田 惇平 寺島 裕二 (福島·帝京安積)
BD 62	大江 正人 谷村 龍信 (富山·高岡第一)	(2)	21 21	— — —	14 13	(0)	円城寺 尚人 島崎 拓也 (佐賀·唐津東)
BD 63	入江 優喜 加納 大貴 (北北海道·帯広大谷)	(2)	25 13 21	— — —	23 21 17	(1)	仲井 佑太 森本 貴則 (鳥取·倉吉総産)
BD 64	村上 俊 矢部 拓也 (滋賀·比叡山)	(2)	21 21	— — —	14 11	(0)	髙松 剛 伊藤 千樹 (大分·日田林工)
BD 65	西川 夏樹 佐橋 芳彦 (三重·久居)	(2)	19 23 21	— — —	21 21 19	(1)	古川 龍之介 小笠原 純也 (青森·東奥学園)
BD 66	坂井 一将 新田 晃浩 (石川·金沢市立工業)	(2)	21 21	— — —	8 17	(0)	齋藤 嘉貴 山田 知幸 (神奈川·川崎総合科学)

3回戦

BD 67	田児 賢一 松丸 一輝 (埼玉·埼玉栄)	(2)	21 21	— — —	4 19	(0)	永野 翔太 川﨑 敬済 (高知·土佐)
BD 68	岩見 隆広 宮野 一樹 (青森·青森山田)	(2)	21 21	— — —	8 18	(0)	和田 力也 岩江 恵資 (大阪·東大阪大学柏原)
BD 69	荒木 佑也 永田 晋作 (長崎·西陵)	(2)	21 21	— — —	12 16	(0)	牧野 公亮 鈴木 啓太 (北北海道·旭川実業)
BD 70	政谷 泰俊 森吉 佑介 (石川·金沢市立工業)	(2)	20 21 21	— — —	22 19 12	(1)	駒田 直也 深尾 淳 (愛知·名経大市邨)
BD 71	安部 惇士 加藤 晃平 (福島·帝京安積)	(2)	21 21	— — —	16 11	(0)	村松 将豪 河野 恵太 (静岡·星陵)
BD 72	三好 耕二 藤井 亮 (香川·英明)	(2)	21 21	— — —	16 8	(0)	植田 真伍 河田 尚也 (兵庫·神戸村野工業)
BD 73	山口 夏樹 松浦 正輝 (福井·勝山)	(2)	21 16 21	— — —	15 21 16	(1)	黒田 匠馬 宇野 賢人 (滋賀·比叡山)
BD 74	武下 利一 藤原 達矢 (東京·関東第一)	(2)	22 16 21	— — —	20 21 12	(1)	牧 泰史 末松 純 (福岡·福岡大学附属大濠)
BD 75	嘉村 健士 園田 啓悟 (熊本·八代東)	(2)	21 21	— — —	11 10	(0)	角田 碧 仁島 大毅 (島根·松江北)
BD 76	宮本 大地 小池 直樹 (東京·関東第一)	(2)	21 21	— — —	14 15	(0)	砂井 良介 米田 健司 (新潟·北越)

男子　個人対抗　ダブルス（BD）

BD	渡邉 一磨		21	—	15		溝口 元気
77	末吉 佑任	(2)	21	—	13	(0)	松村 侑紀
	（岡山・水島工業）			—			（長崎・創成館）
BD	千京 尚将		21	—	18		上内 進介
78	川西 俊也	(2)	21	—	12	(0)	辰巳 敬亮
	（福井・勝山）			—			（奈良・一条）
BD	野口 勝利		21	—	9		田中 省吾
79	山崎 裕太	(2)	21	—	17	(0)	本間 典是
	（埼玉・埼玉栄）			—			（愛知・岡崎城西）
BD	福岡 輝		21	—	17		大江 正人
80	星野 敬嗣	(2)	21	—	13	(0)	谷村 龍信
	（茨城・藤代）			—			（富山・高岡第一）
BD	村上 俊		21	—	15		入江 優喜
81	矢部 拓也	(2)	21	—	19	(0)	加納 大貴
	（滋賀・比叡山）			—			（北北海道・帯広大谷）
BD	坂井 一将		21	—	15		西川 夏樹
82	新田 晃浩	(2)	21	—	8	(0)	佐橋 芳彦
	（石川・金沢市立工業）			—			（三重・久居）

4　回　戦

BD	田児 賢一		21	—	13		岩見 隆広
83	松丸 一輝	(2)	21	—	14	(0)	宮野 一樹
	（埼玉・埼玉栄）			—			（青森・青森山田）
BD	荒木 佑也		21	—	18		政谷 泰俊
84	永田 晋作	(2)	21	—	14	(0)	森吉 佑介
	（長崎・西陵）			—			（石川・金沢市立工業）
BD	三好 耕二		21	—	14		安部 惇士
85	藤井 亮	(2)	21	—	12	(0)	加藤 晃平
	（香川・英明）			—			（福島・帝京安積）
BD	武下 利一		21	—	17		山口 夏樹
86	藤原 達矢	(2)	21	—	11	(0)	松浦 正輝
	（東京・関東第一）			—			（福井・勝山）
BD	嘉村 健士		21	—	9		宮本 大地
87	園田 啓悟	(2)	21	—	15	(0)	小池 直樹
	（熊本・八代東）			—			（東京・関東第一）
BD	渡邉 一磨		21	—	12		千京 尚将
88	末吉 佑任	(2)	21	—	18	(0)	川西 俊也
	（岡山・水島工業）			—			（福井・勝山）
BD	野口 勝利		21	—	13		福岡 輝
89	山崎 裕太	(2)	22	—	20	(0)	星野 敬嗣
	（埼玉・埼玉栄）			—			（茨城・藤代）
BD	坂井 一将		21	—	17		村上 俊
90	新田 晃浩	(2)	21	—	12	(0)	矢部 拓也
	（石川・金沢市立工業）			—			（滋賀・比叡山）

準　々　決　勝

BD	田児 賢一		21	—	13		荒木 佑也
91	松丸 一輝	(2)	21	—	10	(0)	永田 晋作
	（埼玉・埼玉栄）			—			（長崎・西陵）
BD	三好 耕二		21	—	14		武下 利一
92	藤井 亮	(2)	9	—	9	キ	藤原 達矢
	（香川・英明）			—			（東京・関東第一）
BD	嘉村 健士		21	—	18		渡邉 一磨
93	園田 啓悟	(2)	21	—	12	(0)	末吉 佑任
	（熊本・八代東）			—			（岡山・水島工業）
BD	野口 勝利		17	—	21		坂井 一将
94	山崎 裕太	(2)	21	—	11	(1)	新田 晃浩
	（埼玉・埼玉栄）		21	—	16		（石川・金沢市立工業）

男子　個人対抗　ダブルス(BD)

準　決　勝

BD	**田児 賢一**		21	－	17		**三好 耕二**
95	**松丸 一輝**	(2)	21	－	18	(0)	**藤井 亮**
	(埼玉･埼玉栄)			－			**(香川･英明)**

昨年の覇者田児・松丸（埼玉栄）と三好・藤井（英明）の対戦。田児・松丸組のドライブを中心とした速いレシーブとネット前の巧みなプレーに三好の攻撃を中心としたコンビネーションプレーがどう立ち向かうかが期待される一戦である。

第1ゲームは松丸のサービスで始まり、前半は田児・松丸が相手の様子を見ながら丁寧に繋いでいく。一方、三好・藤井は相手の早さを意識してか繋ぎ球でミスが目立つ展開となり、11-8。田児・松丸がリードして折り返す。後半に入り、三好・藤井の動きが良くなり速いラリー展開となったが、田児の落ち着いたプレートネット前の速い動きでポイントを重ねていった田児・松丸組が21-17で先取した。

第2ゲームは、田児の攻撃や松丸の好レシーブが随所に見られ、ドライブ・スマッシュの速いラリーとネット前の巧みなプレーが光り、11-4とリードした。後半になり、三好・藤井は必死に粘りをみせ、徐々に攻撃にコンビネーションが冴えて追い上げていき17-18と接戦に持ち込んだ。しかし、田児・松丸はドライブと好レシーブで見応えのある長いラリーを制し20-17とリードする。最後は、相手のサービスミスで21-18となりマッチ終了となった。三好・藤井は本来の攻撃ができず、田児・松丸の終始落ち着いたプレーが光った試合であった。

準　決　勝

BD	**野口 勝利**		21	－	18		**嘉村 健士**
96	**山崎 裕太**	(2)	18	－	21	(1)	**園田 啓悟**
	(埼玉･埼玉栄)		21	－	19		**(熊本･八代東)**

男子ダブルス準決勝は第2シードを準々決勝で破り勝ち上がった野口・山口（埼玉栄）と第３シードで順当に勝ち上がってきた嘉村・園田（八代東）の対戦。

野口のサービスで始まった第1ゲームは豪快なジャンプスマッシュを武器とする野口・山崎が序盤を11-4と一気にリードする。コンビプレーを得意とするか村・園田に凡ミスが目立ち、得意の形に持ち込めない。嘉村・園田は中盤以降も追い上げを図るが野口・山崎のリードが続く展開となり、終盤必死の追い上げも届かず最後まで攻めきった野口・山崎が21-18で先取した。

第2ゲームにはいると、嘉村・園田に本来のコンビプレーが戻り、序盤より一進一退の攻防が繰り広げられた。中盤以降は野口・山崎のスマッシュに対応でき高村・園田が抜け出し、14-7とリードを広げる。終盤、野口・山崎も得意の攻撃力で追い上げ接戦に持ち込むが、肝心なところでのサービスミスが響き、21-18で嘉村・園田組が取り、勝負はファイナルゲームに持ち越すこととなった。

ファイナルゲームに入っても、見事なコンビネーションでドライブ勝負を仕掛ける嘉村・園田に対して豪快な攻撃力でスマッシュを打ちまくる野口・山崎の両ペアの持ち味が十分に生かされた点差の開かない接戦が繰り広げられる。13オール以降、終盤にかけて攻撃力に勝る野口・山崎が一歩抜けだし、20-19とするとスマッシュ・プッシュと打ち抜き、激戦を制した。

男子　個人対抗　ダブルス(BD)

決　　　　勝

BD	田児 賢一		21	—	15		野口 勝利
97	松丸 一輝	(2)	19	—	21	(1)	山崎 裕太
	(埼玉·埼玉栄)		21	—	14		(埼玉·埼玉栄)

昨年同様、決勝は埼玉栄の同校対決となった。2年連続優勝、三冠（団体・シングルス・ダブルス）を狙う田児・松丸に対し、昨年の全日本ジュニア選手権大会で優勝した野口・山崎。田児・松丸は団体戦も含め比較的圧勝で勝ち上がっている。一方の野口・山崎は団体戦から苦戦を強いられている。野口・山崎の波状攻撃が田児・松丸のレシーブをどれだけ打ち破っていくかが勝負の鍵になると見られる。

松丸のサービスで試合が開始される。予想通り田児・松丸のドライブやネット前を巧みに使う戦術に対し何とか上げ指させる展開に持ち込み野口・山崎の連続攻撃で序盤は互角であったが、徐々に野口・山崎のパターンに持ち込めない場面が増えてくる。松丸のスマッシュを山崎がドライブでリターンするが前衛の田児がネット前に落として11-7でインターバルを迎える。中盤はさらに田児・松丸は上げない展開に持ち込み野口・山崎は我慢できずに上げてしまい、レシーブしきれずに14-13から田児・松丸が一気に6点を取りゲームポイント。最後は山崎のラウンドストロークからのストレートスマッシュを松丸がクロスに切り返し前衛を抜き、山崎も必死で追いかけ倒れ込んで返球するもネットを越えず、21-15で１ゲームを田児・松丸が先取する。

第２ゲームも野口・山崎が上げさせられてスマッシュを打たれると守りでのミスが多く、相手に上げさせられるとパワーで押し切られるといった展開になるが、徐々に攻撃のできる場面が多く見られるようになる。松丸のショートサービスがミスになり、11-9で野口・山崎のリードで後半へ。19-19までは一進一退の攻防であったが、野口・山崎が田児のスマッシュをドライブリターン。これがネットに当たり20-19。最後もスマッシュがネットに当たり、松丸が飛び込んで拾いに行くが、ラケットに当てるのが精一杯で21-19で野口・山崎が1-1に持ち込む。

ファイルゲームも同様の展開でゲームが進む。野口がカットに対しネット前に詰め、ヘアピンにはいるが松丸が浮いたところをプッシュし、11-10。ここまでショートサービスのミスが多かった田児はここからロングサービスやドリブンサービスに切り替える。これが功を奏し連続で得点を重ね15-10。20-12とマッチポイントを迎え、最後はドライブの応酬から浮いたところを野口がスマッシュを放つもネットを越えることはなく、21-14で田児・松丸の2年連続優勝が決まった。

女子 個人対抗 ダブルス(GD)

1　回　戦

GD	松尾 知佳		21	ー	18		布宮 ゆり恵
1	角田 麻紀	(2)	21	ー	17	(0)	富永 美穂
	(岡山･西大寺)			ー			(北北海道･旭川東)
GD	細田 知里		23	ー	21		遠藤 真美
2	田中 悠菜	(2)	21	ー	15	(0)	鈴木 智子
	(長崎･長崎東)			ー			(兵庫･夙川学院)
GD	松友 仁美		21	ー	6		大槻 千尋
3	久次米 佐和子	(2)	21	ー	13	(0)	茂木 美帆
	(徳島･城東)			ー			(福島･帝京安積)
GD	浦井 美和		21	ー	15		宮下 渚紗
4	小山 文萌	(2)	21	ー	10	(0)	山本 有里沙
	(千葉･西武台千葉)			ー			(和歌山･耐久)
GD	真弓 恵理子		21	ー	18		宇津木 由佳
5	清水 亜矢	(2)	21	ー	10	(0)	中原 由貴
	(三重･久居)			ー			(鳥取･倉吉東)
GD	森 知宏		12	ー	21		大川 美幸
6	佐藤 有純	(2)	21	ー	15	(1)	永田 知里
	(山形･新庄南)		21	ー	15		(岐阜･県立岐阜商業)
GD	古屋 杏奈		21	ー	9		徳村 梨奈
7	滝川 翔子	(2)	21	ー	18	(0)	三苫 恵美子
	(山梨･甲府商業)			ー			(宮崎･宮崎南)
GD	小林 史佳		21	ー	11		竹尾 優希
8	横山 めぐみ	(2)	22	ー	20	(0)	白野 悠里
	(熊本･八代白百合学園)			ー			(神奈川･元石川)
GD	藤原 由佳		21	ー	11		竹内 沙希
9	中村 あかね	(2)	21	ー	12	(0)	伊藤 友希子
	(香川･高松商業)			ー			(福井･勝山)
GD	市山 瑶子		21	ー	9		西川 真奈美
10	二ッ柳 紗耶	(2)	21	ー	11	(0)	稲寺 咲
	(富山･高岡西)			ー			(奈良･添上)
GD	土田 茉実		21	ー	8		花本 陽菜
11	神田 織恵	(2)	21	ー	10	(0)	河村 冴衣子
	(東京･関東第一)			ー			(山口･熊毛北)
GD	岩渕 幸穂		22	ー	20		宮平 ゆかり
12	佐野 萌子	(2)	21	ー	15	(0)	国吉 仁子
	(静岡･星陵)			ー			(沖縄･糸満)
GD	青柳 芽衣		21	ー	9		上山 円香
13	椎貝 友紀	(2)	21	ー	17	(0)	渋川 明里
	(栃木･作新学院)			ー			(京都･京都西山)
GD	天野 成美		21	ー	11		佐野 友香
14	伊藤 朝美	(2)	21	ー	17	(0)	井上 彩香
	(秋田･秋田和洋女子)			ー			(佐賀･佐賀女子)
GD	内藤 遥		21	ー	10		岩永 舞子
15	越沢 まりこ	(2)	13	ー	21	(1)	森山 晴捺
	(群馬･伊勢崎清明)		21	ー	17		(鹿児島･鹿児島女子)
GD	鈴木 歩望		21	ー	9		羽方 美咲
16	永田 美帆	(2)	21	ー	8	(0)	近藤 ありさ
	(長野･蘇南)			ー			(高知･土佐女子)
GD	上野 晶子		21	ー	11		玉山　希
17	大河内 皐月	(2)	21	ー	9	(0)	齊藤 奈穂
	(茨城･伊奈)			ー			(岩手･前沢)
GD	飯田 彩花		21	ー	9		井川 奈保
18	江口 夏妃	(2)	17	ー	21	(1)	小林 桃子
	(静岡･伊東)		23	ー	21		(山形･山形西)
GD	村上 陽子		21	ー	17		岩本 柚美
19	佐々木 唯	(2)	21	ー	9	(0)	壽本 実里
	(滋賀･大津商業)			ー			(宮崎･宮崎商業)

女子　個人対抗　ダブルス(GD)

GD 20	稲葉 菜保美 上所 愛 (兵庫・夙川学院)	(2)	21 − 7 21 − 5 −	(0)	阿部 梨奈 三森 夏実 (山梨・甲府湯田)
GD 21	室達 茜 中尾 彩乃 (石川・金沢向陽)	(2)	21 − 15 21 − 10 −	(0)	平敷 祥子 玉城 真央 (沖縄・糸満)
GD 22	森 亜希子 芳野 春花 (長崎・長崎女子)	(2)	21 − 10 21 − 19 −	(0)	藤澤 祥子 加藤 宏佳 (岩手・盛岡第四)
GD 23	大谷 倫代 山本 由希絵 (京都・京都西山)	(2)	21 − 13 16 − 21 21 − 15	(1)	上林 惠理子 黒沢 奈菜 (茨城・茗渓学園)
GD 24	豊田 咲奈 樫栄 祥子 (愛媛・新田)	(2)	21 − 19 21 − 16 −	(0)	宮 美紗貴 西村 結衣 (群馬・伊勢崎清明)
GD 25	豊田 希美 吉廣 咲姫 (広島・清水ヶ丘)	(2)	21 − 12 22 − 20 −	(0)	足立 由衣 二ツ柳 彩耶 (長野・文化女子大附属長野)
GD 26	坂中 夢 牧之瀬 みほ (福岡・九州国際大付属)	(2)	21 − 16 21 − 17 −	(0)	大湊 望 関川 容子 (新潟・新潟青陵)
GD 27	中川 まどか 本間 美穂 (南北海道・とわの森三愛)	(2)	21 − 13 16 − 21 21 − 15	(1)	小野 悠奈 山口 佳恵 (埼玉・埼玉栄)
GD 28	石田 麻衣 斎藤 綾乃 (福井・勝山)	(2)	21 − 11 21 − 19 −	(0)	森山 このみ 沖 美波 (高知・清和女子)
GD 29	遠藤 紗葉 小窪 千香子 (岐阜・県立岐阜商業)	(2)	21 − 5 21 − 10 −	(0)	小林 麻紀 大西 結衣 (和歌山・耐久)
GD 30	辻井 麻衣香 金児 真衣 (三重・暁)	(2)	21 − 23 21 − 17 23 − 21	(1)	山本 敬子 山下 里奈 (鹿児島・鹿児島女子)
GD 31	髙橋 礼華 玉木 絵里子 (宮城・聖ウルスラ英智)	(2)	21 − 7 21 − 13 −	(0)	石津 美紀子 青山 未佳 (島根・松徳学院)
GD 32	鈴木 梢 木村 有花 (東京・日本橋女学館)	(2)	21 − 13 21 − 17 −	(0)	末吉 志織 早川 未沙 (鳥取・米子北)
GD 33	佐藤 遥 鈴木 優華 (秋田・秋田和洋女子)	(2)	21 − 15 21 − 15 −	(0)	溝添 美紗希 中山 美咲 (佐賀・唐津南)
GD 34	中田 真由美 鍋井 彩果 (香川・高松商業)	(2)	21 − 12 21 − 18 −	(0)	吉田 晴香 伊藤 萌 (奈良・奈良商業)

2　回　戦

GD 35	三木 佑里子 大森 舞 (埼玉・越谷南)	(2)	21 − 14 21 − 12 −	(0)	松尾 知佳 角田 麻紀 (岡山・西大寺)
GD 36	松友 仁美 久次米 佐和子 (徳島・城東)	(2)	14 − 21 21 − 18 21 − 16	(1)	細田 知里 田中 悠菜 (長崎・長崎東)
GD 37	上田 恵里加 岡留 沙樹 (大分・昭和学園)	(2)	21 − 14 13 − 21 21 − 14	(1)	浦井 美和 小山 文萌 (千葉・西武台千葉)
GD 38	村上 彩 桜井 みどり (石川・金沢向陽)	(2)	19 − 21 21 − 12 21 − 16	(1)	真弓 恵理子 清水 亜矢 (三重・久居)

女子　個人対抗　ダブルス(GD)

GD	藤井 詩穂		20	—	22		森 知宏
39	吉田 琴美	(2)	21	—	15	(1)	佐藤 有純
	(佐賀・佐賀女子)		21	—	18		(山形・新庄南)
GD	久後 あすみ		21	—	15		古屋 杏奈
40	西 友理	(2)	21	—	13	(0)	滝川 翔子
	(大阪・四天王寺)			—			(山梨・甲府商業)
GD	小林 史佳		21	—	14		土江 奈津子
41	横山 めぐみ	(2)	21	—	14	(0)	山本 ゆかり
	(熊本・八代白百合学園)			—			(島根・松徳学院)
GD	菅野 友		21	—	13		藤原 由佳
42	岡田 彩菜	(2)	21	—	17	(0)	中村 あかね
	(宮城・聖ウルスラ英智)			—			(香川・高松商業)
GD	栗原 文音		21	—	16		市山 瑶子
43	植田 悠	(2)	24	—	22	(0)	二ッ栁 紗耶
	(福岡・九州国際大付属)			—			(富山・高岡西)
GD	土田 茉実		21	—	18		久枝 ゆい
44	神田 織恵	(2)	21	—	14	(0)	野口 幸代
	(東京・関東第一)			—			(愛媛・新田)
GD	西山 夕美子		21	—	10		岩渕 幸穂
45	米元 小春	(2)	21	—	13	(0)	佐野 萌子
	(青森・青森山田)			—			(静岡・星陵)
GD	太田 真由美		21	—	11		青柳 芽衣
46	音田 亜子	(2)	19	—	21	(1)	椎貝 友紀
	(新潟・新発田商業)		21	—	9		(栃木・作新学院)
GD	天野 成美		21	—	16		三上 千明
47	伊藤 朝美	(2)	21	—	14	(0)	柳亭 郁実
	(秋田・秋田和洋女子)			—			(広島・清水ヶ丘)
GD	樋渡 仁見		18	—	21		内藤 遥
48	新玉 美郷	(2)	21	—	15	(1)	越沢 まりこ
	(愛知・名経大市邨)		21	—	18		(群馬・伊勢崎清明)
GD	小久保 陽香		21	—	5		鈴木 歩望
49	小野地 友希	(2)	21	—	18	(0)	永田 美帆
	(南北海道・札幌静修)			—			(長野・蘇南)
GD	土井 杏奈		21	—	9		上野 晶子
50	仲川 志都香	(2)	21	—	13	(0)	大河内 皐月
	(滋賀・滋賀女子)			—			(茨城・伊奈)
GD	石井 那実		21	—	6		飯田 彩花
51	矢野 智恵美	(2)	21	—	4	(0)	江口 夏妃
	(栃木・作新学院)			—			(静岡・伊東)
GD	村上 陽子		21	—	19		鈴木 美穂
52	佐々木 唯	(2)	21	—	14	(0)	河村 彩香
	(滋賀・大津商業)			—			(山口・熊毛北)
GD	稲葉 菜保美		21	—	9		國安 香好
53	上所 愛	(2)	18	—	21	(1)	水口 愛梨
	(兵庫・夙川学院)		21	—	15		(徳島・城東)
GD	垣岩 令佳		21	—	16		室達 茜
54	内井 快枝	(2)	23	—	21	(0)	中尾 彩乃
	(青森・青森山田)			—			(石川・金沢向陽)
GD	森 亜希子		21	—	12		佐藤 しおり
55	芳野 春花	(2)	21	—	19	(0)	高橋 杏奈
	(長崎・長崎女子)			—			(北北海道・旭川実業)
GD	大家 久美子		21	—	16		大谷 倫代
56	納塚 夏実	(2)	19	—	21	(1)	山本 由希絵
	(佐賀・佐賀女子)		21	—	16		(京都・京都西山)
GD	住田 有希恵		21	—	14		豊田 咲奈
57	上村 佳代	(2)	21	—	13	(0)	樫栄 祥子
	(熊本・八代白百合学園)			—			(愛媛・新田)

女子　個人対抗　ダブルス(GD)

GD	打田 しづか		21	—	8		豊田 希美
58	藤田 理恵子	(2)	21	—	10	(0)	吉廣 咲姫
	(愛知·岡崎城西)			—			(広島·清水ヶ丘)
GD	実光 鮎佳		16	—	21		坂中 夢
59	岡本 麻菜美	(2)	21	—	16	(1)	牧之瀬 みほ
	(岡山·倉敷中央)		21	—	11		(福岡·九州国際大付属)
GD	野尻野 匡世		11	—	21		中川 まどか
60	濵島 未花	(2)	21	—	12	(1)	本間 美穂
	(福島·尚志)		21	—	13		(南北海道·とわの森三愛)
GD	宮内 唯		21	—	9		石田 麻衣
61	加藤 祥子	(2)	21	—	19	(0)	斎藤 綾乃
	(大分·別府鶴見丘)			—			(福井·勝山)
GD	遠藤 紗葉		15	—	21		宮田 晶代
62	小窪 千香子	(2)	22	—	20	(1)	白樫 春菜
	(岐阜·県立岐阜商業)		21	—	18		(神奈川·鵠沼)
GD	小口 晃佳		21	—	8		辻井 麻衣香
63	東野 良美	(2)	21	—	12	(0)	金児 真衣
	(大阪·四天王寺)			—			(三重·暁)
GD	大日方 美弥子		21	—	19		髙橋 礼華
64	飯泉 綾乃	(2)	21	—	12	(0)	玉木 絵里子
	(千葉·西武台千葉)			—			(宮城·聖ウルスラ英智)
GD	鈴木 梢		21	—	19		佐藤 遥
65	木村 有花	(2)	21	—	17	(0)	鈴木 優華
	(東京·日本橋女学館)			—			(秋田·秋田和洋女子)
GD	片山 佳菜		21	—	6		中田 真由美
66	奥井 智菜美	(2)	21	—	11	(0)	鍋井 彩果
	(富山·高岡西)			—			(香川·高松商業)

3　回　戦

GD	三木 佑里子		21	—	6		松友 仁美
67	大森 舞	(2)	21	—	13	(0)	久次米 佐和子
	(埼玉·越谷南)			—			(徳島·城東)
GD	村上 彩		21	—	13		上田 恵里加
68	桜井 みどり	(2)	21	—	14	(0)	岡留 沙樹
	(石川·金沢向陽)			—			(大分·昭和学園)
GD	久後 あすみ		21	—	12		藤井 詩穂
69	西 友理	(2)	19	—	21	(1)	吉田 琴美
	(大阪·四天王寺)		21	—	12		(佐賀·佐賀女子)
GD	小林 史佳		22	—	20		菅野 友
70	横山 めぐみ	(2)	21	—	19	(0)	岡田 彩菜
	(熊本·八代白百合学園)			—			(宮城·聖ウルスラ英智)
GD	土田 茉実		21	—	10		栗原 文音
71	神田 織恵	(2)	16	—	21	(1)	植田 悠
	(東京·関東第一)		21	—	17		(福岡·九州国際大付属)
GD	西山 夕美子		21	—	17		太田 真由美
72	米元 小春	(2)	21	—	11	(0)	音田 亜子
	(青森·青森山田)			—			(新潟·新発田商業)
GD	樋渡 仁見		21	—	18		天野 成美
73	新玉 美郷	(2)	22	—	24	(1)	伊藤 朝美
	(愛知·名経大市邨)		21	—	16		(秋田·秋田和洋女子)
GD	土井 杏奈		21	—	18		小久保 陽香
74	仲川 志都香	(2)	21	—	16	(0)	小野地 友希
	(滋賀·滋賀女子)			—			(南北海道·札幌静修)
GD	石井 那実		21	—	10		村上 陽子
75	矢野 智恵美	(2)	21	—	13	(0)	佐々木 唯
	(栃木·作新学院)			—			(滋賀·大津商業)
GD	垣岩 令佳		21	—	13		稲葉 菜保美
76	内井 快枝	(2)	21	—	16	(0)	上所 愛
	(青森·青森山田)			—			(兵庫·夙川学院)

女子 個人対抗 ダブルス(GD)

GD	森 亜希子		21	ー	9		大家 久美子
77	芳野 春花	(2)	13	ー	21	(1)	納塚 夏実
	(長崎・長崎女子)		21	ー	18		(佐賀・佐賀女子)
GD	打田 しづか		21	ー	14		住田 有希恵
78	藤田 理恵子	(2)	21	ー	14	(0)	上村 佳代
	(愛知・岡崎城西)			ー			(熊本・八代白百合学園)
GD	実光 鮎佳		21	ー	14		野尻野 匡世
79	岡本 麻菜美	(2)	21	ー	14	(0)	濵島 未花
	(岡山・倉敷中央)			ー			(福島・尚志)
GD	宮内 唯		21	ー	17		遠藤 紗葉
80	加藤 祥子	(2)	21	ー	13	(0)	小窪 千香子
	(大分・別府鶴見丘)			ー			(岐阜・県立岐阜商業)
GD	大日方 美弥子		21	ー	19		小口 晃佳
81	飯泉 綾乃	(2)	8	ー	21	(1)	東野 良美
	(千葉・西武台千葉)		21	ー	16		(大阪・四天王寺)
GD	片山 佳菜		21	ー	9		鈴木 梢
82	奥井 智菜美	(2)	21	ー	12	(0)	木村 有花
	(富山・高岡西)			ー			(東京・日本橋女学館)

4 回 戦

GD	村上 彩		14	ー	21		三木 佑里子
83	桜井 みどり	(2)	22	ー	20	(1)	大森 舞
	(石川・金沢向陽)		21	ー	13		(埼玉・越谷南)
GD	小林 史佳		14	ー	21		久後 あすみ
84	横山 めぐみ	(2)	21	ー	13	(1)	西 友理
	(熊本・八代白百合学園)		21	ー	18		(大阪・四天王寺)
GD	西山 夕美子		21	ー	16		土田 茉実
85	米元 小春	(2)	21	ー	18	(0)	神田 織恵
	(青森・青森山田)			ー			(東京・関東第一)
GD	樋渡 仁見		21	ー	14		土井 杏奈
86	新玉 美郷	(2)	21	ー	13	(0)	仲川 志都香
	(愛知・名経大市邨)			ー			(滋賀・滋賀女子)
GD	垣岩 令佳		21	ー	12		石井 那実
87	内井 快枝	(2)	21	ー	10	(0)	矢野 智恵美
	(青森・青森山田)			ー			(栃木・作新学院)
GD	打田 しづか		21	ー	11		森 亜希子
88	藤田 理恵子	(2)	21	ー	18	(0)	芳野 春花
	(愛知・岡崎城西)			ー			(長崎・長崎女子)
GD	宮内 唯		21	ー	19		実光 鮎佳
89	加藤 祥子	(2)	18	ー	21	(1)	岡本 麻菜美
	(大分・別府鶴見丘)		21	ー	17		(岡山・倉敷中央)
GD	片山 佳菜		21	ー	13		大日方 美弥子
90	奥井 智菜美	(2)	21	ー	13	(0)	飯泉 綾乃
	(富山・高岡西)			ー			(千葉・西武台千葉)

準 々 決 勝

GD	村上 彩		21	ー	15		小林 史佳
91	桜井 みどり	(2)	21	ー	6	(0)	横山 めぐみ
	(石川・金沢向陽)			ー			(熊本・八代白百合学園)
GD	西山 夕美子		21	ー	13		樋渡 仁見
92	米元 小春	(2)	21	ー	13	(0)	新玉 美郷
	(青森・青森山田)			ー			(愛知・名経大市邨)
GD	打田 しづか		21	ー	11		垣岩 令佳
93	藤田 理恵子	(2)	16	ー	21	(1)	内井 快枝
	(愛知・岡崎城西)		21	ー	18		(青森・青森山田)
GD	宮内 唯		18	ー	21		片山 佳菜
94	加藤 祥子	(2)	21	ー	18	(1)	奥井 智菜美
	(大分・別府鶴見丘)		23	ー	21		(富山・高岡西)

女子　個人対抗　ダブルス(GD)

準　　決　　勝

GD	村上 彩		21	—	15		西山 夕美子
95	桜井 みどり	(2)	16	—	21	(1)	米元 小春
	(石川·金沢向陽)		21	—	19		(青森·青森山田)

準決勝第１試合は、女子学校対抗戦決勝の第１ダブルスと全く同じ対戦となった。西山・米本（青森山田）が学校対抗戦に続き連勝なるか。はたまた村上・桜井（金沢向陽）が雪辱を果たすか、注目のカードとなった。

第１ゲームは、村上（金沢向陽）のサービスで始まり、村上・桜井のクロススマッシュを中心とした積極的な攻撃が効果的に決まり一気に10-2と大きくリードした。ここから西山・米元は村上・桜井のコンビネーションが崩れた隙を突き、うまくミスを誘い12-13と逆転に成功する。しかし、今度は西山・米元にレシーブミスやジャッジミスが続き相手に6連続ポイントを与え、18-13となった。すぐに2点取り替えしたものの、最後は村上のネット前からの豪快なクロススマッシュで21-15とし、村上・桜井が第１ゲームを先取する。

第２ゲームは序盤に１ゲーム目とは逆に西山・米元が6-4とリードする。しかし、ここから村上のプッシュが決まりだし、ネットインなども味方して一気に11-6と逆転してインターバルを迎える。中盤は西山・米元が10-13からネット前での切り返しが速くなり、相手のミスを誘い7連続ポイントで17-13と主導権をつかみ、相手に立て直す暇を与えずに３連続ポイントし、21-16で１ゲームオールとする。

第３ゲームは、西山（青森山田）のサービスがバックアウトで始まった。両者とも集中し、持ち味を生かしたプレーで一歩も譲らず一進一退の攻防が7-7、13-13、19-19まで続いたが、最後は米元のクロスヘアピンがネットを越えず、21-19と学校対抗戦の雪辱を果たし村上・西山が決勝への駒を進めた。

GD	打田 しづか		21	—	11		宮内 唯
96	藤田 理恵子	(2)	21	—	15	(0)	加藤 祥子
	(愛知·岡崎城西)			—			(大分·別府鶴見丘)

第８シードから勝ち上がった打田・藤田組（岡崎城西）と、ノーシードから強豪を勝ち抜いてきた宮内・加藤組（別府鶴見が丘）のフレッシュな対戦となった。

第１ゲームは、宮内（鶴見が丘）のサービスから始まった。打田・藤田組が相手のミスを誘い8-3とリードしたが、宮内・加藤組も長身を活かし高い攻撃で10-8と追い上げる。しかし、後半は上手くコースを攻め続けた打田・藤田組が得点を重ね、最後は打田のセンターへのスマッシュが決まり21-11で先取した。

第２ゲーム目も、宮内・加藤組のバックアウト、ネットミスなどで5-1と打田・藤田組がリードするが、動きの出てきた宮内・加藤組が11-10と逆転。インターバル後、互いに打ち合いながらも打田・藤田組が相手のミスなどで17-13とリードし、最後は宮内のサービスフォルトで21-15となり、打田・藤田組が連取して決勝進出を決めた。

女子　個人対抗　ダブルス(GD)

決　　勝

GD	村上 彩		20	－	22		打田 しづか
97	桜井 みどり	(2)	21	－	15	(1)	藤田 理恵子
	(石川·金沢向陽)		21	－	8		(愛知·岡崎城西)

ダブルス準決勝の接戦をファイナルゲームで制し決勝に進出した村上・桜井組（金沢向陽）と、シングルス決勝戦をやはりファイナルゲームで制した打田を擁する打田・藤田組（岡崎城西）との対戦となった。

第１ゲームは、序盤打田・藤田組が堅いディフェンスから巧みな攻撃に転じ、積極的な攻撃を仕掛ける村上・桜井組に9-4とリードした。中盤も打田・藤田組がテンポ良く加点し終始リードしたが、長いラリーの末、桜井のクロスカットが決まり19-19となった。しかし、藤田の前衛が冴え桜井へのコントロールされたドライブショットがネットにかかり22-20で打田・藤田組が延長ゲームを制した。

第２ゲームは、第１ゲーム同様打田・藤田組のディフェンスに、ミスが続いた村上・桜井組は0-5とリードを許したが、センターを中心にサウスポー村上の強打がパートナーの桜井とリズムを取り戻し、攻撃力と相手のミスで21-15で村上・桜井組が制した。

第３ゲームは、前半リズムに乗った村上・桜井組は、冴えてきたディフェンスで相手を崩し、攻め切るパターンで走り一気に11-3とした。インターバルの後は、打田・藤田組は終始押され気味となった。持ち前の攻撃型のフォーメーションを作り、後衛に桜井が、前衛に村上が入った型でのワン・ツー・アタックが決まり出した。浮かない様にコントロールされたドライブや、積極的な前衛が功を奏し村上の前衛からのプッシュでゲームセット。21-8の圧勝となった。最後まで、攻撃の姿勢を緩めなかった集中力の勝利だと言える。

男子　個人対抗　シングルス(BS)

1　回　戦

BS 1	入江 優喜 （北北海道・帯広大谷）	(2)	22 － 20 21 － 8 －	(0)	土井 悠也 （広島・広島城北）
BS 2	徳田 文太 （京都・桂）	(2)	21 － 13 19 － 21 21 － 14	(1)	阿部 慎也 （大分・別府鶴見丘）
BS 3	信太 惣晟 （秋田・秋田工業）	(2)	21 － 15 21 － 14 －	(0)	浅野 新也 （岐阜・県立岐阜商業）
BS 4	藤巻 嵩寛 （長野・大町北）	(2)	21 － 12 21 － 23 21 － 17	(1)	脇野 陽 （鹿児島・鹿児島）
BS 5	丸尾 亮太郎 （群馬・伊勢崎清明）	(2)	16 － 21 21 － 6 21 － 12	(1)	右城 耕平 （高知・嶺北）
BS 6	村松 将豪 （静岡・星陵）	(2)	21 － 18 13 － 21 21 － 18	(1)	新田 晃浩 （石川・金沢市立工業）
BS 7	三橋 将希 （神奈川・藤沢翔陵）	(2)	15 － 21 21 － 13 25 － 23	(1)	多田 祐太 （岩手・花巻北）
BS 8	仲井 佑太 （鳥取・倉吉総産）	(2)	12 － 21 21 － 15 21 － 16	(1)	北原 惇史 （和歌山・星林）
BS 9	太田 誠 （富山・高岡第一）	(2)	21 － 10 21 － 15 －	(0)	福岡 輝 （茨城・藤代）
BS 10	齋藤 洋毅 （青森・東奥学園）	(2)	21 － 18 21 － 14 －	(0)	渡邊 達哉 （宮崎・日章学園）
BS 11	増渕 典明 （栃木・作新学院）	(2)	21 － 18 21 － 12 －	(0)	仁島 大毅 （島根・松江北）
BS 12	原田 和憲 （福岡・自由ケ丘）	(2)	21 － 12 21 － 13 －	(0)	定清 大祐 （滋賀・比叡山）
BS 13	堀内 拓人 （千葉・西武台千葉）	(2)	21 － 13 21 － 12 －	(0)	鏡 裕樹 （徳島・徳島商業）
BS 14	佐藤 尚己 （宮城・仙台商業）	(2)	21 － 6 21 － 7 －	(0)	丸山 修 （山梨・甲府湯田）
BS 15	高山 郁弥 （新潟・北越）	(2)	21 － 15 21 － 8 －	(0)	田中 賢一 （佐賀・小城）
BS 16	伊藤 史人 （三重・暁）	(2)	21 － 16 9 － 21 23 － 21	(1)	奥本 克真 （沖縄・沖縄水産）
BS 17	江藤 真二 （山口・山口県鴻城）	(2)	21 － 11 15 － 21 21 － 15	(1)	千木良 司 （奈良・奈良大学附属）
BS 18	池 大樹 （新潟・佐渡総合）	(2)	19 － 21 21 － 11 21 － 19	(1)	前田 祐穂 （宮崎・宮崎工業）
BS 19	前原 俊宏 （栃木・宇都宮南）	(2)	21 － 6 21 － 13 －	(0)	渡辺 渉 （宮城・宮城県工業）

男子　個人対抗　シングルス(BS)

BS 20	上内 進介 (奈良·一条)	(2)	21 － 16 21 － 9 －	(0)	丸山 祐司 (山梨·甲府昭和)
BS 21	山﨑 祐介 (愛媛·新田)	(2)	21 － 18 21 － 18 －	(0)	深尾 淳 (愛知·名経大市邨)
BS 22	平川 大貴 (神奈川·川崎総合科学)	(2)	22 － 20 21 － 13 －	(0)	溝口 元気 (長崎·創成館)
BS 23	吉本 直樹 (山口·柳井工業)	(2)	21 － 5 21 － 7 －	(0)	荒川 一真 (岐阜·岐阜工業)
BS 24	鈴木 雄大 (福島·帝京安積)	(2)	21 － 11 21 － 17 －	(0)	山脇 一生 (高知·高知南)
BS 25	野原 大輔 (沖縄·沖縄水産)	(2)	21 － 15 21 － 17 －	(0)	植田 真伍 (兵庫·神戸村野工業)
BS 26	森本 貴則 (鳥取·倉吉総産)	(2)	21 － 17 21 － 12 －	(0)	平賀 勇貴 (岩手·花北青雲)
BS 27	日高 篤俊 (福岡·福岡)	(2)	21 － 14 21 － 18 －	(0)	野口 秀之 (茨城·常総学院)
BS 28	木戸 道治 (東京·関東第一)	(2)	21 － 18 21 － 12 －	(0)	松田 正路 (大阪·東大阪大学柏原)
BS 29	大和 一輝 (広島·広島桜が丘)	(2)	21 － 8 21 － 17 －	(0)	奥原 大生 (長野·大町)
BS 30	遠藤 宗之介 (群馬·前橋東)	(2)	21 － 18 21 － 8 －	(0)	秦 隆之 (大分·別府鶴見丘)
BS 31	嵯峨根 和正 (京都·桂)	(2)	21 － 8 21 － 7 －	(0)	中山 慧 (徳島·城東)
BS 32	角田 碧 (島根·松江北)	(2)	21 － 16 21 － 16 －	(0)	松浦 正輝 (福井·勝山)
BS 33	金谷 聡士 (千葉·千葉敬愛)	(2)	21 － 19 21 － 19 －	(0)	五十嵐 健 (山形·鶴岡南)
BS 34	瀬戸 麻人 (静岡·伊東商業)	(2)	21 － 13 21 － 16 －	(0)	生駒 賢 (和歌山·新宮)

2回戦

BS 35	田児 賢一 (埼玉·埼玉栄)	(2)	21 － 7 21 － 9 －	(0)	入江 優喜 (北北海道·帯広大谷)
BS 36	信太 惣晟 (秋田·秋田工業)	(2)	21 － 12 21 － 18 －	(0)	徳田 文太 (京都·桂)
BS 37	内藤 浩司 (福島·富岡)	(2)	21 － 18 17 － 21 21 － 14	(1)	藤巻 嵩寛 (長野·大町北)
BS 38	和田 力也 (大阪·東大阪大学柏原)	(2)	21 － 13 21 － 14 －	(0)	丸尾 亮太郎 (群馬·伊勢崎清明)

男子　個人対抗　シングルス(BS)

BS 39	中村 祐文 (長崎·西陵)	(2)	21 － 10 21 － 4 －	(0)	村松 将豪 (静岡·星陵)
BS 40	三橋 将希 (神奈川·藤沢翔陵)	(2)	24 － 22 21 － 19 －	(0)	逢澤 良亮 (岡山·水島工業)
BS 41	村上 真次郎 (愛媛·新田)	(2)	21 － 16 21 － 10 －	(0)	仲井 佑太 (鳥取·倉吉総産)
BS 42	円城寺 尚人 (佐賀·唐津東)	(2)	17 － 21 21 － 11 21 － 16	(1)	太田 誠 (富山·高岡第一)
BS 43	駒田 直也 (愛知·名経大市邨)	(2)	21 － 14 21 － 5 －	(0)	齋藤 洋毅 (青森·東奥学園)
BS 44	河田 尚也 (兵庫·神戸村野工業)	(2)	21 － 18 21 － 17 －	(0)	増渕 典明 (栃木·作新学院)
BS 45	千京 尚将 (福井·勝山)	(2)	21 － 14 21 － 12 －	(0)	原田 和憲 (福岡·自由ケ丘)
BS 46	鈴木 陵麻 (南北海道·札幌第一)	(2)	21 － 9 21 － 10 －	(0)	堀内 拓人 (千葉·西武台千葉)
BS 47	嘉村 健士 (熊本·八代東)	(2)	23 － 21 21 － 9 －	(0)	佐藤 尚己 (宮城·仙台商業)
BS 48	木場 勇介 (香川·英明)	(2)	21 － 19 21 － 16 －	(0)	高山 郁弥 (新潟·北越)
BS 49	佐藤 大樹 (山形·長井)	(2)	21 － 11 21 － 11 －	(0)	伊藤 史人 (三重·暁)
BS 50	江藤 真二 (山口·山口県鴻城)	(2)	－ － －	キ	武下 利一 (東京·関東第一)
BS 51	渡邉 一磨 (岡山·水島工業)	(2)	21 － 9 21 － 8 －	(0)	池 大樹 (新潟·佐渡総合)
BS 52	前原 俊宏 (栃木·宇都宮南)	(2)	21 － 10 21 － 15 －	(0)	鶴田 伸太郎 (佐賀·唐津南)
BS 53	奥 智洋 (鹿児島·鹿児島商業)	(2)	21 － 14 20 － 22 21 － 10	(1)	上内 進介 (奈良·一条)
BS 54	坂本 賢宏 (青森·青森山田)	(2)	22 － 20 19 － 21 21 － 9	(1)	山﨑 祐介 (愛媛·新田)
BS 55	平川 大貴 (神奈川·川崎総合科学)	(2)	21 － 13 14 － 21 21 － 19	(1)	土居 寛人 (滋賀·比叡山)
BS 56	吉本 直樹 (山口·柳井工業)	(2)	19 － 21 21 － 16 21 － 13	(1)	牧野 公亮 (北北海道·旭川実業)
BS 57	竹内 慶太郎 (富山·高岡第一)	(2)	13 － 21 21 － 8 21 － 19	(1)	鈴木 雄大 (福島·帝京安積)

男子　個人対抗　シングルス(BS)

BS 58	和田 周 (埼玉・埼玉栄)	(2)	21 — 10 21 — 9 —	(0)	野原 大輔 (沖縄・沖縄水産)
BS 59	田渕 雄喜 (南北海道・札幌第一)	(2)	21 — 14 9 — 21 21 — 12	(1)	森本 貴則 (鳥取・倉吉総産)
BS 60	日高 篤俊 (福岡・福岡)	(2)	21 — 12 21 — 18 —	(0)	西川 夏樹 (三重・久居)
BS 61	木戸 道治 (東京・関東第一)	(2)	21 — 7 21 — 11 —	(0)	甲谷 光 (秋田・秋田工業)
BS 62	三好 耕二 (香川・英明)	(2)	21 — 15 21 — 12 —	(0)	大和 一輝 (広島・広島桜が丘)
BS 63	坂井 一将 (石川・金沢市立工業)	(2)	21 — 11 21 — 10 —	(0)	遠藤 宗之介 (群馬・前橋東)
BS 64	嵯峨根 和正 (京都・桂)	(2)	— — —	キ	古川 哲也 (佐賀・唐津工業)
BS 65	金谷 聡士 (千葉・千葉敬愛)	(2)	21 — 17 17 — 21 21 — 18	(1)	角田 碧 (島根・松江北)
BS 66	園田 啓悟 (熊本・八代東)	(2)	21 — 9 21 — 8 —	(0)	瀬戸 麻人 (静岡・伊東商業)

3　回　戦

BS 67	田児 賢一 (埼玉・埼玉栄)	(2)	21 — 9 21 — 13 —	(0)	信太 惣晟 (秋田・秋田工業)
BS 68	和田 力也 (大阪・東大阪大学柏原)	(2)	21 — 8 21 — 15 —	(0)	内藤 浩司 (福島・富岡)
BS 69	中村 祐文 (長崎・西陵)	(2)	22 — 24 21 — 10 21 — 3	(1)	三橋 将希 (神奈川・藤沢翔陵)
BS 70	村上 真次郎 (愛媛・新田)	(2)	21 — 19 8 — 21 21 — 16	(1)	円城寺 尚人 (佐賀・唐津東)
BS 71	河田 尚也 (兵庫・神戸村野工業)	(2)	12 — 21 21 — 17 21 — 14	(1)	駒田 直也 (愛知・名経大市邨)
BS 72	千京 尚将 (福井・勝山)	(2)	18 — 21 21 — 12 21 — 19	(1)	鈴木 陵麻 (南北海道・札幌第一)
BS 73	嘉村 健士 (熊本・八代東)	(2)	21 — 7 19 — 21 21 — 15	(1)	木場 勇介 (香川・英明)
BS 74	佐藤 大樹 (山形・長井)	(2)	21 — 16 21 — 18 —	(0)	江藤 真二 (山口・山口県鴻城)
BS 75	渡邉 一磨 (岡山・水島工業)	(2)	21 — 11 21 — 6 —	(0)	前原 俊宏 (栃木・宇都宮南)
BS 76	奥 智洋 (鹿児島・鹿児島商業)	(2)	18 — 21 21 — 18 23 — 21	(1)	坂本 賢宏 (青森・青森山田)

男子　個人対抗　シングルス(BS)

BS 77	吉本 直樹 （山口・柳井工業）	(2)	21 － 15 21 － 18 －	(0)	平川 大貴 （神奈川・川崎総合科学）
BS 78	和田 周 （埼玉・埼玉栄）	(2)	21 － 11 21 － 7 －	(0)	竹内 慶太郎 （富山・高岡第一）
BS 79	田渕 雄喜 （南北海道・札幌第一）	(2)	21 － 16 22 － 20 －	(0)	日高 篤俊 （福岡・福岡）
BS 80	三好 耕二 （香川・英明）	(2)	21 － 17 21 － 14 －	(0)	木戸 道治 （東京・関東第一）
BS 81	坂井 一将 （石川・金沢市立工業）	(2)	21 － 13 21 － 12 －	(0)	嵯峨根 和正 （京都・桂）
BS 82	園田 啓悟 （熊本・八代東）	(2)	21 － 19 21 － 10 －	(0)	金谷 聡士 （千葉・千葉敬愛）

4回戦

BS 83	田児 賢一 （埼玉・埼玉栄）	(2)	21 － 13 21 － 8 －	(0)	和田 力也 （大阪・東大阪大学柏原）
BS 84	中村 祐文 （長崎・西陵）	(2)	21 － 13 21 － 9 －	(0)	村上 真次郎 （愛媛・新田）
BS 85	千京 尚将 （福井・勝山）	(2)	17 － 21 21 － 16 21 － 15	(1)	河田 尚也 （兵庫・神戸村野工業）
BS 86	嘉村 健士 （熊本・八代東）	(2)	21 － 9 21 － 14 －	(0)	佐藤 大樹 （山形・長井）
BS 87	渡邉 一磨 （岡山・水島工業）	(2)	21 － 9 21 － 9 －	(0)	奥 智洋 （鹿児島・鹿児島商業）
BS 88	和田 周 （埼玉・埼玉栄）	(2)	21 － 7 21 － 12 －	(0)	吉本 直樹 （山口・柳井工業）
BS 89	三好 耕二 （香川・英明）	(2)	21 － 18 19 － 21 21 － 18	(1)	田渕 雄喜 （南北海道・札幌第一）
BS 90	園田 啓悟 （熊本・八代東）	(2)	12 － 21 21 － 19 21 － 13	(1)	坂井 一将 （石川・金沢市立工業）

準々決勝

BS 91	田児 賢一 （埼玉・埼玉栄）	(2)	21 － 8 21 － 5 －	(0)	中村 祐文 （長崎・西陵）
BS 92	嘉村 健士 （熊本・八代東）	(2)	1 － 0 － －	キ	千京 尚将 （福井・勝山）
BS 93	和田 周 （埼玉・埼玉栄）	(2)	17 － 21 21 － 14 21 － 17	(1)	渡邉 一磨 （岡山・水島工業）
BS 94	園田 啓悟 （熊本・八代東）	(2)	21 － 14 21 － 14 －	(0)	三好 耕二 （香川・英明）

男子　個人対抗　シングルス(BS)

準　決　勝

BS			21	−	11		
95	田児 賢一	(2)	21	−	11	(0)	嘉村 健士
	(埼玉·埼玉栄)			−			(熊本·八代東)

２年連続でこの種目に優勝を賭ける田児とそれを阻止すべく勝利に燃える嘉村の対戦となった準決勝は田児のサービスで始まった。出だしは一進一退のラリーから4-3と田児が一歩リードすると、田児の鋭いスマッシュが良く決まり、嘉村のミスも重なり11-3と一気にリードを広げてインターバル。その後も気を緩めることなく強力なスマッシュとレシーブを軸に18-6と大きくリードを広げるが、嘉村もタッチの良いネットを決め、11-19まで追い上げる。田児が冷静に１ゲームを21-11で取った。

第２ゲームは田児が快調にゲームを進め、11-2と大量リードでインターバルを迎える。気合いを入れ直した嘉村がスマッシュと巧みなネットを使い11点まで食い下がるが、終始安定したスピードのラリーと攻撃を駆使した田児が21-11で押し切り、ストレートで準決勝を制し、2年連続優勝と三冠を手にするため着実に勝利を納めた。

準　決　勝

BS			19	−	21		
96	和田 周	(2)	21	−	16	(1)	園田 啓悟
	(埼玉·埼玉栄)		21	−	15		(熊本·八代東)

男子シングルス準決勝は本大会第２シード園田（八代東）と第７シードながら第４シードを下し、勢いに乗る準決勝まで勝ち進んだ唯一の２年生和田（埼玉栄）の実力者同士の対戦となった。

和田のサービスで始まった第１ゲームの序盤、立ち上がりまだ調子のつかめない園田に対して和田のスマッシュが有効に決まり、相手のミスにも乗じて7-2と優位に試合を進める。しかし、次の長いラリーを園田が制したことで流れが大きく園田に傾く。園田は攻撃されながらもスマッシュをことごとく好レシーブし、相手のミスを誘い9-8と逆転に成功する。互角の撃ち合いが続くも、和田のフォアからのカットが決まり、11-10でインターバルへ。インターバル後も攻守に渡って見応えのある長いラリーが展開される。16-15、18-16と終盤まで和田がリードを保つかたちで試合が展開されたが、園田は安定して相手のスマッシュを良く返球して流れをつかみ18-18、さらに積極的に攻め相手のミスを誘いつつ20-19からフォアからのクロスカットを決め、１ゲームを奪う。

第２ゲームは序盤第１ゲームの流れ同様接戦が繰り広げられるが、4-4となったところから園田のミスが続き、一気に5-10とリードすると和田は積極的に攻撃の手を緩めず、ボディへのスマッシュでリードしたままインターバルを迎えた。和田は少々疲れの見えた園田を圧倒し、フォアからのストレートカットやスマッシュ。ネット前を高く取って相手を崩すなど、15-9と優勢に試合を展開した。園田も良く粘ってチャンスをつかみ追い上げたが、中盤での点差を埋めることができずに、最後はクロスカットにて21-16とした和田が制し、ファイナルゲームへ。

第３ゲームは、疲れからか動きが鈍くなった園田に対して和田が速い展開でゲームを進め、序盤より2-5、4-10とリードを保ちながら相手を引き離して優位に立ち、クロスネットを園田が返球できずに11-4でインターバル。この後、園田も良く粘り、相手の攻撃ミスやジャッジミスを誘い7-16と井上げるが、徐々に和田のスピードに追いつかなくなり、和田の勢いのある動きや積極的な攻めが有効に作用し、園田は防戦一方となる。終盤、園田は気力あふれるプレーで14-20と追い上げるが、時すでに遅く、園田のクロスネットを和田が上から叩いた打球がネットインしてゲームカウント2対1で和田が勝利を納めた。

男子　個人対抗　シングルス(BS)

決　　　勝

BS			21	ー	13		
97	田児 賢一	(2)	18	ー	21	(1)　和田 周
	(埼玉･埼玉栄)		21	ー	14	(埼玉･埼玉栄)

ダブルス・シングルスの2年連続優勝と三冠達成に臨む埼玉栄の田児と2年生ながら決勝戦に駒を進めた勢いに乗る同じく埼玉栄の和田の対戦。

第１ゲーム、和田は田児の角度と切れのあるスマッシュをストレート・クロスに打ち分けに対応できず、6-1、10-3、16-5と一方的な展開で進んだが、団体戦・ダブルス・シングルスの連戦の疲れからか田児にミスが目立ち始める。しかし、16-7、17-10、19-13とじわじわと迫る和田を振り切って、田児が第１ゲームを21-13で先取する。

第２ゲームでは田児にやはりミスが見られるものの中盤まで田児リードでゲームが進むが、和田が8-10から一気に6連続ポイントで14-10と引き離すと、その後両者譲らず決め愛、21-18で和田が２ゲーム目を取り返し勝負はファイナルゲームへ。

第３ゲームでは、再び田児のスマッシュに切れが戻り、3-3から8-3、14-4と一方的に攻めまくる。終盤に田児のヘアピンミス、ロブミスが出るも和田の追撃へののろしとはならず、最後は和田がドロップをネットにかけ、21-14で田児が勝利をものにし、2種目2年連続優勝と三冠を達成した。

女子　個人対抗　シングルス(GS)

1　回　戦

GS 1	児玉 綾子 (鹿児島·鹿児島女子)	(2)	21 − 13 14 − 21 21 − 18	(1)	渋川 明里 (京都·京都西山)
GS 2	山本 ゆかり (島根·松徳学院)	(2)	21 − 14 21 − 10 −	(0)	飯泉 綾乃 (千葉·西武台千葉)
GS 3	木下 侑梨恵 (北北海道·旭川実業)	(2)	20 − 22 21 − 10 21 − 12	(1)	舘脇 祐未 (岩手·前沢)
GS 4	森 亜希子 (長崎·長崎女子)	(2)	21 − 13 21 − 8 −	(0)	森山 このみ (高知·清和女子)
GS 5	宮 美紗貴 (群馬·伊勢崎清明)	(2)	21 − 10 21 − 12 −	(0)	佐野 友香 (佐賀·佐賀女子)
GS 6	鈴木 温子 (東京·関東第一)	(2)	21 − 17 21 − 17 −	(0)	真弓 恵理子 (三重·久居)
GS 7	土谷 美帆 (石川·金沢向陽)	(2)	21 − 9 21 − 9 −	(0)	大山 千春 (山形·山形城北)
GS 8	古賀 さやみ (福岡·福岡常葉)	(2)	21 − 9 21 − 9 −	(0)	松本 千穂 (鳥取·境)
GS 9	山本 しずか (兵庫·加古川東)	(2)	21 − 10 21 − 15 −	(0)	野口 幸代 (愛媛·新田)
GS 10	宮下 渚紗 (和歌山·耐久)	(2)	21 − 5 19 − 21 21 − 6	(1)	鈴木 歩望 (長野·蘇南)
GS 11	宮田 晶代 (神奈川·鵠沼)	(2)	23 − 21 18 − 21 21 − 18	(1)	前田 莉沙 (岐阜·県立岐阜商業)
GS 12	音田 亜子 (新潟·新発田商業)	(2)	21 − 10 21 − 12 −	(0)	黒沢 奈菜 (茨城·茗渓学園)
GS 13	岡本 麻菜美 (岡山·倉敷中央)	(2)	21 − 14 21 − 17 −	(0)	川﨑 美紅 (宮崎·宮崎工業)
GS 14	松友 美佐紀 (宮城·聖ウルスラ英智)	(2)	21 − 4 21 − 8 −	(0)	三好 加奈瑛 (香川·坂出商業)
GS 15	福万 尚子 (大阪·樟蔭東)	(2)	21 − 18 21 − 14 −	(0)	石田 麻衣 (福井·勝山)
GS 16	平敷 祥子 (沖縄·糸満)	(2)	21 − 15 19 − 21 21 − 14	(1)	河村 彩香 (山口·熊毛北)
GS 17	濵島 未花 (福島·尚志)	(2)	21 − 13 19 − 21 21 − 8	(1)	岩渕 幸穂 (静岡·星陵)
GS 18	天野 成美 (秋田·秋田和洋女子)	(2)	21 − 14 21 − 9 −	(0)	児島 亜紀 (奈良·一条)
GS 19	上村 麻衣 (沖縄·糸満)	(2)	21 − 13 21 − 18 −	(0)	金澤 結香莉 (高知·土佐女子)

女子　個人対抗　シングルス(GS)

GS 20	土田 茉実 （東京・関東第一）	(2)	21 － 12 21 － 8 －	(0)	永田 知里 （岐阜・県立岐阜商業）
GS 21	太田 真由美 （新潟・新発田商業）	(2)	21 － 19 21 － 18 －	(0)	岩永 舞子 （鹿児島・鹿児島女子）
GS 22	矢野 智恵美 （栃木・作新学院）	(2)	21 － 14 21 － 14 －	(0)	益田 茉季 （大分・昭和学園）
GS 23	花本 陽菜 （山口・熊毛北）	(2)	22 － 20 13 － 21 21 － 12	(1)	髙野 有香 （南北海道・札幌静修）
GS 24	村上 彩 （石川・金沢向陽）	(2)	21 － 12 21 － 15 －	(0)	内藤 舞 （岩手・盛岡市立）
GS 25	稲葉 菜保美 （兵庫・夙川学院）	(2)	11 － 5 － －	キ	白樫 春菜 （神奈川・鵠沼）
GS 26	土江 奈津子 （島根・松徳学院）	(2)	21 － 19 21 － 12 －	(0)	内藤 遥 （群馬・伊勢崎清明）
GS 27	高橋 真理 （京都・京都西山）	(2)	24 － 22 21 － 9 －	(0)	中山 明日香 （福井・勝山）
GS 28	平井 亜紀 （香川・高松商業）	(2)	7 － 21 21 － 16 21 － 16	(1)	芳野 春花 （長崎・長崎女子）
GS 29	佐藤 詩織 （茨城・常総学院）	(2)	21 － 14 21 － 10 －	(0)	佐藤 茜 （山形・山形城北）
GS 30	大日方 美弥子 （千葉・西武台千葉）	(2)	21 － 16 21 － 16 －	(0)	青柳　佐紀 （熊本・八代白百合学園）
GS 31	國安 香好 （徳島・城東）	(2)	21 － 10 21 － 16 －	(0)	山本 有里沙 （和歌山・耐久）
GS 32	野田 郁恵 （滋賀・滋賀女子）	(2)	21 － 14 21 － 6 －	(0)	松岡 千香子 （静岡・星陵）
GS 33	市山 瑶子 （富山・高岡西）	(2)	21 － 9 13 － 21 21 － 13	(1)	末吉 志織 （鳥取・米子北）
GS 34	阿部 梨奈 （山梨・甲府湯田）	(2)	21 － 16 21 － 17 －	(0)	岩本 由季奈 （宮崎・宮崎商業）

2　回　戦

GS 35	打田 しづか （愛知・岡崎城西）	(2)	21 － 13 21 － 9 －	(0)	児玉 綾子 （鹿児島・鹿児島女子）
GS 36	木下 侑梨恵 （北北海道・旭川実業）	(2)	21 － 16 21 － 13 －	(0)	山本 ゆかり （島根・松徳学院）
GS 37	戸田 みよ子 （広島・鈴峯女子）	(2)	21 － 14 21 － 16 －	(0)	森 亜希子 （長崎・長崎女子）
GS 38	奥井 智菜美 （富山・高岡西）	(2)	21 － 16 21 － 10 －	(0)	宮 美紗貴 （群馬・伊勢崎清明）

女子　個人対抗　シングルス(GS)

GS			21	－	16		
39	鈴木 温子	(2)	13	－	21	(1)	西川 真奈美
	(東京・関東第一)		21	－	11		(奈良・添上)
GS			21	－	14		
40	土谷 美帆	(2)	21	－	9	(0)	宮内 唯
	(石川・金沢向陽)			－			(大分・別府鶴見丘)
GS			21	－	13		
41	古賀 さやみ	(2)	21	－	19	(0)	山口 佳恵
	(福岡・福岡常葉)			－			(埼玉・埼玉栄)
GS			21	－	14		
42	山本 しずか	(2)	21	－	17	(0)	垣岩 令佳
	(兵庫・加古川東)			－			(青森・青森山田)
GS			21	－	9		
43	住田 有希恵	(2)	21	－	14	(0)	宮下 渚紗
	(熊本・八代白百合学園)			－			(和歌山・耐久)
GS			21	－	18		
44	水口 愛梨	(2)	16	－	21	(1)	宮田 晶代
	(徳島・城東)		21	－	8		(神奈川・鵠沼)
GS			16	－	21		
45	音田 亜子	(2)	25	－	23	(1)	小久保 陽香
	(新潟・新発田商業)		21	－	12		(南北海道・札幌静修)
GS			16	－	21		
46	岡本 麻菜美	(2)	21	－	17	(1)	伊藤 朝美
	(岡山・倉敷中央)		24	－	22		(秋田・秋田和洋女子)
GS			21	－	15		
47	松友 美佐紀	(2)	21	－	14	(0)	古屋 杏奈
	(宮城・聖ウルスラ英智)			－			(山梨・甲府商業)
GS			21	－	19		
48	福万 尚子	(2)	21	－	13	(0)	藤井 詩穂
	(大阪・樟蔭東)			－			(佐賀・佐賀女子)
GS			19	－	21		
49	平敷 祥子	(2)	21	－	16	(1)	青柳 芽衣
	(沖縄・糸満)		21	－	10		(栃木・作新学院)
GS			21	－	10		
50	土井 杏奈	(2)	21	－	12	(0)	濵島 未花
	(滋賀・滋賀女子)			－			(福島・尚志)
GS			21	－	17		
51	三木 佑里子	(2)	21	－	13	(0)	天野 成美
	(埼玉・越谷南)			－			(秋田・秋田和洋女子)
GS			21	－	17		
52	上村 麻衣	(2)	21	－	13	(0)	井上 彩香
	(沖縄・糸満)			－			(佐賀・佐賀女子)
GS			21	－	18		
53	土田 茉実	(2)	23	－	25	(1)	実光 鮎佳
	(東京・関東第一)		21	－	19		(岡山・倉敷中央)
GS			21	－	10		
54	玉木 絵里子	(2)	21	－	15	(0)	太田 真由美
	(宮城・聖ウルスラ英智)			－			(新潟・新発田商業)
GS			21	－	15		
55	矢野 智恵美	(2)	19	－	21	(1)	久枝 ゆい
	(栃木・作新学院)		21	－	15		(愛媛・新田)
GS			21	－	13		
56	小口 晃佳	(2)	21	－	7	(0)	花本 陽菜
	(大阪・四天王寺)			－			(山口・熊毛北)
GS			21	－	13		
57	村上 彩	(2)	21	－	11	(0)	金児 真衣
	(石川・金沢向陽)			－			(三重・暁)

女子 個人対抗 シングルス(GS)

GS 58	栗原 文音 (福岡・九州国際大学付属)	(2)	21 － 10 21 － 16 －	(0)	稲葉 菜保美 (兵庫・夙川学院)
GS 59	土江 奈津子 (島根・松徳学院)	(2)	19 － 21 21 － 19 21 － 17	(1)	吉田 琴美 (佐賀・佐賀女子)
GS 60	本山 祥子 (青森・青森山田)	(2)	21 － 10 21 － 13 －	(0)	高橋 真理 (京都・京都西山)
GS 61	藤田 理恵子 (愛知・岡崎城西)	(2)	19 － 21 21 － 18 21 － 18	(1)	平井 亜紀 (香川・高松商業)
GS 62	柳亭 郁実 (広島・清水ヶ丘)	(2)	21 － 16 14 － 21 21 － 18	(1)	佐藤 詩織 (茨城・常総学院)
GS 63	大日方 美弥子 (千葉・西武台千葉)	(2)	15 － 21 21 － 14 21 － 14	(1)	佐藤 しおり (北北海道・旭川実業)
GS 64	國安 香好 (徳島・城東)	(2)	17 － 21 21 － 13 21 － 9	(1)	二ツ柳 彩耶 (長野・文化女子大附属長野)
GS 65	野田 郁恵 (滋賀・滋賀女子)	(2)	21 － 15 21 － 19 －	(0)	市山 瑶子 (富山・高岡西)
GS 66	野尻野 匡世 (福島・尚志)	(2)	21 － 12 21 － 5 －	(0)	阿部 梨奈 (山梨・甲府湯田)

3 回 戦

GS 67	打田 しづか (愛知・岡崎城西)	(2)	21 － 5 21 － 11 －	(0)	木下 侑梨恵 (北北海道・旭川実業)
GS 68	奥井 智菜美 (富山・高岡西)	(2)	21 － 11 21 － 8 －	(0)	戸田 みよ子 (広島・鈴峯女子)
GS 69	土谷 美帆 (石川・金沢向陽)	(2)	15 － 21 21 － 16 21 － 18	(1)	鈴木 温子 (東京・関東第一)
GS 70	山本 しずか (兵庫・加古川東)	(2)	21 － 19 21 － 17 －	(0)	古賀 さやみ (福岡・福岡常葉)
GS 71	住田 有希恵 (熊本・八代白百合学園)	(2)	21 － 9 21 － 11 －	(0)	水口 愛梨 (徳島・城東)
GS 72	音田 亜子 (新潟・新発田商業)	(2)	24 － 22 21 － 14 －	(0)	岡本 麻菜美 (岡山・倉敷中央)
GS 73	松友 美佐紀 (宮城・聖ウルスラ英智)	(2)	21 － 10 21 － 8 －	(0)	福万 尚子 (大阪・樟蔭東)
GS 74	土井 杏奈 (滋賀・滋賀女子)	(2)	21 － 13 21 － 13 －	(0)	平敷 祥子 (沖縄・糸満)
GS 75	三木 佑里子 (埼玉・越谷南)	(2)	21 － 12 21 － 11 －	(0)	上村 麻衣 (沖縄・糸満)
GS 76	玉木 絵里子 (宮城・聖ウルスラ英智)	(2)	21 － 16 22 － 20 －	(0)	土田 茉実 (東京・関東第一)

女子 個人対抗 シングルス(GS)

GS 77	小口 晃佳 (大阪·四天王寺)	(2)	14 － 21 21 － 7 21 － 11	(1)	矢野 智恵美 (栃木·作新学院)
GS 78	栗原 文音 (福岡·九州国際大学付属)	(2)	21 － 14 21 － 10 －	(0)	村上 彩 (石川·金沢向陽)
GS 79	本山 祥子 (青森·青森山田)	(2)	21 － 16 21 － 16 －	(0)	土江 奈津子 (島根·松徳学院)
GS 80	藤田 理恵子 (愛知·岡崎城西)	(2)	21 － 14 19 － 21 21 － 18	(1)	柳亭 郁実 (広島·清水ヶ丘)
GS 81	大日方 美弥子 (千葉·西武台千葉)	(2)	21 － 14 21 － 12 －	(0)	國安 香好 (徳島·城東)
GS 82	野尻野 匡世 (福島·尚志)	(2)	21 － 11 12 － 21 21 － 12	(1)	野田 郁恵 (滋賀·滋賀女子)

4 回 戦

GS 83	打田 しづか (愛知·岡崎城西)	(2)	21 － 16 21 － 23 21 － 16	(1)	奥井 智菜美 (富山·高岡西)
GS 84	山本 しずか (兵庫·加古川東)	(2)	21 － 19 21 － 16 －	(0)	土谷 美帆 (石川·金沢向陽)
GS 85	住田 有希恵 (熊本·八代白百合学園)	(2)	19 － 21 23 － 21 21 － 16	(1)	音田 亜子 (新潟·新発田商業)
GS 86	土井 杏奈 (滋賀·滋賀女子)	(2)	21 － 13 13 － 21 21 － 17	(1)	松友 美佐紀 (宮城·聖ウルスラ英智)
GS 87	三木 佑里子 (埼玉·越谷南)	(2)	21 － 15 21 － 19 －	(0)	玉木 絵里子 (宮城·聖ウルスラ英智)
GS 88	小口 晃佳 (大阪·四天王寺)	(2)	21 － 17 13 － 21 21 － 19	(1)	栗原 文音 (福岡·九州国際大学付属)
GS 89	本山 祥子 (青森·青森山田)	(2)	21 － 10 19 － 21 21 － 6	(1)	藤田 理恵子 (愛知·岡崎城西)
GS 90	野尻野 匡世 (福島·尚志)	(2)	21 － 19 21 － 10 －	(0)	大日方 美弥子 (千葉·西武台千葉)

準 々 決 勝

GS 91	打田 しづか (愛知·岡崎城西)	(2)	21 － 13 21 － 7 －	(0)	山本 しずか (兵庫·加古川東)
GS 92	土井 杏奈 (滋賀·滋賀女子)	(2)	21 － 13 21 － 15 －	(0)	住田 有希恵 (熊本·八代白百合学園)
GS 93	三木 佑里子 (埼玉·越谷南)	(2)	21 － 9 21 － 12 －	(0)	小口 晃佳 (大阪·四天王寺)
GS 94	野尻野 匡世 (福島·尚志)	(2)	21 － 17 21 － 15 －	(0)	本山 祥子 (青森·青森山田)

女子　個人対抗　シングルス(GS)

準　　決　　勝

GS 95	打田 しづか (愛知·岡崎城西)	(2)	19 — 21 21 — 19 21 — 12	(1)	土井 杏奈 (滋賀·滋賀女子)

女子シングルス準決勝は、第１シードの打田と第４シードの土井の対戦である。打田は、昨年に続き２年連続での準決勝進出であり、今回ただ１人の単複準決勝進出者であもる。ダブルスで余力を持って決勝進出を決めた後のシングルス戦である。土井のロングサーブで試合開始。打田の１打目からのカットミスで土井に１点。お互いラリーが続かず、特に打田の早いミスが目立ち、前半を11-6で征した土井が後半追いつかれたものの、21-19で逃げ切った。

２ゲーム目は、二人とも本来の持味を発揮し、ラリーの攻防となった。1時期17-12と打田が引き離したが、土井も粘り19点まで追い上げたものの21-19で打田の勝利。

ファイナルゲームは、打田のカット・スマッシュが冴え、土井のミスを誘い打田の一方的な展開となり21-12で勝利。ダブルスに続き、ファイナリストとなった。

準　　決　　勝

GS 96	野尻野 匡世 (福島·尚志)	(2)	16 — 21 21 — 18 21 — 15	(1)	三木 佑里子 (埼玉·越谷南)

第２シードから順調に勝ち上がった野尻野と、同じく第３シードから勝ち上がった三木との対戦となった。

第１ゲームは、三木が早いクリアーやカットで相手を揺さ振り12-5とリードし、後半確実なプレーで追い上げる野尻野を振り切った。

第２ゲームは、前半三木も攻撃の手を緩めず攻め12-8とリードしたが、後半野尻野の動きが良くなり、クリアーを中心にカット等を混ぜ反撃し５ポイント連取で逆転し、そのまま接戦をものにした。

ファイナルゲームは、やや疲れの見えた三木の動きが鈍り、その機に野尻野は重いクリアーや速いカットで18-9とリードした。三木も最後の力をふりしぼって６ポイント連取して追いすがったが、クリアーミスなど大事な所でミスが出て力尽きた。

女子　個人対抗　シングルス(GS)

決　勝

GS			21	−	17	
97	野尻野 匡世	(2)	21	−	12	(0)　打田 しづか
	(福島·尚志)			−		(愛知·岡崎城西)

女子シングルス決勝は、岡崎城西高校の打田と福島尚志高校野尻野の対決となった。打田は、ダブルスの決勝で敗れ準優勝。シングルスの頂点を目指す戦い方が注目される。

第１ゲームは、野尻野のショートサービスミスから始まり、最初に点を取ったのは打田1-0。ところが、カット・スマッシュミスが連続1-5と一気に野尻野にリードを許し、打田の追いかける展開となった。打田は、四隅を丁寧につくラリーで6-5とリードするも、レシーブ・クロスネットミスなどで再び10-7と野尻野がリードする。打田は、柔らかいショットの中にも力強いショットを交え喰い下がり10-10。中盤に入りお互いが加点し、一進一退のゲーム展開16-16となったが、本領発揮した野尻野が打田のミスを誘い一気に突き放し20-17（20点目は野尻野のクロススマッシュが決まる）何とかしたい打田は、スマッシュを打つがネットにかけ１ゲーム目は野尻野が制した。

第２ゲームは、野尻野が打田のネットミスから2-0とリードし、その後もショットが冴え9-4と大きく差を広げた。追い縋る打田は、要所要所でフェイントを見せるが野尻野には効かず11-7と野尻野のリードのままインターバル。中盤に入り、両サイドへ大きく展開した野尻野が14-8とリードを広げ、粘る打田のレシーブミスにも助けられ、18-8とさらに差を広げた。こうなると、流れは野尻野へ。ネット前に持ち込んだ打田も野尻野にプッシュ・ストレートロブされ為す術なし。スマッシュ力に勝る野尻野が最後に打った渾身のスマッシュがネットインで勝利を決めた。同郷のライバル同志の戦いを制した野尻野が、初勝利を飾った。

平成１９年度全国高等学校総合体育大会を顧みて

バドミントン競技大会は、平成１９年７月２８日に佐賀県総合運動場にて開催された総合開会式後、武雄市文化会館において種目別開会式を実施しました。競技は男子メイン会場として「佐賀のへそ・ふれあい交流センターネイブル」、「小城市立牛津中学校」、「小城市牛津体育センター」、「大町町立大町中学校体育館」、女子メイン会場に「武雄市白岩体育館」、「佐賀県立武雄青陵高等学校体育館」、「武雄市立北方中学校体育館」、「武雄市立山内中学校体育館」の全８会場で、７月２９日から８月２日までの５日間に渡って熱戦が繰り広げられました。

今大会は、競技会場の都合で初めて学校対抗戦から個人対抗戦、表彰式・閉会式まで男女別会場で実施させていただきました。配宿についても広域配宿となり、参加校の皆様には大変ご不便をおかけしました。

大会期間中は猛暑の中、競技が実施されました。初日には皇太子殿下に武雄市白岩体育館にて競技をご覧いただき、大会自体も盛り上がりました。主会場を除く６会場は室温が３４度～３６度、湿度も７０％を超え何度か換気をしながら競技を実施しましたが、それでも各競技会場で熱気あるはつらつとしたプレーが展開されたことに大きな喜びを感じております。全国各地よりたくさんの観客の皆様を迎え、バドミントン競技への興味・関心の深さと熱意に感動しました。

また、大会運営に携わっていただいた県内外の役員の方々、サポート校の先生方、補助員の生徒の皆さんの献身的な働きぶりには、ただ頭の下がる思いでした。心よりお礼申し上げます。

おわりに、この大会にご支援いただきました佐賀県実行委員会、武雄市・小城市・大町町・江北町実行委員会、関係諸機関・団体の多大なるご支援、ご協力、ご指導のおかげと深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

佐賀県高体連バドミントン専門部委員長
佐賀女子高等学校　教諭　築地　孝彦

頑張るみんなの、
応援団でありたい。

スポーツの感動。
それは、人と人がいて、
はじめて生まれるもの。
オリンピックやFIFAワールドカップ™から、
地域の大会まで、
コカ・コーラはさまざまな
スポーツイベントを応援しています。

人と人をうるおす
Coca-Cola

Coca-Cola コカ・コーラは「2007青春・佐賀総体」とスポーツを愛するすべての高校生を応援しています。 http://cocacola.co.
Coca-Cola、コカ・コーラ、CokeはThe Coca-Cola Companyの登録商